

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2013-539206

(P2013-539206A)

(43) 公表日 平成25年10月17日(2013. 10. 17)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
H01L 51/50 (2006.01)	H05B 33/14 B	3K107
C09K 11/06 (2006.01)	C09K 11/06 660	4C034
C07D 213/06 (2006.01)	C09K 11/06 690	4C050
C07D 217/02 (2006.01)	C07D 213/06	4C055
C07D 487/04 (2006.01)	C07D 217/02	4C063
審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 81 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号	特願2013-521717 (P2013-521717)	(71) 出願人	509266480
(86) (22) 出願日	平成23年7月29日 (2011. 7. 29)		ローム・アンド・ハース・エレクトロニク・マテリアルズ・コリア・リミテッド
(85) 翻訳文提出日	平成25年3月29日 (2013. 3. 29)		大韓民国, 331-980, チュンチョンナムードウ, チョナナンシー, ソブクーク, ペクソクードン, 736
(86) 国際出願番号	PCT/KR2011/005618	(74) 代理人	110000589
(87) 国際公開番号	W02012/015274		特許業務法人センダ国際特許事務所
(87) 国際公開日	平成24年2月2日 (2012. 2. 2)	(72) 発明者	キム, チ・シク
(31) 優先権主張番号	10-2011-0075593		大韓民国, キョンギード・445-752, ファソナンシー, バンソンドン, ソルビット・マウル・サンヨン・イエガー・アパートメント, 441-1201
(32) 優先日	平成23年7月29日 (2011. 7. 29)		
(33) 優先権主張国	韓国 (KR)		
(31) 優先権主張番号	10-2010-0074290		
(32) 優先日	平成22年7月30日 (2010. 7. 30)		
(33) 優先権主張国	韓国 (KR)		
最終頁に続く			

(54) 【発明の名称】 発光材料として電界発光化合物を使用する電界発光素子

(57) 【要約】

効率的なホスト - ドーパントエネルギー伝達メカニズムを示し、これにより、向上した電子密度分布に基づく特定の高効率電界発光性能を示す有機電界発光素子が提供される。この有機電界発光素子は、低い当初効率および短い駆動寿命特性も向上させ、かつそれぞれの色について高効率で長寿命の高性能電界発光特性も確実にする。

【代表図】なし

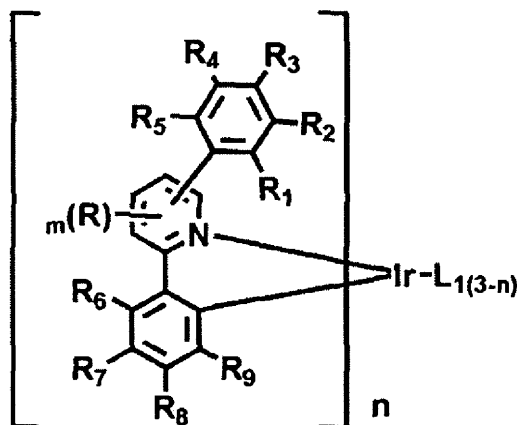
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基体上のアノードとカソードとの間に有機層が設けられており、前記有機層が電界発光層を含み、前記電界発光層が下記化学式 1 で表される 1 種以上のドーパント化合物および下記化学式 2 ~ 5 で表される 1 種以上のホスト化合物を含む有機電界発光素子；

【化 1】

[化学式 1]



10

20

式中、 L_1 は有機配位子を表し；

R は水素、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルコキシ、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリールを表し；

$R_1 \sim R_5$ は独立して水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、シアノ、ニトロ、 $BR_{11}R_{12}$ 、 $PR_{13}R_{14}$ 、 $P(=O)R_{15}R_{16}$ 、 $R_{17}R_{18}R_{19}Si-$ 、または置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール ($C1 - C30$) アルキルを表し；

30

$R_6 \sim R_9$ は水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アリール、置換されているかもしくは置換されていない ($C5 - C30$) ヘテロアリール、置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、シアノ、ニトロ、 $BR_{11}R_{12}$ 、 $PR_{13}R_{14}$ 、 $P(=O)R_{15}R_{16}$ 、 $R_{17}R_{18}R_{19}Si-$ 、 $NR_{20}R_{21}$ 、 $R_{22}Y-$ 、置換されているかもしくは置換されていない ($C2 - C30$) アルケニル、置換されているかもしくは置換されていない ($C2 - C30$) アルキニル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール ($C1 - C30$) アルキルを表すか、またはそれらは隣の置換基に連結されて縮合環を形成しており；

40

$R_{11} \sim R_{22}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリールを表し；

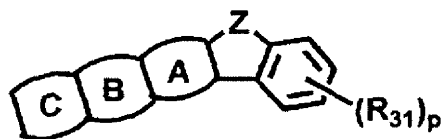
Y は S または O を表し；

n および m は独立して 1 ~ 3 の整数を表し；

前記ヘテロシクロアルキルおよびヘテロアリールは B 、 N 、 O 、 S 、 $P(=O)$ 、 Si および P からなる群から選択される 1 以上のヘテロ原子を含む；

【化 2】

〔化学式 2〕

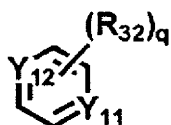


式中、Z は - O - 、 - S - 、 - C (R_{4 1} R_{4 2}) - 、 - S i (R_{4 3} R_{4 4}) - 、または - N (R_{4 5}) - を表し；

10

環 A および環 C は独立して、

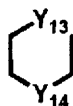
【化 3】



を表し；

環 B は

【化 4】



20

の環を表し；

Y_{1 1} ~ Y_{1 2} は独立して C および N を表し；

Y_{1 3} ~ Y_{1 4} は独立して化学結合、 - O - 、 - S - 、 - C (R_{4 1} R_{4 2}) - 、 - S i (R_{4 3} R_{4 4}) - 、または - N (R_{4 5}) - を表すが； Y_{1 3} および Y_{1 4} が同時に化学結合を表す場合のみを除く；

R_{3 1} および R_{3 2} は独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキルシリル基、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アリールシリル基、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル (C 6 - C 3 0) アリールシリル基、シアノ、ニトロ、またはヒドロキシルを表すか、またはそれらは縮合環を有するかもしくは有しない置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) アルキレンもしくは (C 3 - C 3 0) アルケニレンによって隣の置換基に連結されて脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環を形成しており；

30

40

R_{4 1} ~ R_{4 5} は独立して水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) ヘテロアリール、置換されているかもしくは置換されていない 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) シクロアルキルを表すか、またはそれらは隣の置換基に連結されて環を形成しており；

p および q は独立して 0 ~ 4 の整数を表し；

p もしくは q が 2 より大きい整数を表す場合には、それぞれの R_{3 1} および R_{3 2} は互いに同じかもしくは異なっていてよく、およびそれらは隣の置換基に連結されて環を形成

50

していてもよく；並びに

前記ヘテロシクロアルキルおよびヘテロアリールは B、N、O、S、P (= O)、Si および P からなる群から選択される 1 以上のヘテロ原子を含む；

[化学式 3]

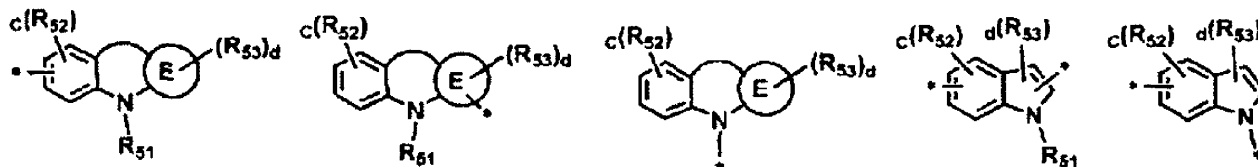
$(C_z - L_2)_a - M$

[化学式 4]

$(C_z)_b - L_2 - M$

式中、 C_z は下記構造から選択され、

【化 5】



10

環 E は (C6 - C30) シクロアルキル基、(C6 - C30) アリール基、もしくは (C5 - C30) ヘテロアリール基を表し；

$R_{51} \sim R_{53}$ は独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) ヘテロアリール、置換されているかもしくは置換されていない 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない 1 以上の (C3 - C30) シクロアルキルと縮合した置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール、置換されているかもしくは置換されていない 1 以上の芳香環と縮合した 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない 1 以上の芳香環と縮合した (C3 - C30) シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール (C1 - C30) アルキル、シアノ、ニトロ、ヒドロキシル、 $BR_{11}R_{12}$ 、 $PR_{13}R_{14}$ 、 $P(=O)R_{15}R_{16}$ 、 $R_{17}R_{18}R_{19}Si-$ 、 $NR_{20}R_{21}$ 、 $-YR_{22}$ を表すか、またはそれらは縮合環を有するかもしくは有しない置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) アルキレンまたは置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) アルケニレンによって隣の置換基に連結されて脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環を形成しており、この形成された脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環の炭素原子は窒素、酸素および硫黄からなる群から選択される 1 以上のヘテロ原子で置き換えられていてもよく；並びに

20

30

それぞれの R_{52} もしくは R_{53} は互いに同じかもしくは異なっていてよく；

L_2 は化学結合、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール基、または置換されているかもしくは置換されていない (C5 - C30) ヘテロアリール基を表し；

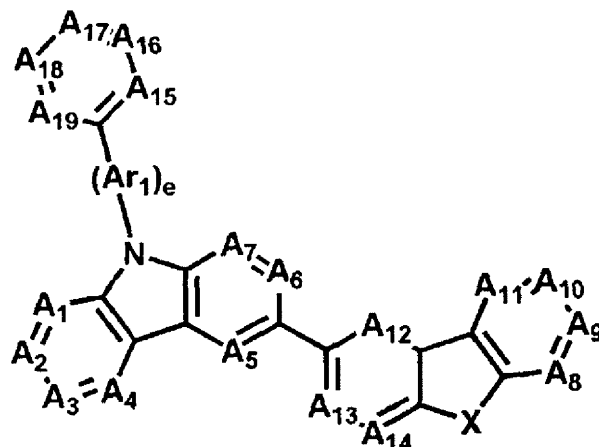
M は置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール基、または置換されているかもしくは置換されていない (C5 - C30) ヘテロアリールを表し；

40

a ~ d は独立して 0 ~ 4 の整数を表す；

【化 6】

[化学式 5]



10

式中、 $A_1 \sim A_{19}$ は独立して CR_{61} もしくは N を表し；

X は $-C(R_{62}R_{63})-$ 、 $-N(R_{64})-$ 、 $-S-$ 、 $-O-$ 、 $-Si(R_{65})(R_{66})-$ 、 $-P(R_{67})-$ 、 $-P(=O)(R_{68})-$ 、または $-B(R_{69})-$ を表し；

20

Ar_1 は置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{40}$) アリーレン、または置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{40}$) ヘテロアリーレンを表すが； $e = 0$ かつ $A_{15} \sim A_{19}$ が同時に CR_{61} である場合のみを除き；

$R_{61} \sim R_{69}$ は独立して水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない ($C_1 - C_{30}$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{30}$) アリール、置換されているかもしくは置換されていない 1 以上の ($C_3 - C_{30}$) シクロアルキルと縮合した置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{30}$) アリール、置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) ヘテロアリール、置換されているかもしくは置換されていない 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない 1 以上の芳香環と縮合した 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) シクロアルキル、1 以上の芳香環と縮合した置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) シクロアルキル、シアノ、チオフルオロメチル、 $NR_{71}R_{72}$ 、 $BR_{73}R_{74}$ 、 $PR_{75}R_{76}$ 、 $P(=O)R_{77}R_{78}$ 、 $R_{79}R_{80}R_{81}Si-$ 、 $R_{82}Y_{21}-$ 、 $R_{83}C(=O)-$ 、 $R_{84}C(=O)O-$ 、置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{30}$) アリール ($C_1 - C_{30}$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C_2 - C_{30}$) アルケニル、置換されているかもしくは置換されていない ($C_2 - C_{30}$) アルキニル、カルボキシル、ニトロまたはヒドロキシルを表すが、またはそれらは縮合環を有するかもしくは有しない置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) アルキレンまたは置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) アルケニレンによって隣の置換基に連結されて脂環式環、単環式もしくは多環式芳香環、またはヘテロ芳香環を形成しており；

30

40

前記ヘテロシクロアルキルおよびヘテロアリールは B 、 N 、 O 、 S 、 $P(=O)$ 、 Si および P からなる群から選択される 1 以上のヘテロ原子を含み；

$R_{71} \sim R_{78}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない ($C_1 - C_{30}$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{30}$) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) ヘテロアリールを表し；

$R_{79} \sim R_{81}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない ($C_1 - C_{30}$) アルキル、または置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{30}$) アリールを表し；

50

Y_{21} は S もしくは O を表し；

R_{82} は置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、または置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリールを表し；

R_{83} は置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルコキシ、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリールオキシを表し；

R_{84} は置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルコキシ、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリールオキシを表し；並びに

e は 0 または 2 の整数を表す。

【請求項 2】

前記 R 、 $R_1 \sim R_9$ 、 $R_{11} \sim R_{12}$ 、 $R_{31} \sim R_{32}$ 、 $R_{41} \sim R_{45}$ 、 $R_{51} \sim R_{53}$ 、 $R_{61} \sim R_{69}$ 、 $R_{71} \sim R_{84}$ 、 L_2 、 M および Ar_1 をさらに置換している置換基が独立して、重水素、ハロゲン、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、($C6 - C30$) アリール、($C6 - C30$) アリールで置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリール、5～7 員のヘテロシクロアルキル、1 以上の芳香環と縮合した 5～7 員のヘテロシクロアルキル、($C3 - C30$) シクロアルキル、1 以上の芳香環と縮合した ($C6 - C30$) シクロアルキル、 $R_{91} R_{92} R_{93} Si-$ 、($C2 - C30$) アルケニル、($C2 - C30$) アルキニル、シアノ、カルバゾリル、 $NR_{94} R_{95}$ 、 $BR_{96} R_{97}$ 、 $PR_{98} R_{99}$ 、 $P(=O)R_{100} R_{101}$ 、($C6 - C30$) アリール ($C1 - C30$) アルキル、($C1 - C30$) アルキル ($C6 - C30$) アリール、 $R_{102} S-$ 、 $R_{103} O-$ 、 $R_{104} C(=O)-$ 、 $R_{105} C(=O)O-$ 、カルボキシル、ニトロ、またはヒドロキシルからなる群から選択される 1 以上を表し；

$R_{91} \sim R_{103}$ が独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリール、または置換されているかもしくは置換されていない 5～7 員のヘテロシクロアルキルを表すか、またはそれらは縮合環を有するかもしくは有しない置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) アルキレンまたは置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) アルケニレンによって隣の置換基に連結されて脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環を形成しており、この形成された脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環の炭素原子は、窒素、酸素および硫黄からなる群から選択される 1 以上のヘテロ原子で置き換えられていてよく；並びに

R_{104} および R_{105} が ($C1 - C30$) アルキル、($C1 - C30$) アルコキシ、($C6 - C30$) アリール、または ($C6 - C30$) アリールオキシを表す；

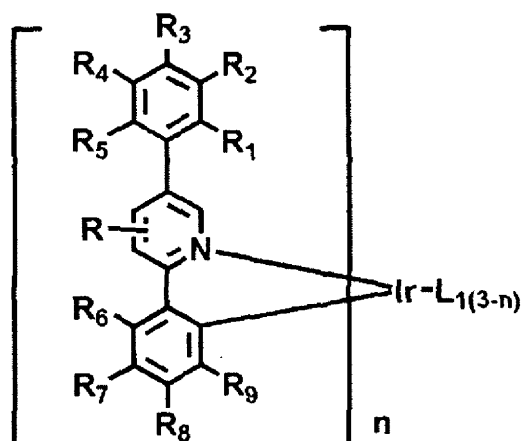
請求項 1 に記載の有機電界発光素子。

【請求項 3】

化学式 1 が化学式 6～7 で表され、化学式 2 が化学式 8～13 で表され、および化学式 3～4 の Cz が下記構造で表される、請求項 1 に記載の有機電界発光素子；

【化 7】

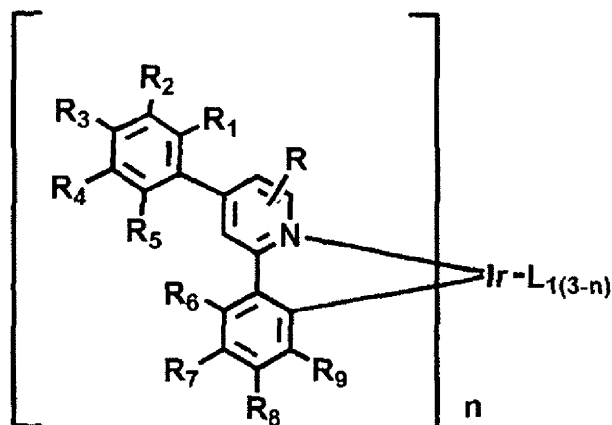
[化学式 6]



10

【化 8】

[化学式 7]



20

30

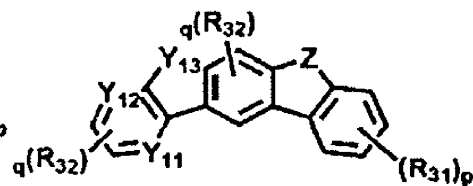
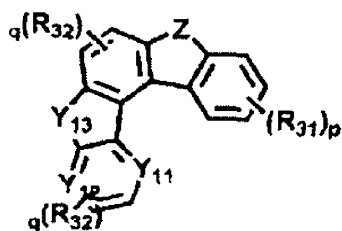
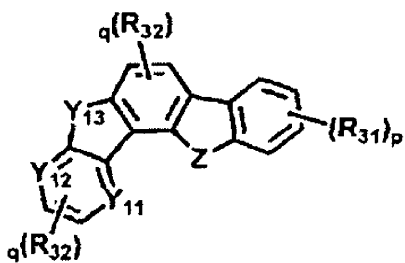
式中、R、R₁ ~ R₉、L₁ および n は化学式 1 において定義されるのと同じである：

【化 9】

[化学式 8]

[化学式 9]

[化学式 10]



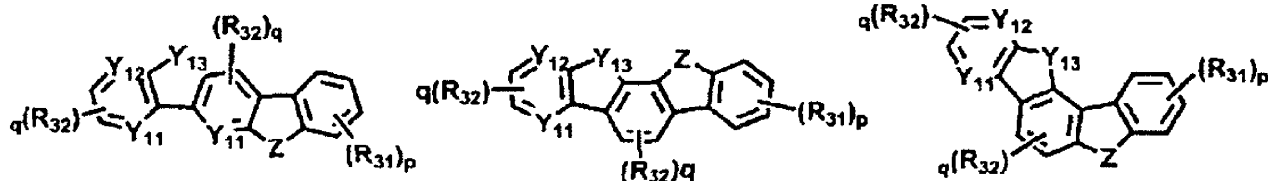
40

【化 1 0】

[化学式 1 1]

[化学式 1 2]

[化学式 1 3]

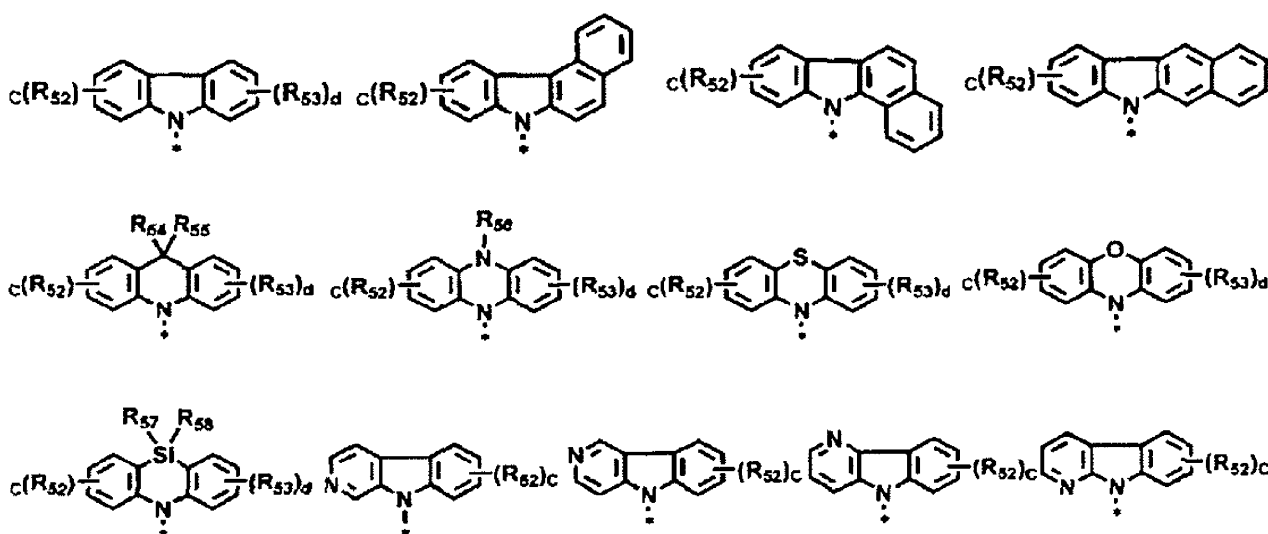


10

式中、 R_{31} 、 R_{32} 、 $Y_{11} \sim Y_{13}$ 、 Z 、 p および q は化学式 2 において定義されるのと同じである：

化学式 3 ~ 4 の C_z は下記構造から選択される

【化 1 1】



20

式中、 R_{52} 、 R_{53} 、 c および d は化学式 3 ~ 4 において定義されるのと同じであり；並びに

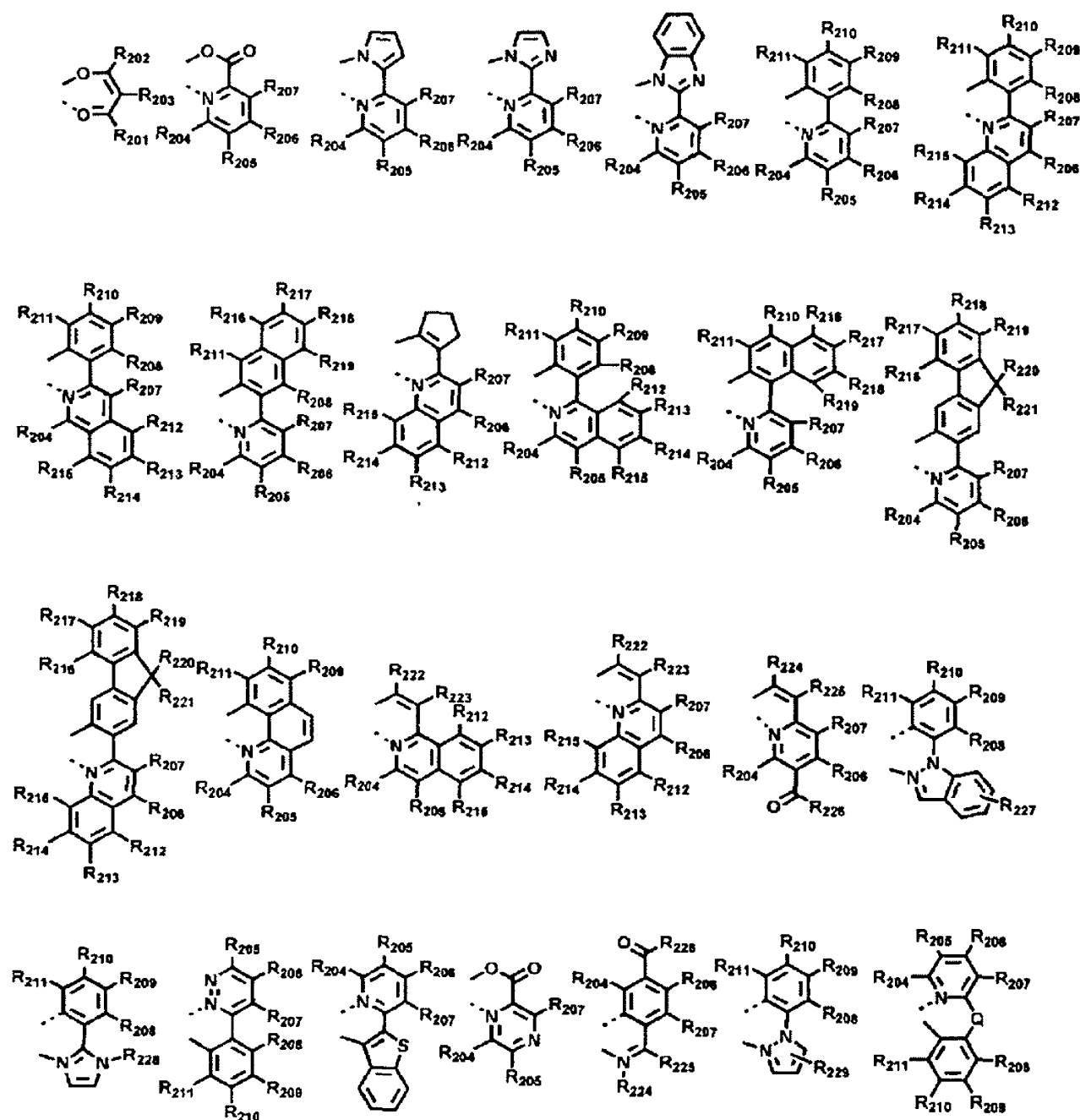
30

$R_{54} \sim R_{58}$ は独立して、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリールまたはカルボゾリルを表す。

【請求項 4】

化学式 1 で表される L_1 が下記構造から選択される、請求項 1 に記載の有機電界発光素子：

【化 1 2】



10

20

30

40

50

式中、 $R_{201} \sim R_{203}$ は独立して水素、重水素、ハロゲン置換でされているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、($C1 - C30$) アルキルで置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、またはハロゲンを表し；

$R_{204} \sim R_{219}$ は独立して水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルコキシ、置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C2 - C30$) アルケニル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、置換されているかもしくは置換されていないモノ ($C1 - C30$) アルキルアミノ、置換されているかもしくは置換されていないジ ($C1 - C30$) アルキルアミノ、置換されているかもしくは置換されていないモノ ($C6 - C30$) アリールアミノ、置換されているかもしくは置換されていないジ ($C6 - C30$) アリールアミノ、 SF_5 、置換されているかもしくは置換されていないトリ ($C1 - C30$) アルキルシリル、置換されているかもしくは置換されていないジ ($C1 - C30$) アルキル ($C6 - C30$) アリールシリル、置換されているかもしくは置換さ

れていないトリ(C 6 - C 3 0)アリールシリル、シアノまたはハロゲンを表し；

$R_{220} \sim R_{223}$ は独立して、水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない(C 1 - C 3 0)アルキル、または(C 1 - C 3 0)アルキルで置換されているかもしくは置換されていない(C 6 - C 3 0)アリールを表し；

R_{224} および R_{225} は独立して水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない(C 1 - C 3 0)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C 6 - C 3 0)アリール、またはハロゲンを表し、または R_{224} と R_{225} は縮合環を有するもしくは有しない(C 3 - C 1 2)アルキレンもしくは(C 3 - C 1 2)アルケニレンによって連結されて、脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環を形成しており；

R_{226} は置換されているかもしくは置換されていない(C 1 - C 3 0)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C 6 - C 3 0)アリール、置換されているかもしくは置換されていない(C 5 - C 3 0)ヘテロアリール、またはハロゲンを表し；

$R_{227} \sim R_{229}$ は独立して、水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない(C 1 - C 3 0)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C 6 - C 3 0)アリール、またはハロゲンを表し；

Q は

【化 1 3】



を表し、並びに

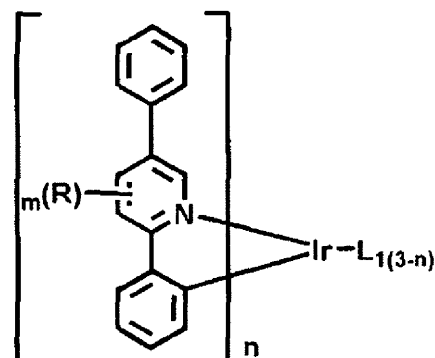
$R_{231} \sim R_{242}$ は独立して水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない(C 1 - C 3 0)アルキル、(C 1 - C 3 0)アルコキシ、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない(C 6 - C 3 0)アリール、シアノ、置換されているかもしくは置換されていない(C 5 - C 3 0)シクロアルキルを表し、またはそれらはアルキレンもしくはアルケニレンによって隣の置換基に連結されてスピロ環もしくは縮合環を形成しており、またはアルキレンもしくはアルケニレンによって R_{207} もしくは R_{208} に連結されて飽和もしくは不飽和縮合環を形成している。

【請求項 5】

前記化学式 1 が下記化学式 1 4 で表され、並びに前記化学式 2 ~ 5 が下記化学式 8、10、11 ~ 12 および化学式 3 ~ 5 で表される、請求項 1 に記載の有機電界発光素子；

【化 1 4】

[化学式 1 4]

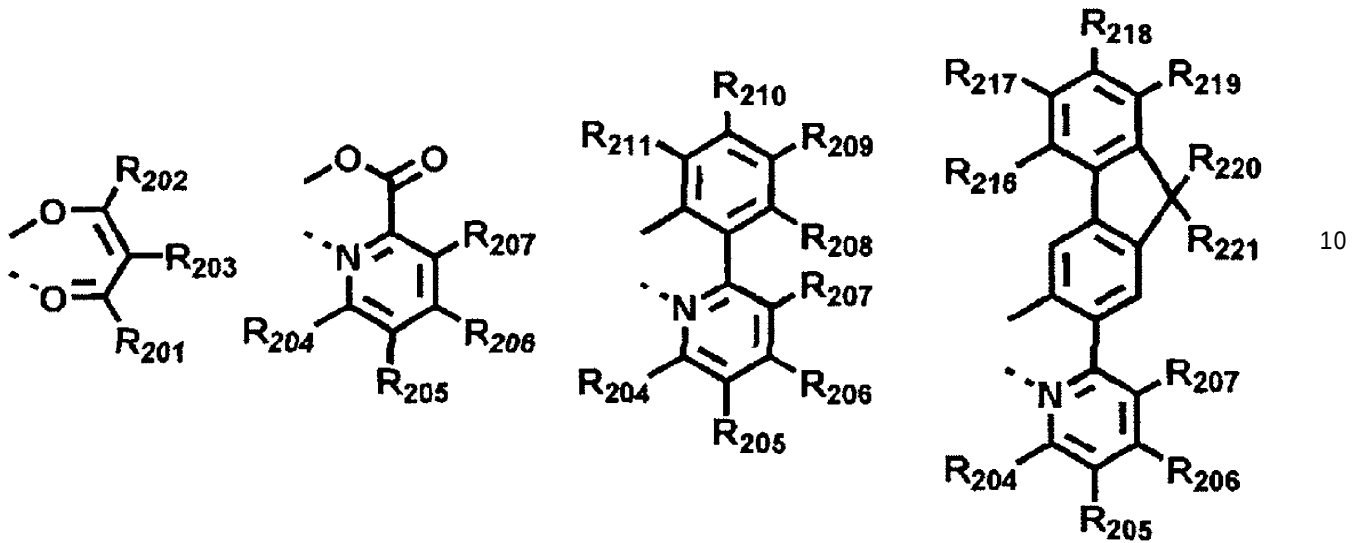


式中、R は置換されているかもしくは置換されていない(C 1 - C 3 0)アルキル、置

換されているかもしくは置換されていない(C 6 - C 3 0)アリールを表し；

L₁ は下記構造

【化 1 5】



から選択され、

R₂₀₁ ~ R₂₀₃ は独立して水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない(C 1 - C 3 0)アルキル、(C 1 - C 3 0)アルキルで置換されているかもしくは置換されていない(C 6 - C 3 0)アリール、またはハロゲンを表し；

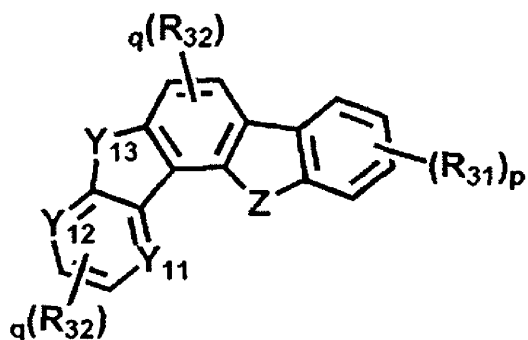
R₂₀₄ ~ R₂₁₉ は独立して水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない(C 1 - C 3 0)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C 6 - C 3 0)アリール、S F₅、置換されているかもしくは置換されていないトリ(C 1 - C 3 0)アルキルシリル、置換されているかもしくは置換されていないジ(C 1 - C 3 0)アルキル(C 6 - C 3 0)アリールシリル、置換されているかもしくは置換されていないトリ(C 6 - C 3 0)アリールシリル、シアノまたはハロゲンを表し；

R₂₂₀ ~ R₂₂₁ は独立して、水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない(C 1 - C 3 0)アルキル、または(C 1 - C 3 0)アルキルで置換されているかもしくは置換されていない(C 6 - C 3 0)アリールを表し；並びに、

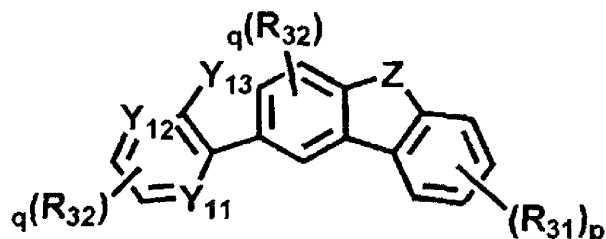
n および m は独立して 1 ~ 3 の整数を表す；

【化 1 6】

[化学式 8]

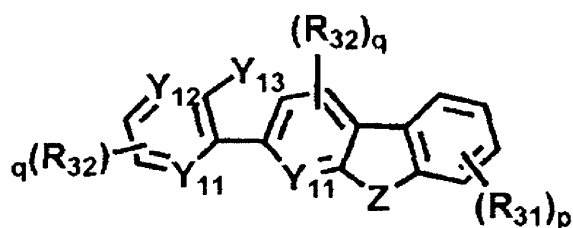


[化学式 10]

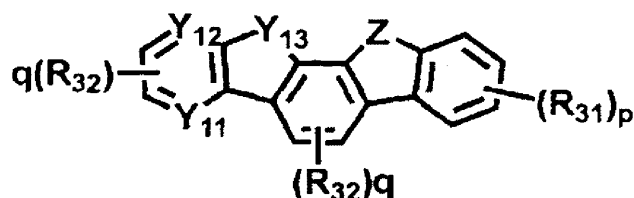


10

[化学式 11]



[化学式 12]



20

式中、Zは - O - 、 - S - 、 - C (R_{4 1} R_{4 2}) - 、 - N (R_{4 5}) - を表し；

Y_{1 1} ~ Y_{1 2} は C を表し；

Y_{1 3} は - N (R_{4 5}) - を表し；

R_{3 1} および R_{3 2} は独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) ヘテロアリール、置換されている (C 1 - C 3 0) アルキルシリル基、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アリールシリル基、および置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル (C 6 - C 3 0) アリールシリル基を表し；

30

R_{4 1} ~ R_{4 2} は独立して、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、および置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) ヘテロアリールを表し；

R_{4 5} は置換されている (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、および置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) ヘテロアリールを表し；

p および q は独立して 0 ~ 4 の整数を表し；p もしくは q が 2 より大きい整数を表す場合には、それぞれの R_{3 1} および R_{3 2} は互いに同じかもしくは異なっていてよい；

40

[化学式 3]

(C_Z - L₂)_a - M

[化学式 4]

(C_Z)_b - L₂ - M

式中、C_Z は下記構造

【化 1 7】



を有し、

$R_{52} \sim R_{53}$ は独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリール、 $R_{17} R_{18} R_{19} Si -$ を表し； $R_{17} \sim R_{19}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリールを表し；それぞれの R_{52} または R_{53} は互いに同じかもしくは異なっていてよく；

10

L_2 は化学結合、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリーレン、および置換されているかもしくは置換されていない ($C5 - C30$) ヘテロアリーレンを表し；

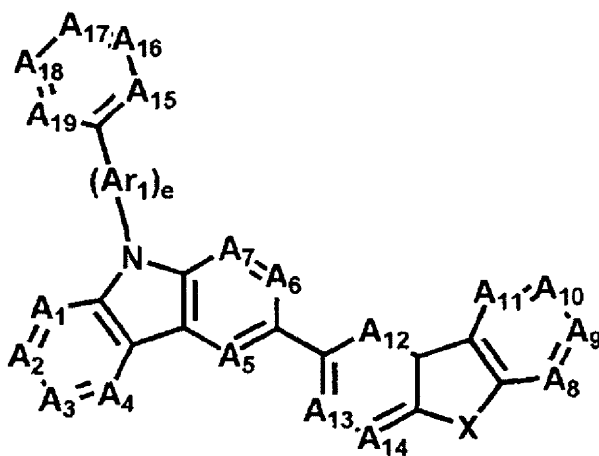
M は置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール基、および置換されているかもしくは置換されていない ($C5 - C30$) ヘテロアリールを表し；

$a \sim d$ は独立して $0 \sim 4$ の整数を表す；

20

【化 1 8】

[化学式 5]



30

式中、 $A_1 \sim A_{14}$ は CR_{61} を表し；

$A_{15} \sim A_{19}$ は独立して CR_{61} もしくは N を表し；

X は $-N(R_{64})-$ 、 $-S-$ 、 $-O-$ 、および $-Si(R_{65})(R_{66})-$ を表し；

40

Ar_1 は置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C40$) アリーレン、および置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C40$) ヘテロアリーレンを表すが； $e = 0$ かつ $A_{15} \sim A_{19}$ が同時に CR_{61} を表す場合を除き；

R_{61} および $R_{64} \sim R_{66}$ は独立して水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリール、 $NR_{71} R_{72}$ 、および $R_{79} R_{80} R_{81} Si -$ を表し；

$R_{71} \sim R_{72}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリールを表

50

し；

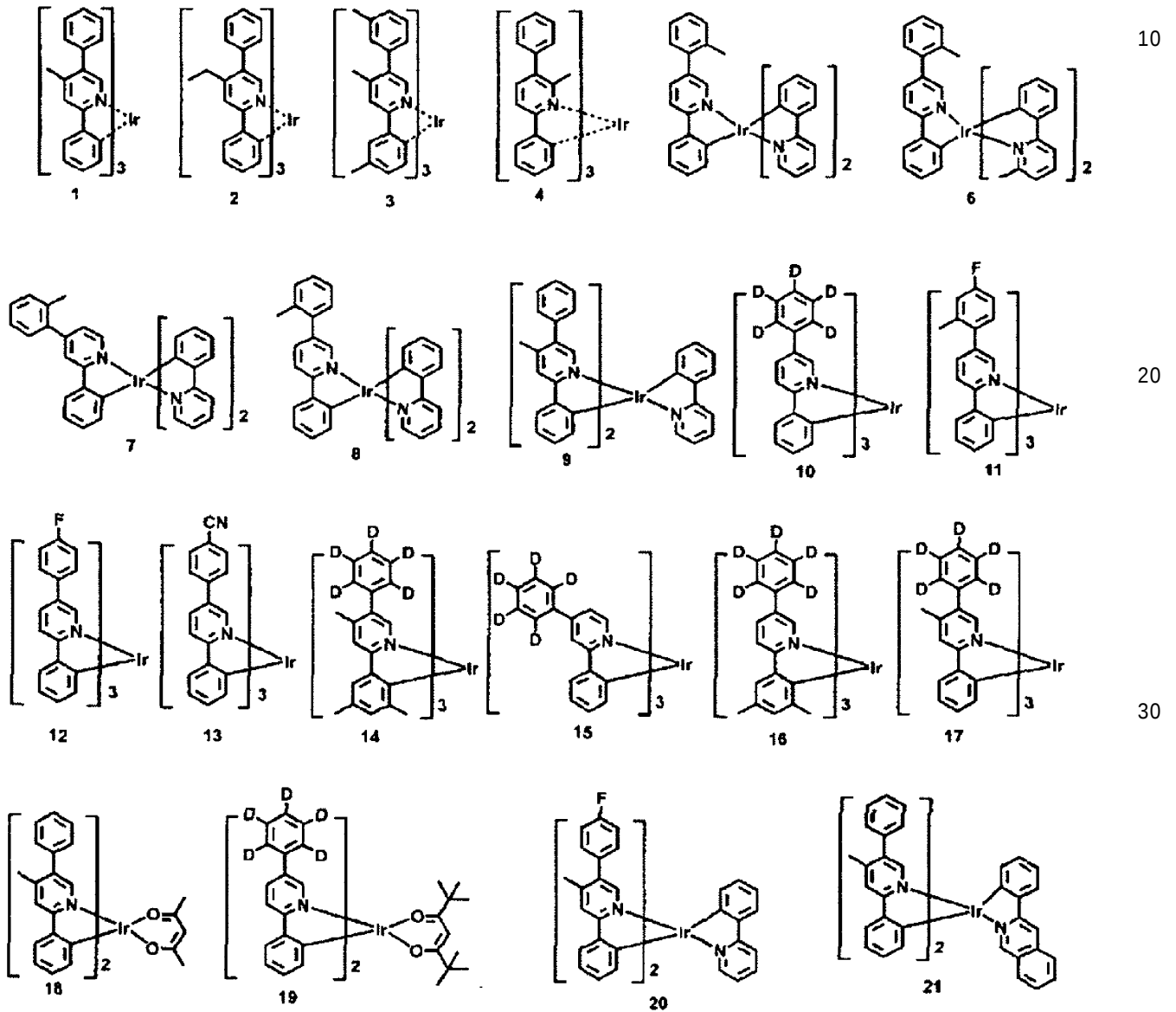
$R_{79} \sim R_{81}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、または置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリールを表し；並びに

e は 0 ~ 2 の整数を表す。

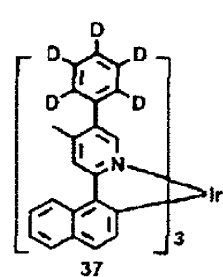
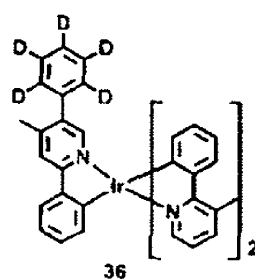
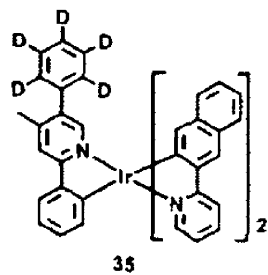
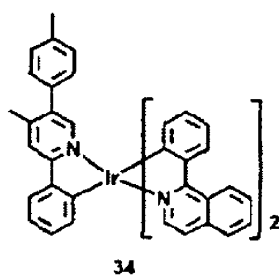
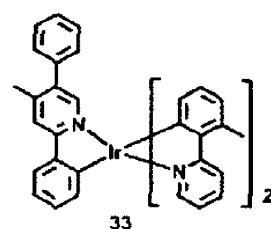
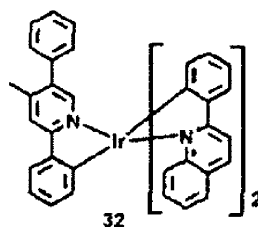
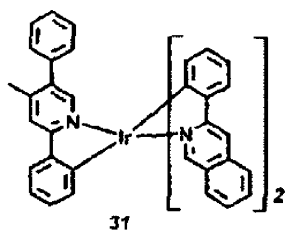
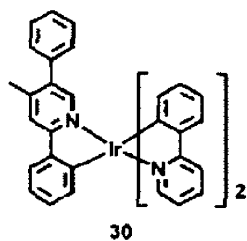
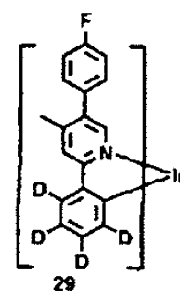
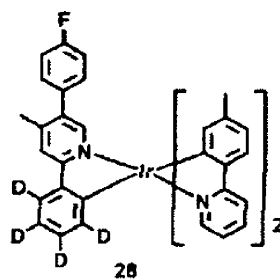
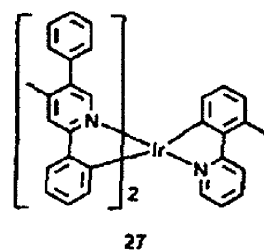
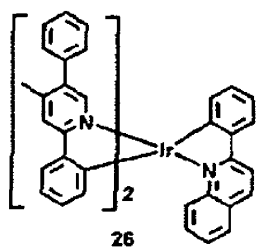
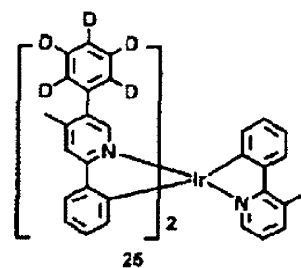
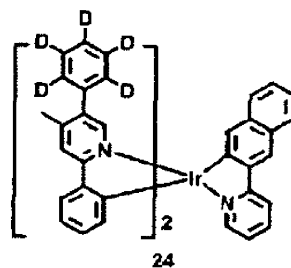
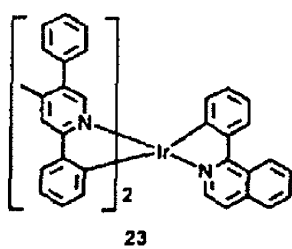
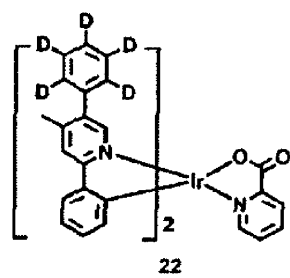
【請求項 6】

化学式 1 が下記構造

【化 1 9】



【化 20】

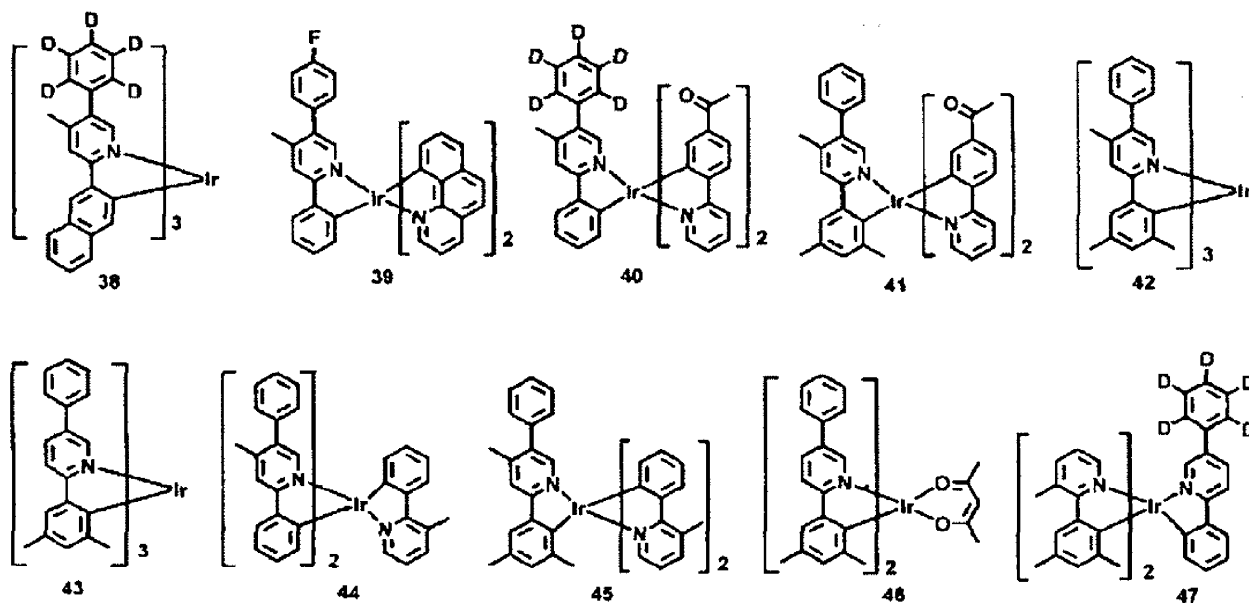


10

20

30

【化 2 1】



10

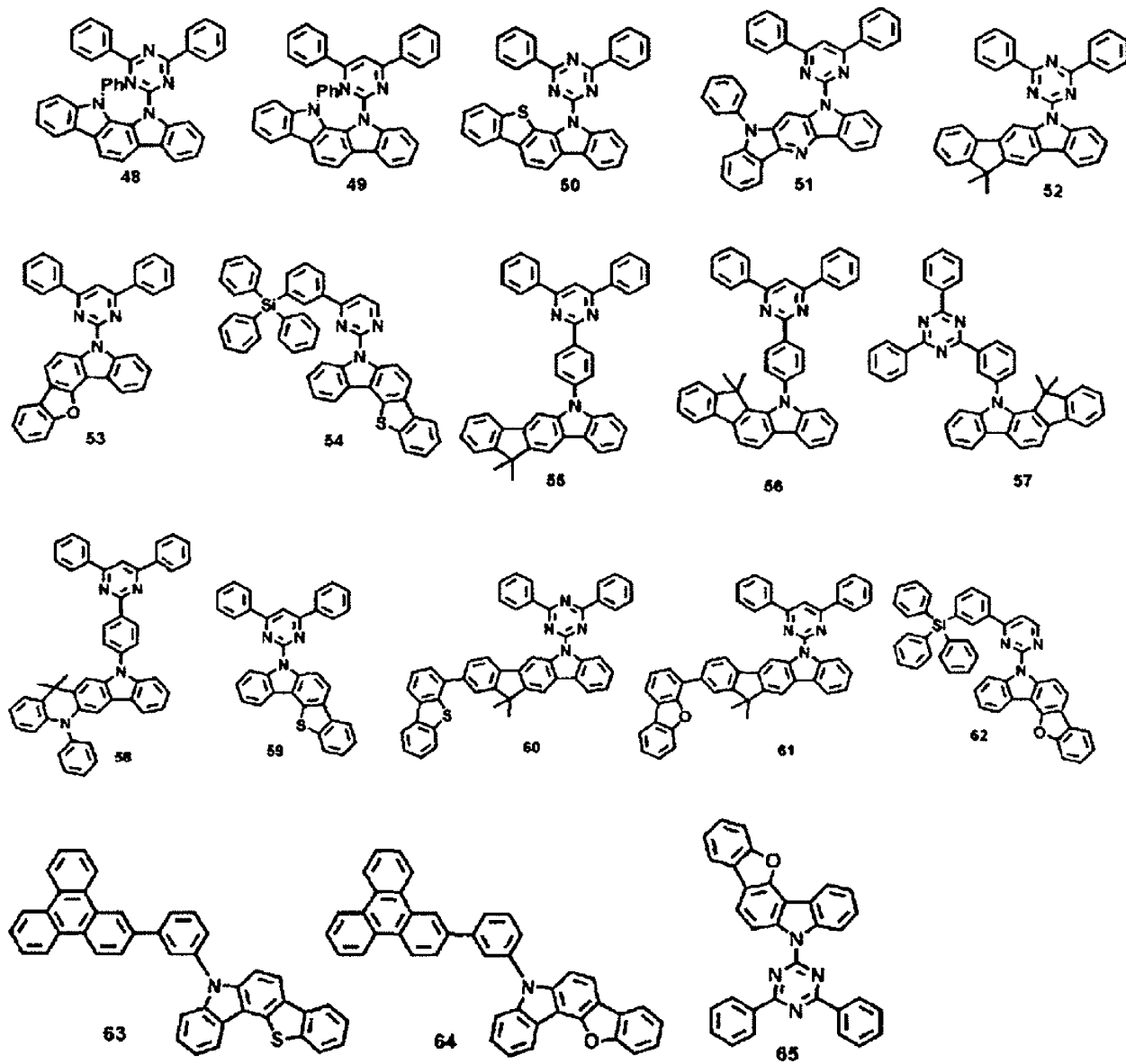
から選択される請求項 1 に記載の有機電界発光素子。

【請求項 7】

化学式 2 ~ 4 が下記構造

20

【化 2 2】

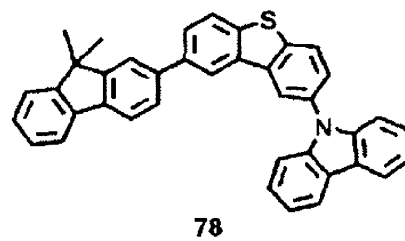
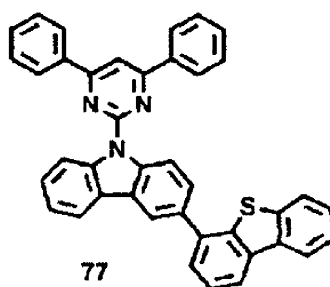
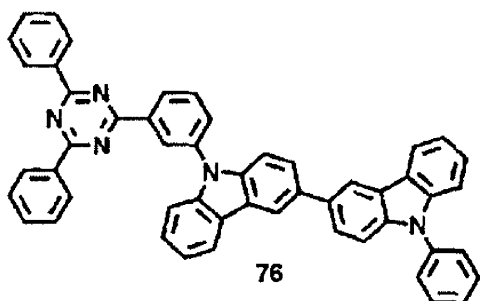
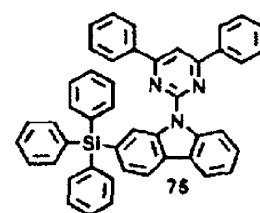
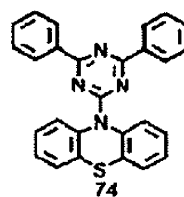
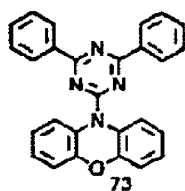
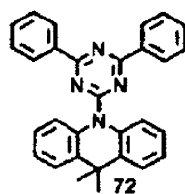
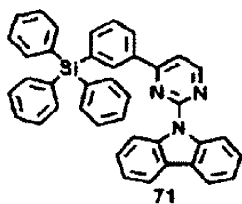
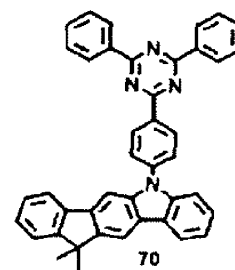
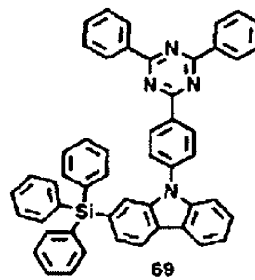
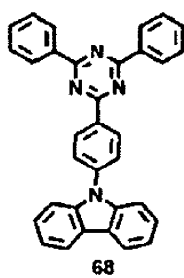
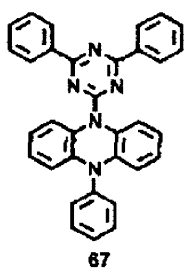
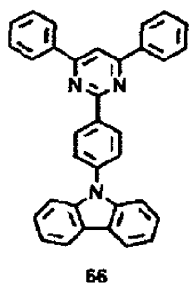


10

20

30

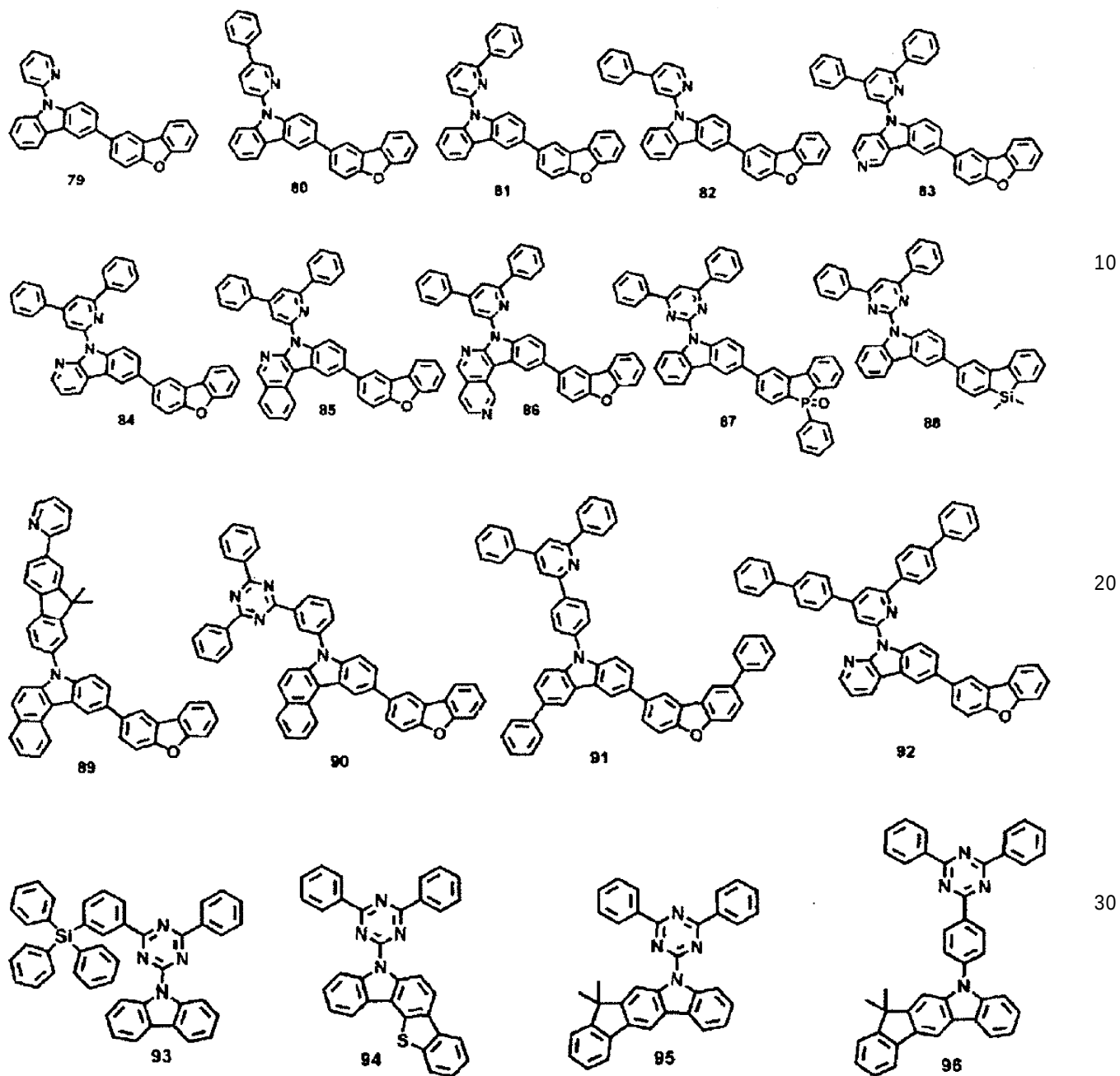
【化 2 3】



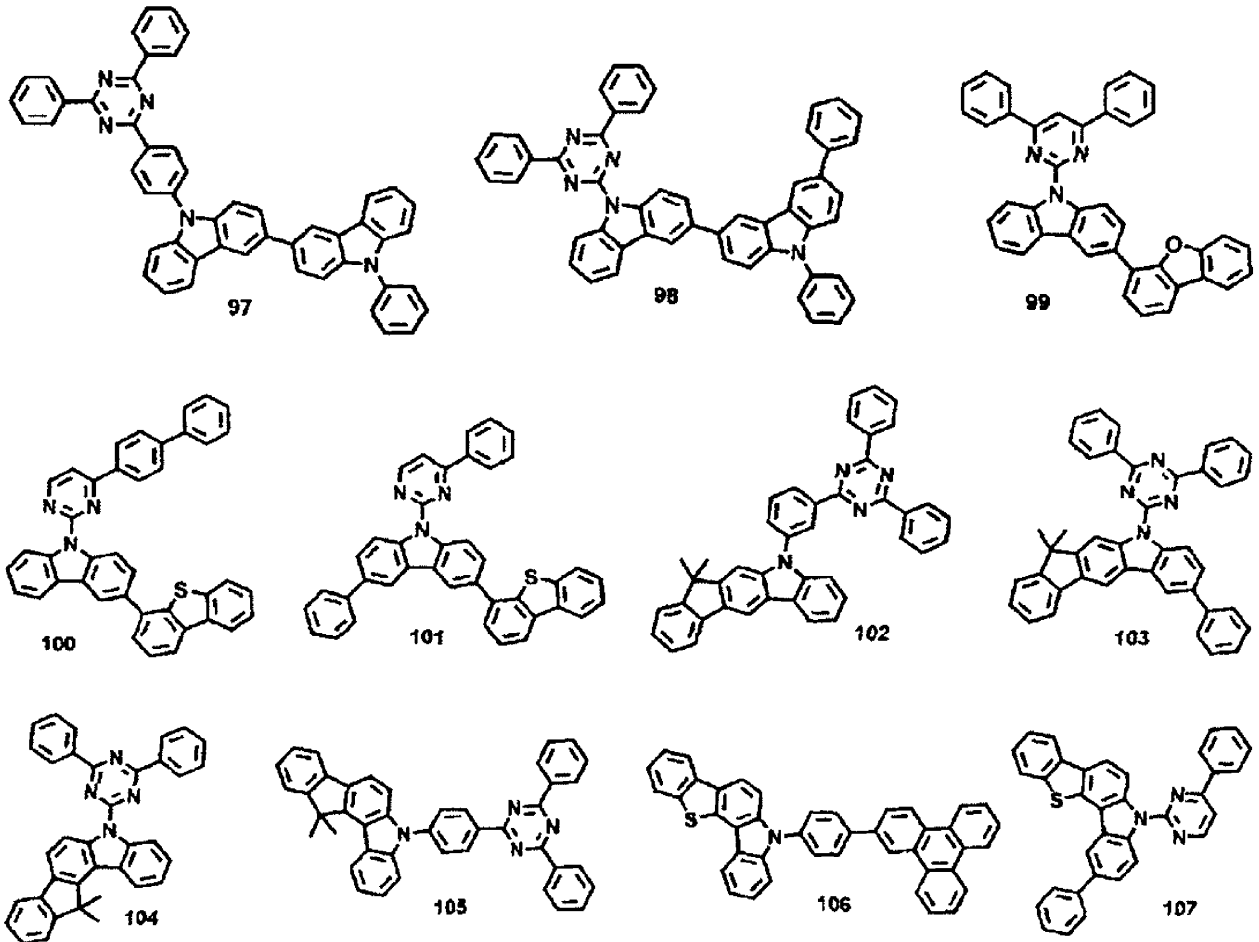
10

20

【化 2 4】



【化 2 5】



10

20

から選択される請求項 1 に記載の有機電界発光素子。

【請求項 8】

前記有機層が電界発光層および電荷発生層を同時に含む、請求項 1 に記載の有機電界発光素子。

30

【請求項 9】

白色光を放射するために、前記有機層が赤、緑または青色光を放射する 1 以上の有機電界発光層をさらに含む、請求項 1 に記載の有機電界発光素子。

【請求項 10】

前記電界発光層において、前記ホスト化合物に基づく前記ドーバント化合物のドーピング濃度が 20 重量%未満の範囲である、請求項 1 に記載の有機電界発光素子。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

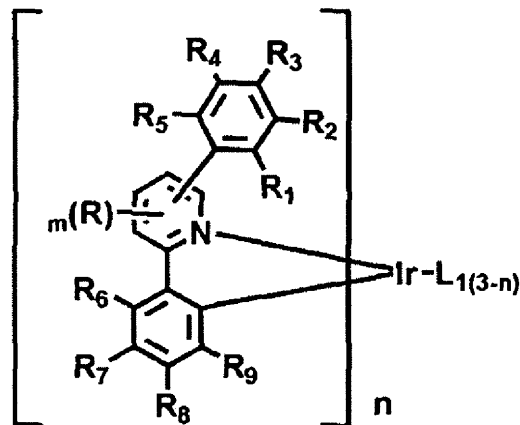
本発明は、有機電界発光素子 (organic electroluminescent device) に関し、より具体的には、基体上のアノードとカソードとの間に有機層が設けられており、この有機層が下記化学式 1 で表される 1 種以上のドーバント化合物および下記化学式 2 ~ 5 で表される 1 種以上のホスト化合物を含む有機電界発光素子に関する。

【0002】

40

【化 1】

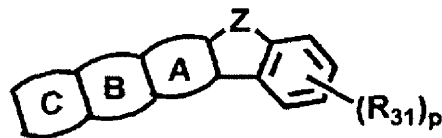
[化学式 1]



10

【化 2】

[化学式 2]



20

[化学式 3]

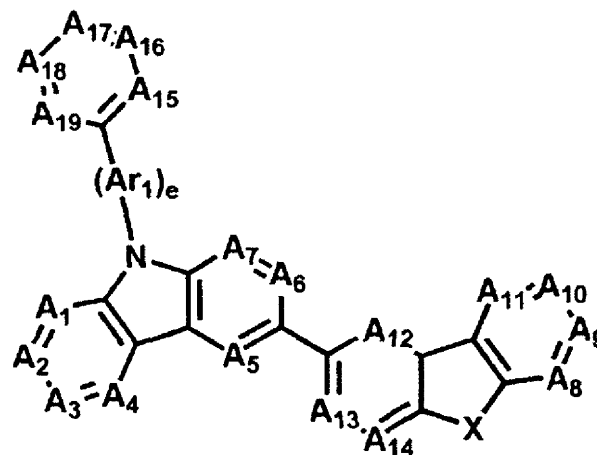
(C z - L ₂) _a - M

[化学式 4]

(C z) _b - L ₂ - M

【化 3】

[化学式 5]



30

40

【背景技術】

【 0 0 0 3 】

ディスプレイ素子の中では、電界発光素子（EL素子）は自己発光型ディスプレイ素子であり、かつLCDと比べてより広い視野角、優れたコントラストおよび速い応答速度という利点を有する。電界発光層を形成するための物質として、低分子量の芳香族ジアミンとアルミニウム錯体とを使用する有機EL素子が、1987年にイーストマンコダックカンパニーによって初めて開発された [Appl. Phys. Lett. 51, 913, 1

50

987]。

【0004】

有機EL素子においては、電子注入電極（カソード）および正孔注入電極（アノード）の間に形成される有機膜に電荷が注入される場合に、電子および正孔が対になって、そして光を放射しつつ消滅する。有機EL素子は、その素子がプラスチックのような可撓性の透明基体上に形成されることができ、かつプラズマディスプレイパネルもしくは無機ELディスプレイと比較して低い電圧（10V以下）で駆動されることができるという利点を有する。さらに、有機EL素子は相対的に小さな電力消費しか必要とせず、かつ優れた色を有する。一方で、有機EL素子は赤、緑および青の3色を示し、よってそれは次世代の色彩豊かなディスプレイ素子として多くの人からの注目の的となっている。

10

【0005】

有機EL素子のための有機材料はおおまかに電界発光材料と電荷輸送材料とに分けられる。電界発光材料は電界発光色および発光効率に直接関連し、かついくつかの特性、例えば、固体状態での高い蛍光量子収率、電子および正孔の高移動度、真空蒸着の際の低い分解性、および均一な薄膜形成能力を必要とする。

【0006】

電界発光材料は機能の観点から、ホスト材料とドーパント材料とに分けられる。一般的には、電界発光層がホストをドーパントでドーブすることにより形成される構造を有する素子が、優れたEL特性を有することが知られている。最近、高効率かつ長寿命特性を有する有機EL素子の開発が最も緊急の課題となっており、特に、中～大型のOLEDパネルに必要とされるEL特性の水準を考慮すると、既存の電界発光材料よりも優れた材料の開発が急を要している。この理由のために、固体状態の溶媒およびエネルギー輸送メンバーとして機能するホスト材料は高純度を有し、かつ真空蒸着を可能にするのに適した分子量を有することを必要とする。さらに、ホスト材料は高いガラス転移温度および高い熱分解温度のせいで高い熱安定性を確実にし、かつ長寿命特性のための高い電気化学的安定性を確実にすることを必要とする。さらに、ホスト材料は非晶質薄膜の形成の容易さを必要とし、かつ層間移動が起こる必要はないが、他の隣接する層の材料との優れた接着強度を有することを必要とする。

20

【0007】

OLEDの発光効率を決定する最も重要な要因として機能する電界発光材料として、現在まで、蛍光材料が広く使用されてきたが、電界発光メカニズムの観点からは、リン光材料の開発が発光効率を理論的に4倍まで向上させる最も良い方法として知られている。

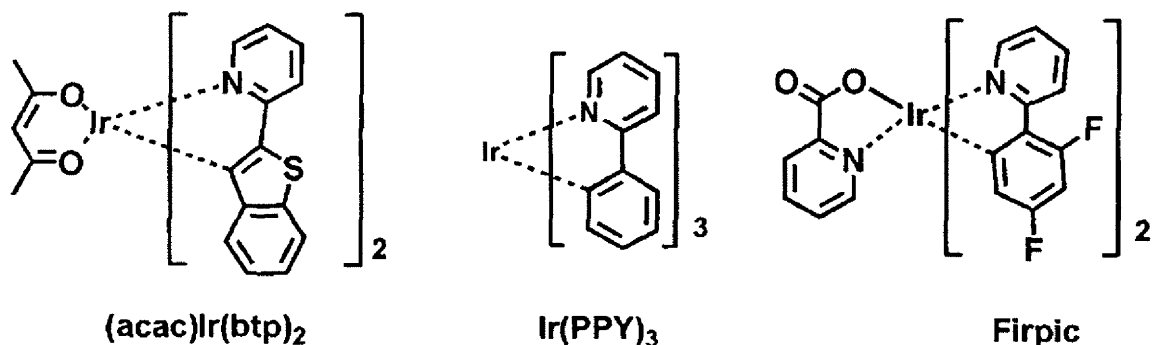
30

【0008】

イリジウム（III）錯体系リン光電界発光材料として、現在まで、赤色、緑色および青色のためにそれぞれ（acac）Ir（btp）₂、Ir（ppy）₃ およびFirpicが知られている。近年、多くのリン光材料が韓国、日本、および欧州において研究されており、よってより改良されたリン光材料が知られることとなることが期待される。

【0009】

【化4】



40

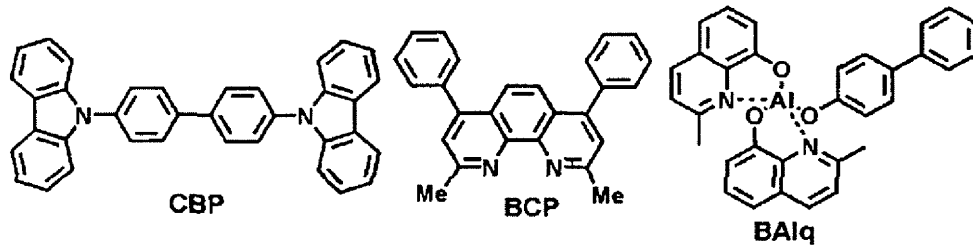
【0010】

50

リン光電解発光体のホスト材料として、現在まで、CBPが最も広く知られており、CBPまたはBALqの正孔ブロック層が適用される高効率OLEDが知られている。

【0011】

【化5】



10

【0012】

既存の材料が電界発光特性の点で有利である。しかし、それらは真空下での高温蒸着プロセスにかけられる場合に、その低いガラス転移温度および劣った熱安定性のせいで変形しうる。OLEDにおいては、電力効率 = (π / 電圧) × 電流効率であるから、電力効率は電圧に反比例する。よって、OLEDの電力消費を低減させるために、電力効率が上げられる必要がある。実際のリン光電界発光材料を使用するOLEDは、蛍光電界発光材料を使用するOLEDと比較してより高い電流効率 (cd / A) を有する。しかし、BALqまたはCBPなどの既存の材料がリン光電界発光材料のホストとして使用されるOLEDは、蛍光材料を使用するOLEDと比べるとより高い駆動電圧を有し、よって電力効率 (lm / w) の点では大きな利点は存在しない。

20

【先行技術文献】

【非特許文献】

【0013】

【非特許文献1】Appl. Phys. Lett. 51, 913, 1987

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0014】

先行技術の欠点を解決するために本発明者によってなされた努力の結果、特定の化合物の組み合わせによって造られる電界発光層を含む有機層を基体上のアノードとカソードとの間に設けることにより、高い色純度、高い輝度および長寿命特性を有する有機電界発光素子の実現されうる。

30

本発明の目的は、基体上のアノードとカソードとの間に有機層が設けられ、この有機層が電界発光層を含み、この電界発光層が1種以上のホスト化合物および1種以上のドーパント化合物を含む有機電界発光素子、ひいては優れた発光効率、高い色純度、低い駆動電圧および長寿命特性を有する有機電界発光素子を提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0015】

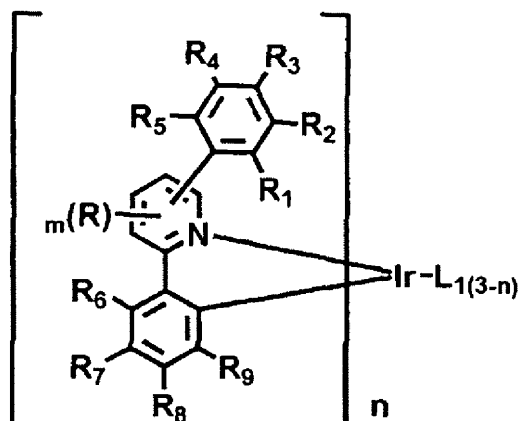
本発明は有機電界発光素子に関し、より具体的には、基体上のアノードとカソードとの間に有機層が設けられており、この有機層が電界発光層を含み、この電界発光層が下記化学式1で表される1種以上のドーパント化合物および下記化学式2～5で表される1種以上のホスト化合物を含む有機電界発光素子に関する。

40

【0016】

【化 6】

〔化学式 1〕



10

【0017】

式中、 L_1 は有機配位子を表し；

R は水素、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルコキシ、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリールを表し；

20

$R_1 \sim R_5$ は独立して水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない 5 ～ 7 員のヘテロシクロアルキル、シアノ、ニトロ、 $BR_{11}R_{12}$ 、 $PR_{13}R_{14}$ 、 $P(=O)R_{15}R_{16}$ 、 $R_{17}R_{18}R_{19}Si-$ 、または置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール ($C1 - C30$) アルキルを表し；

$R_6 \sim R_9$ は水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アリール、置換されているかもしくは置換されていない ($C5 - C30$) ヘテロアリール、置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない 5 ～ 7 員のヘテロシクロアルキル、シアノ、ニトロ、 $BR_{11}R_{12}$ 、 $PR_{13}R_{14}$ 、 $P(=O)R_{15}R_{16}$ 、 $R_{17}R_{18}R_{19}Si-$ 、 $NR_{20}R_{21}$ 、 $R_{22}Y-$ 、置換されているかもしくは置換されていない ($C2 - C30$) アルケニル、置換されているかもしくは置換されていない ($C2 - C30$) アルキニル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール ($C1 - C30$) アルキルを表すか、またはそれらは隣の置換基に連結されて縮合環を形成しており；

30

$R_{11} \sim R_{22}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリールを表し；

40

Y は S または O を表し；

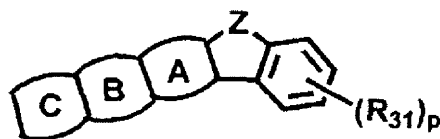
n および m は独立して 1 ～ 3 の整数を表し；

前記ヘテロシクロアルキルおよびヘテロアリールは B、N、O、S、 $P(=O)$ 、Si および P からなる群から選択される 1 以上のヘテロ原子を含む。

【0018】

【化 7】

[化学式 2]



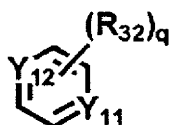
【0019】

式中、Zは - O - 、 - S - 、 - C (R₄₁ R₄₂) - 、 - Si (R₄₃ R₄₄) - 、 または - N (R₄₅) - を表し；

10

環 A および環 C は独立して、

【化 8】

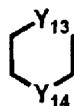


を表し；

環 B は

【化 9】

20



の環を表し；

【0020】

Y₁₁ ~ Y₁₂ は独立して C および N を表し；

Y₁₃ ~ Y₁₄ は独立して化学結合、 - O - 、 - S - 、 - C (R₄₁ R₄₂) - 、 - Si (R₄₃ R₄₄) - 、 または - N (R₄₅) - を表すが； Y₁₃ および Y₁₄ が同時に化学結合を表す場合のみを除く；

30

R₃₁ および R₃₂ は独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) ヘテロアリール、置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキルシリル基、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アリールシリル基、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル (C 6 - C 3 0) アリールシリル基、シアノ、ニトロ、またはヒドロキシルを表すか、またはそれらは縮合環を有するかもしくは有しない置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) アルキレンもしくは (C 3 - C 3 0) アルケニレンによって隣の置換基に連結されて脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環を形成しており；

40

R₄₁ ~ R₄₅ は独立して水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) ヘテロアリール、置換されているかもしくは置換されていない 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) シクロアルキルを表すか、またはそれらは隣の置換基に連結されて環を形成しており；

p および q は独立して 0 ~ 4 の整数を表し；

50

p もしくは q が 2 より大きい整数を表す場合には、それぞれの R_{31} および R_{32} は互いに同じかもしくは異なっていてよく、およびそれらは隣の置換基に連結されて環を形成していてもよく；並びに

前記ヘテロシクロアルキルおよびヘテロアリールは B、N、O、S、P (=O)、Si および P からなる群から選択される 1 以上のヘテロ原子を含む。

【0021】

[化学式 3]

$(Cz - L_2)_a - M$

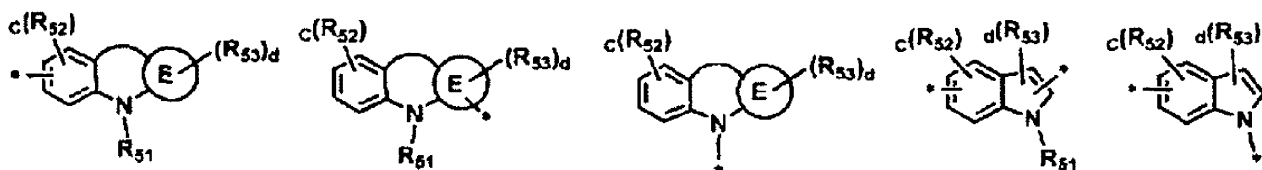
[化学式 4]

$(Cz)_b - L_2 - M$

式中、Cz は下記構造から選択され、

【0022】

【化10】



【0023】

環 E は (C6 - C30) シクロアルキル基、(C6 - C30) アリール基、もしくは (C5 - C30) ヘテロアリール基を表し；

$R_{51} \sim R_{53}$ は独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) ヘテロアリール、置換されているかもしくは置換されていない 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない 1 以上の (C3 - C30) シクロアルキルと縮合した置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール、置換されているかもしくは置換されていない 1 以上の芳香環と縮合した 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない 1 以上の芳香環と縮合した (C3 - C30) シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール (C1 - C30) アルキル、シアノ、ニトロ、ヒドロキシル、 $BR_{11}R_{12}$ 、 $PR_{13}R_{14}$ 、 $P(=O)R_{15}R_{16}$ 、 $R_{17}R_{18}R_{19}Si-$ 、 $NR_{20}R_{21}$ 、 $-YR_{22}$ を表すか、またはそれらは縮合環を有するかもしくは有しない置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) アルキレンまたは置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) アルケニレンによって隣の置換基に連結されて脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環を形成しており、この形成された脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環の炭素原子は窒素、酸素および硫黄からなる群から選択される 1 以上のヘテロ原子で置き換えられていてもよく；並びに

それぞれの R_{52} もしくは R_{53} は互いに同じかもしくは異なっていてよく；

L_2 は化学結合、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール基、または置換されているかもしくは置換されていない (C5 - C30) ヘテロアリール基を表し；

M は置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール基、または置換されているかもしくは置換されていない (C5 - C30) ヘテロアリールを表し；

a ~ d は独立して 0 ~ 4 の整数を表す。

【0024】

10

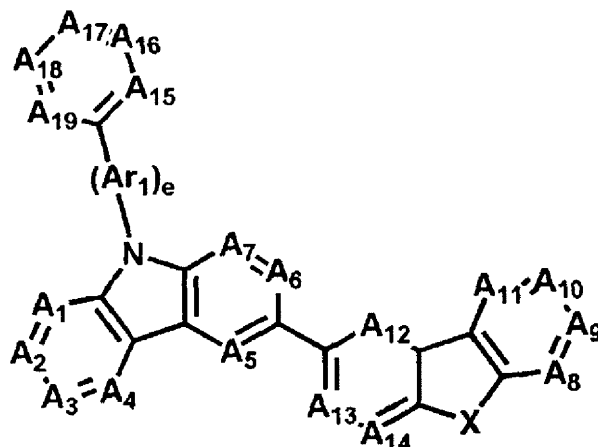
20

30

40

【化 1 1】

[化学式 5]



10

【0025】

式中、 $A_1 \sim A_{19}$ は独立して CR_{61} もしくは N を表し；

X は $-C(R_{62} R_{63})-$ 、 $-N(R_{64})-$ 、 $-S-$ 、 $-O-$ 、 $-Si(R_{65})(R_{66})-$ 、 $-P(R_{67})-$ 、 $-P(=O)(R_{68})-$ 、または $-B(R_{69})-$ を表し；

20

Ar_1 は置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{40}$) アリーレン、または置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{40}$) ヘテロアリーレンを表すが； $e = 0$ かつ $A_{15} \sim A_{19}$ が同時に CR_{61} である場合のみを除き；

$R_{61} \sim R_{69}$ は独立して水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない ($C_1 - C_{30}$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{30}$) アリール、置換されているかもしくは置換されていない 1 以上の ($C_3 - C_{30}$) シクロアルキルと縮合した置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{30}$) アリール、置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) ヘテロアリール、置換されているかもしくは置換されていない 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない 1 以上の芳香環と縮合した 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) シクロアルキル、1 以上の芳香環と縮合した置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) シクロアルキル、シアノ、チオフルオロメチル、 $NR_{71}R_{72}$ 、 $BR_{73}R_{74}$ 、 $PR_{75}R_{76}$ 、 $P(=O)R_{77}R_{78}$ 、 $R_{79}R_{80}R_{81}Si-$ 、 $R_{82}Y_2$ 、 $R_{83}C(=O)-$ 、 $R_{84}C(=O)O-$ 、置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{30}$) アリール ($C_1 - C_{30}$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C_2 - C_{30}$) アルケニル、置換されているかもしくは置換されていない ($C_2 - C_{30}$) アルキニル、カルボキシル、ニトロまたはヒドロキシルを表すが、またはそれらは縮合環を有するかもしくは有しない置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) アルキレンまたは置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) アルケニレンによって隣の置換基に連結されて脂環式環、単環式もしくは多環式芳香環、またはヘテロ芳香環を形成しており；

30

40

前記ヘテロシクロアルキルおよびヘテロアリールは B 、 N 、 O 、 S 、 $P(=O)$ 、 Si および P からなる群から選択される 1 以上のヘテロ原子を含み；

$R_{71} \sim R_{78}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない ($C_1 - C_{30}$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{30}$) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) ヘテロアリールを表し；

$R_{79} \sim R_{81}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない ($C_1 - C_{30}$) アルキル、または置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{30}$) アリ

50

ールを表し；

Y_{21} は S もしくは O を表し；

R_{82} は置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、または置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリールを表し；

R_{83} は置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルコキシ、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリールオキシを表し；

R_{84} は置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルコキシ、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリールオキシを表し；並びに

e は 0 または 2 の整数を表す。

【0026】

本発明の有機電界発光素子はホスト - ドーパントエネルギー伝達メカニズムを示し、これにより向上した電子密度分布に基づく特定の高効率電界発光性能を示すことができる。さらに、本発明の有機電界発光素子は低い当初効率、短い駆動寿命特性などを克服することができ、そして各色について高効率で長寿命特性の高性能電界発光性能を確実にすることができる。

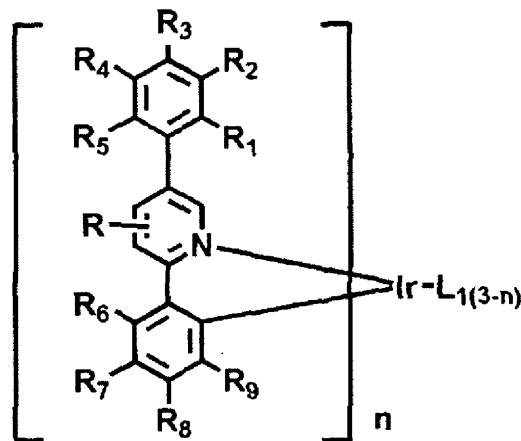
【0027】

本発明の有機電界発光素子において、ドーパントとして含まれる化学式 1 で表される化合物には、化学式 6 および 7 で表される化合物が挙げられることができ、ホストとして含まれる化学式 2 で表される化合物には、化学式 8 ~ 13 で表される化合物が挙げられることができ、そして上記化学式 3 ~ 4 の Cz には下記構造が挙げられうるが、これらに限定されない。

【0028】

【化 12】

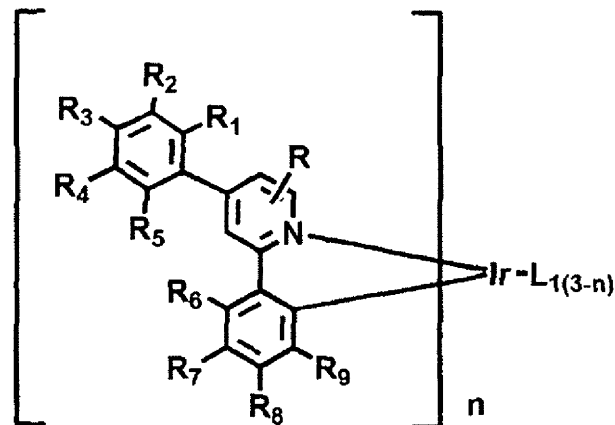
[化学式 6]



【0029】

【化 1 3】

[化学式 7]



10

【 0 0 3 0】

式中、 R 、 $R_1 \sim R_9$ 、 L_1 および n は化学式 1 において定義されるのと同じである。

【 0 0 3 1】

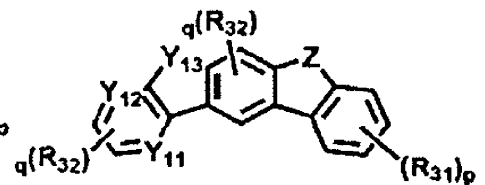
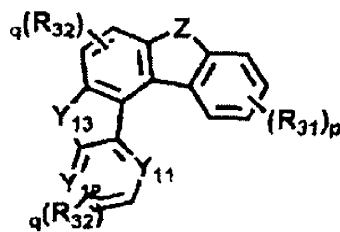
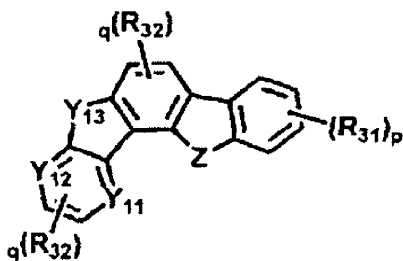
【化 1 4】

[化学式 8]

[化学式 9]

[化学式 1 0]

20



30

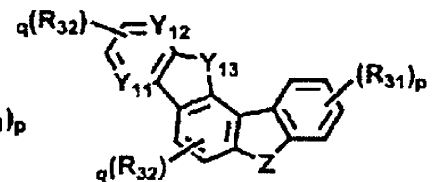
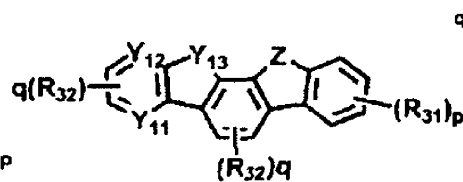
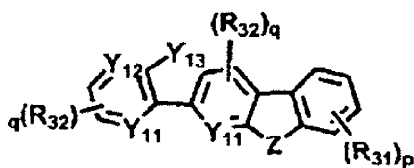
【 0 0 3 2】

【化 1 5】

[化学式 1 1]

[化学式 1 2]

[化学式 1 3]



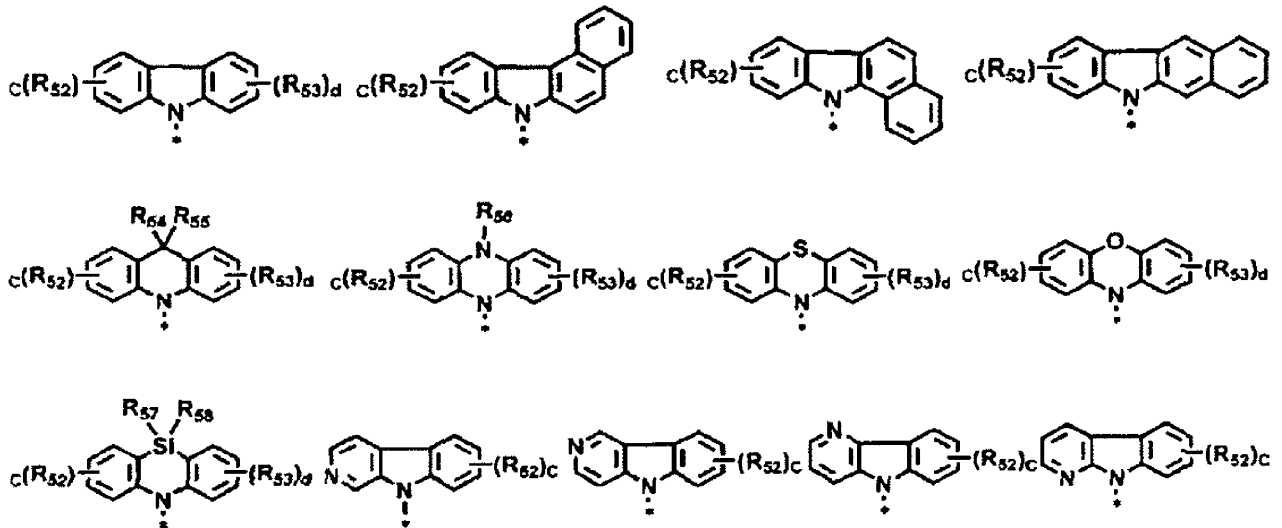
40

【 0 0 3 3】

式中、 R_{31} 、 R_{32} 、 $Y_{11} \sim Y_{13}$ 、 Z 、 p および q は化学式 2 において定義されるのと同じであり、化学式 3 ~ 4 の C_Z は下記構造から選択される

【 0 0 3 4】

【化 1 6】



10

【 0 0 3 5】

式中、 R_{52} 、 R_{53} 、 c および d は化学式3～4において定義されるのと同じであり；並びに

$R_{54} \sim R_{58}$ は独立して、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない（ $C1 - C30$ ）アルキル、置換されているかもしくは置換されていない（ $C6 - C30$ ）アリール、または置換されているかもしくは置換されていない（ $C3 - C30$ ）ヘテロアリールまたはカルボゾリルを表す。

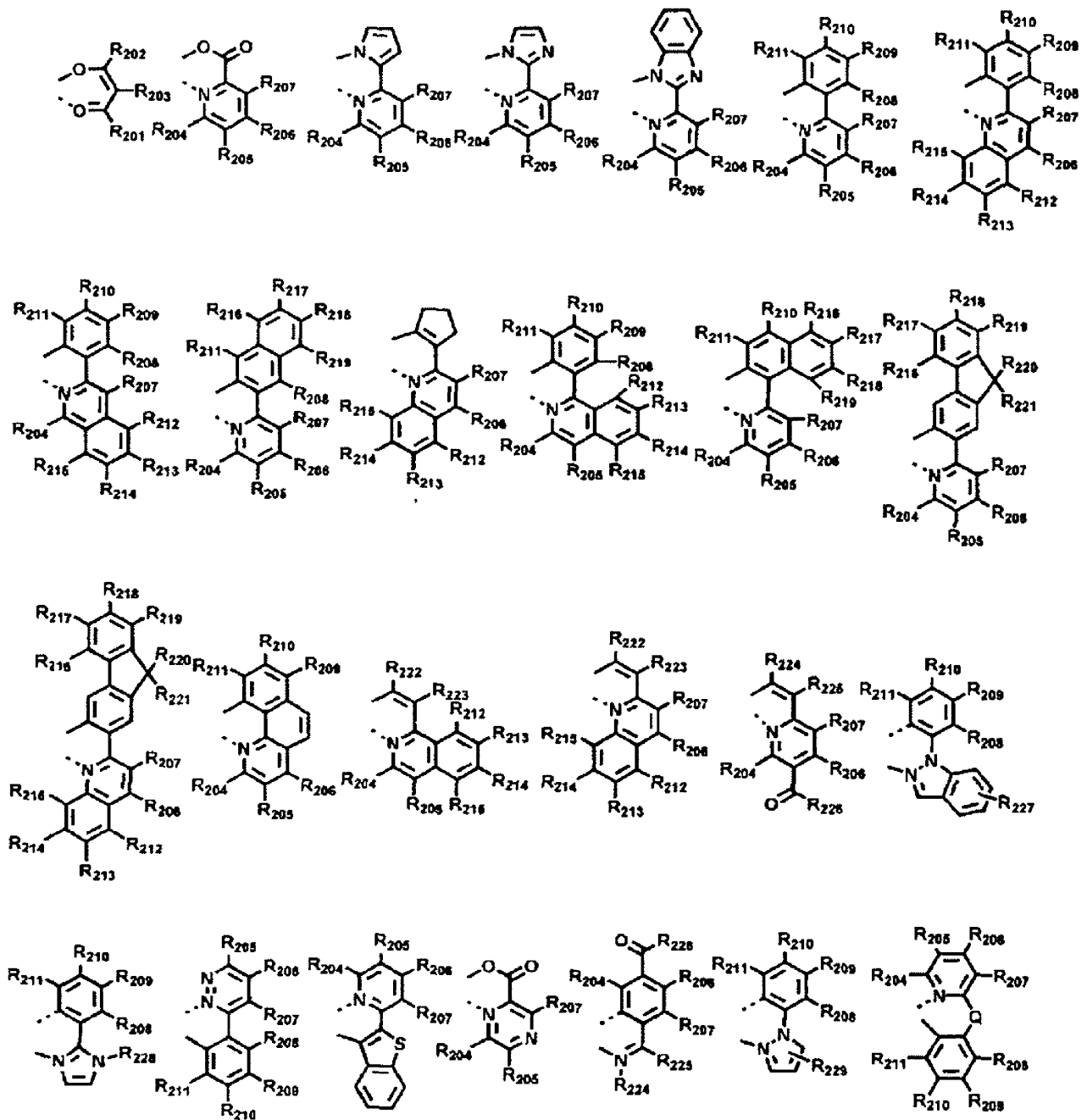
20

【 0 0 3 6】

さらに、化学式1で表される L_1 は下記構造から選択されうるが、これらに限定されない。

【 0 0 3 7】

【化 17】



10

20

30

40

50

【0038】

式中、R₂₀₁ ~ R₂₀₃ は独立して水素、重水素、ハロゲン置換でされているかもしくは置換されていない(C 1 - C 30)アルキル、(C 1 - C 30)アルキルで置換されているかもしくは置換されていない(C 6 - C 30)アリール、またはハロゲンを表し；

R₂₀₄ ~ R₂₁₉ は独立して水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない(C 1 - C 30)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C 1 - C 30)アルコキシ、置換されているかもしくは置換されていない(C 3 - C 30)シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C 2 - C 30)アルケニル、置換されているかもしくは置換されていない(C 6 - C 30)アリール、置換されているかもしくは置換されていないモノ(C 1 - C 30)アルキルアミノ、置換されているかもしくは置換されていないジ(C 1 - C 30)アルキルアミノ、置換されているかもしくは置換されていないモノ(C 6 - C 30)アリールアミノ、置換されているかもしくは置換されていないジ(C 6 - C 30)アリールアミノ、SF₅、置換されているかもしくは置換されていないトリ(C 1 - C 30)アルキルシリル、置換されているかもしくは置換されていないジ(C

1 - C 3 0) アルキル (C 6 - C 3 0) アリールシリル、置換されているかもしくは置換されていないトリ (C 6 - C 3 0) アリールシリル、シアノまたはハロゲンを表し；

R_{2 2 0} ~ R_{2 2 3} は独立して、水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、または (C 1 - C 3 0) アルキルで置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリールを表し；

R_{2 2 4} および R_{2 2 5} は独立して水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、またはハロゲンを表し、または R_{2 2 4} と R_{2 2 5} は縮合環を有するもしくは有しない (C 3 - C 1 2) アルキレンもしくは (C 3 - C 1 2) アルケニレンによって連結されて、脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環を形成しており；

R_{2 2 6} は置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C 5 - C 3 0) ヘテロアリール、またはハロゲンを表し；

R_{2 2 7} ~ R_{2 2 9} は独立して、水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、またはハロゲンを表し；

Q は

【化 1 8】



を表し、並びに

R_{2 3 1} ~ R_{2 4 2} は独立して水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、(C 1 - C 3 0) アルコキシ、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、シアノ、置換されているかもしくは置換されていない (C 5 - C 3 0) シクロアルキルを表し、またはそれらはアルキレンもしくはアルケニレンによって隣の置換基に連結されてスピロ環もしくは縮合環を形成しており、またはアルキレンもしくはアルケニレンによって R_{2 0 7} もしくは R_{2 0 8} に連結されて飽和もしくは不飽和縮合環を形成している。

【0 0 3 9】

本明細書に記載される場合、「アルキル」、「アルコキシ」および「アルキル」部分を含む置換基の用語は、線状および分岐の種類のいずれも含むことができ、「シクロアルキル」は単環式炭化水素並びに多環式炭化水素、例えば、置換されているかもしくは置換されていないアダマンチル、または置換されているかもしくは置換されていない (C 7 - C 3 0) ビシクロアルキルを含みうる。本明細書において記載される場合、用語「アリール」は、芳香族炭化水素から 1 つの水素原子を除去することにより得られる有機基を意味し、適切には 4 ~ 7 個の環原子、好ましくは 5 もしくは 6 個の環原子を含む単環もしくは縮合環を含むことができ、さらには複数のアリールが単結合で連結されている構造も含みうる。その具体的な例としては、フェニル、ナフチル、ビフェニル、テルフェニル、アントリル、インデニル、フルオレニル、フェナントリル、トリフェニレニル、ピレニル、ペリレニル、クリセニル、ナフタセニル、フルオランテニルなどが挙げられるが、これらに限定されない。ナフチルには、1 - ナフチルおよび 2 - ナフチルが挙げられ、アントリルには 1 - アントリル、2 - アントリルおよび 9 - アントリルが挙げられる。フェナントリルには 1 - フェナントリル、2 - フェナントリル、3 - フェナントリル、4 - フェナントリルおよび 9 - フェナントリルが挙げられ、ナフタセニルには、1 - ナフタセニル、2 - ナ

フタセニルおよび 9 - ナフタセニルが挙げられる。ピレニルには 1 - ピレニル、2 - ピレニルおよび 4 - ピレニルが挙げられ、ピフェニルには 2 - ビフェニル、3 - ビフェニルおよび 4 - ビフェニルが挙げられる。テルフェニルには、p - テルフェニル - 4 - イル基、p - テルフェニル - 3 - イル基、p - テルフェニル - 2 - イル基、m - テルフェニル - 4 - イル基、m - テルフェニル - 3 - イル基、および m - テルフェニル - 2 - イル基が挙げられる。

【 0 0 4 0 】

フルオレニルには 1 - フルオレニル、2 - フルオレニル、3 - フルオレニル、4 - フルオレニルおよび 9 - フルオレニルが挙げられる。本明細書において記載される「ヘテロアリアル」は、芳香環骨格原子として B、N、O、S、P (= O)、Si および P から選択される 1 ~ 4 個のヘテロ原子を含み、そして他の残りの芳香環骨格原子が炭素であるアリアル基を意味する。ヘテロアリアルは、5 員もしくは 6 員の単環式ヘテロアリアル、または 1 以上のベンゼン環と縮合した多環式ヘテロアリアルであってよく、部分的に飽和されていてよい。本発明においては、「ヘテロアリアル」には、1 以上のヘテロアリアルが単結合によって結合されている形態が挙げられる。ヘテロアリアル基には、環内のヘテロ原子 (1 つまたは複数) が酸化されるかまたは四級化されて、例えば、N - オキシドまたは第四級塩などを形成することができる 2 価のアリアル基が挙げられる。具体的な例には、単環式ヘテロアリアル、例えば、フリル、チオフェニル、ピロリル、イミダゾリル、ピラゾリル、チアゾリル、チアジアゾリル、イソチアゾリル、イソオキサゾリル、オキサゾリル、オキサジアゾリル、トリアジニル、テトラジニル、トリアゾリル、テトラゾリル、フラザニル、ピリジニル、ピラジニル、ピリミジニル、ピリダジニルなど；多環式ヘテロアリアル、例えば、ベンゾフラニル、ベンゾチオフェニル、ジベンゾフラニル、ジベンゾチオフェニル、イソベンゾフラニル、ベンゾイミダゾリル、ベンゾチアゾリル、ベンゾイソチアゾリル、ベンゾイソオキサゾリル、ベンゾオキサゾリル、イソインドリル、インドリル、インダゾリル、ベンゾチアジアゾリル、キノリル、イソキノリル、シンノリニル、キナゾリニル、キノキサリニル、カルバゾリル、フェナントリジニル、ベンゾジオキサリル、アクリジニル、フェナントロリニル、フェナジニル、フェノチアジニル、フェノキサジニルなど；その N - オキシド (例えば、ピリジニル N - オキシド、キノリル N - オキシド)、その第四級塩などが挙げられるが、これらに限定されない。ピロリルには、1 - ピロリル、2 - ピロリルおよび 3 - ピロリルが挙げられ；ピリジニルには、2 - ピリジニル、3 - ピリジニル、および 4 - ピリジニルが挙げられ；インドリルには、1 - インドリル、2 - インドリル、3 - インドリル、4 - インドリル、5 - インドリル、6 - インドリル、および 7 - インドリルが挙げられ；イソインドリルには、1 - イソインドリル、2 - イソインドリル、3 - イソインドリル、4 - イソインドリル、5 - イソインドリル、6 - イソインドリル、および 7 - イソインドリルが挙げられ；フリルには、2 - フリルおよび 3 - フリルが挙げられ；ベンゾフラニルには、2 - ベンゾフラニル、3 - ベンゾフラニル、4 - ベンゾフラニル、5 - ベンゾフラニル、6 - ベンゾフラニル、および 7 - ベンゾフラニルが挙げられ；イソベンゾフラニルには、1 - イソベンゾフラニル、3 - イソベンゾフラニル、4 - イソベンゾフラニル、5 - イソベンゾフラニル、6 - イソベンゾフラニル、および 7 - イソベンゾフラニルが挙げられ；キノリルには、3 - キノリル、4 - キノリル、5 - キノリル、6 - キノリル、7 - キノリル、および 8 - キノリルが挙げられ；イソキノリルには、1 - イソキノリル、3 - イソキノリル、4 - イソキノリル、5 - イソキノリル、6 - イソキノリル、7 - イソキノリル、および 8 - イソキノリル基が挙げられ；キノキサリニルには、2 - キノキサリニル、5 - キノキサリニル、および 6 - キノキサリニルが挙げられ；カルバゾリルには、1 - カルバゾリル、2 - カルバゾリル、3 - カルバゾリル、4 - カルバゾリルおよび 9 - カルバゾリルが挙げられ；フェナントリニルには、1 - フェナントリニル、2 - フェナントリニル、3 - フェナントリニル、4 - フェナントリニル、6 - フェナントリニル、7 - フェナントリニル、8 - フェナントリニル、9 - フェナントリニル、および 10 - フェナントリニルが挙げられ；アクリジニルには、1 - アクリジニル、2 - アクリジニル、3 - アクリジニル、4 - アクリジニル、および 9 - アクリジニルが挙げられ

10

20

30

40

50

；フェナントロリニルには、1，7 - フェナントロリン - 2 - イル基、1，7 - フェナントロリン - 3 - イル基、1，7 - フェナントロリン - 4 - イル基、1，7 - フェナントロリン - 5 - イル基、1，7 - フェナントロリン - 6 - イル基、1，7 - フェナントロリン - 8 - イル基、1，7 - フェナントロリン - 9 - イル基、1，7 - フェナントロリン - 10 - イル基、1，8 - フェナントロリン - 2 - イル基、1，8 - フェナントロリン - 3 - イル基、1，8 - フェナントロリン - 4 - イル基、1，8 - フェナントロリン - 5 - イル基、1，8 - フェナントロリン - 6 - イル基、1，8 - フェナントロリン - 7 - イル基、1，8 - フェナントロリン - 9 - イル基、1，8 - フェナントロリン - 10 - イル基、1，9 - フェナントロリン - 2 - イル基、1，9 - フェナントロリン - 3 - イル基、1，9 - フェナントロリン - 4 - イル基、1，9 - フェナントロリン - 5 - イル基、1，9 - フェナントロリン - 6 - イル基、1，9 - フェナントロリン - 7 - イル基、1，9 - フェナントロリン - 8 - イル基、1，9 - フェナントロリン - 10 - イル基、1，10 - フェナントロリン - 2 - イル基、1，10 - フェナントロリン - 3 - イル基、1，10 - フェナントロリン - 4 - イル基、1，10 - フェナントロリン - 5 - イル基、2，9 - フェナントロリン - 1 - イル基、2，9 - フェナントロリン - 3 - イル基、2，9 - フェナントロリン - 4 - イル基、2，9 - フェナントロリン - 5 - イル基、2，9 - フェナントロリン - 6 - イル基、2，9 - フェナントロリン - 7 - イル基、2，9 - フェナントロリン - 8 - イル基、2，9 - フェナントロリン - 10 - イル基、2，8 - フェナントロリン - 1 - イル基、2，8 - フェナントロリン - 3 - イル基、2，8 - フェナントロリン - 4 - イル基、2，8 - フェナントロリン - 5 - イル基、2，8 - フェナントロリン - 6 - イル基、2，8 - フェナントロリン - 7 - イル基、2，8 - フェナントロリン - 9 - イル基、2，8 - フェナントロリン - 10 - イル基、2，7 - フェナントロリン - 1 - イル基、2，7 - フェナントロリン - 3 - イル基、2，7 - フェナントロリン - 4 - イル基、2，7 - フェナントロリン - 5 - イル基、2，7 - フェナントロリン - 6 - イル基、2，7 - フェナントロリン - 8 - イル基、2，7 - フェナントロリン - 9 - イル基、および2，7 - フェナントロリン - 10 - イル基が挙げられ；フェナジニルには、1 - フェナジニル、および2 - フェナジニルが挙げられ；フェノチアジニルには、1 - フェノチアジニル、2 - フェノチアジニル、3 - フェノチアジニル、4 - フェノチアジニル、および10 - フェノチアジニルが挙げられ；フェノキサジニルには、1 - フェノキサジニル、2 - フェノキサジニル、3 - フェノキサジニル、4 - フェノキサジニルおよび10 - フェノキサジニルが挙げられ；オキサゾリルには、2 - オキサゾリル、4 - オキサゾリル、および5 - オキサゾリルが挙げられ；オキサジアゾールには、2 - オキサジアゾール、および5 - オキサジアゾールが挙げられ；フラザニルには3 - フラザニルが挙げられ；ジベンゾフラニルには、1 - ジベンゾフラニル、2 - ジベンゾフラニル、3 - ジベンゾフラニルおよび4 - ジベンゾフラニルが挙げられ；並びに、ジベンゾチオフエニルには、1 - ジベンゾチオフエニル、2 - ジベンゾチオフエニル、3 - ジベンゾチオフエニルおよび4 - ジベンゾチオフエニルが挙げられる。上述のように、用語「(C1 - C30)アルキル」は(C1 - C20)アルキルまたは(C1 - C10)アルキルを含むことができ、用語「(C6 - C30)アリール」は(C6 - C20)アリールまたは(C6 - C12)アリールを含むことができる。用語「(C3 - C30)ヘテロアリール」は(C3 - C20)ヘテロアリールまたは(C3 - C12)ヘテロアリールを含むことができ、用語「(C3 - C30)シクロアルキル」は(C3 - C20)シクロアルキルまたは(C3 - C7)シクロアルキルを含むことができる。用語「(C2 - C30)アルケニルもしくはアルキニル」は(C2 - C20)アルケニルもしくはアルキニル、または(C2 - C10)アルケニルもしくはアルキニルを含むことができる。

【0041】

本明細書において記載される場合、「置換されているかもしくは置換されていない」における「置換されている」の表現は、置換されていない置換基がさらに置換されていることを意味する。本明細書において、R、R₁ ~ R₉、R₁₁ ~ R₁₂、R₃₁ ~ R₃₂、R₄₁ ~ R₄₅、R₅₁ ~ R₅₃、R₆₁ ~ R₆₉、R₇₁ ~ R₈₄、L₂、MおよびA

10

20

30

40

50

r_1 をさらに置換している置換基は独立して、重水素、ハロゲン、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、($C6 - C30$) アリール、($C6 - C30$) アリールで置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリール、5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、1 以上の芳香環と縮合した 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、($C3 - C30$) シクロアルキル、1 以上の芳香環と縮合した ($C6 - C30$) シクロアルキル、 $R_{91} R_{92} R_{93} Si -$ 、($C2 - C30$) アルケニル、($C2 - C30$) アルキニル、シアノ、カルバゾリル、 $NR_{94} R_{95}$ 、 $BR_{96} R_{97}$ 、 $PR_{98} R_{99}$ 、 $P(=O)R_{100} R_{101}$ 、($C6 - C30$) アリール ($C1 - C30$) アルキル、($C1 - C30$) アルキル ($C6 - C30$) アリール、 $R_{102} S -$ 、 $R_{103} O -$ 、 $R_{104} C(=O) -$ 、 $R_{105} C(=O)O -$ 、カルボキシル、ニトロ、またはヒドロキシルからなる群から選択される 1 以上を表し； $R_{91} \sim R_{103}$ は独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリール、または置換されているかもしくは置換されていない 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキルを表すか、またはそれらは縮合環を有するかもしくは有しない置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) アルキレンまたは置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) アルケニレンによって隣の置換基に連結されて脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環を形成しており、この形成された脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環の炭素原子は、窒素、酸素および硫黄からなる群から選択される 1 以上のヘテロ原子で置き換えられていてよく；並びに R_{104} および R_{105} は ($C1 - C30$) アルキル、($C1 - C30$) アルコキシ、($C6 - C30$) アリール、または ($C6 - C30$) アリールオキシを表す。

10

20

【0042】

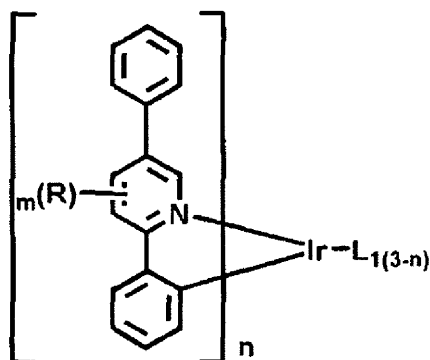
特に、化学式 14 の化合物がドーパントとして選択され、そして化学式 8 および 10、化学式 11 ~ 12 および化学式 3 ~ 5 の化合物がホストとして選択される場合には、高効率および長寿命特性を有する高性能有機電界発光素子を得るためのより効果的な発光特性が示されることが確認される。

【0043】

【化 19】

30

[化学式 14]



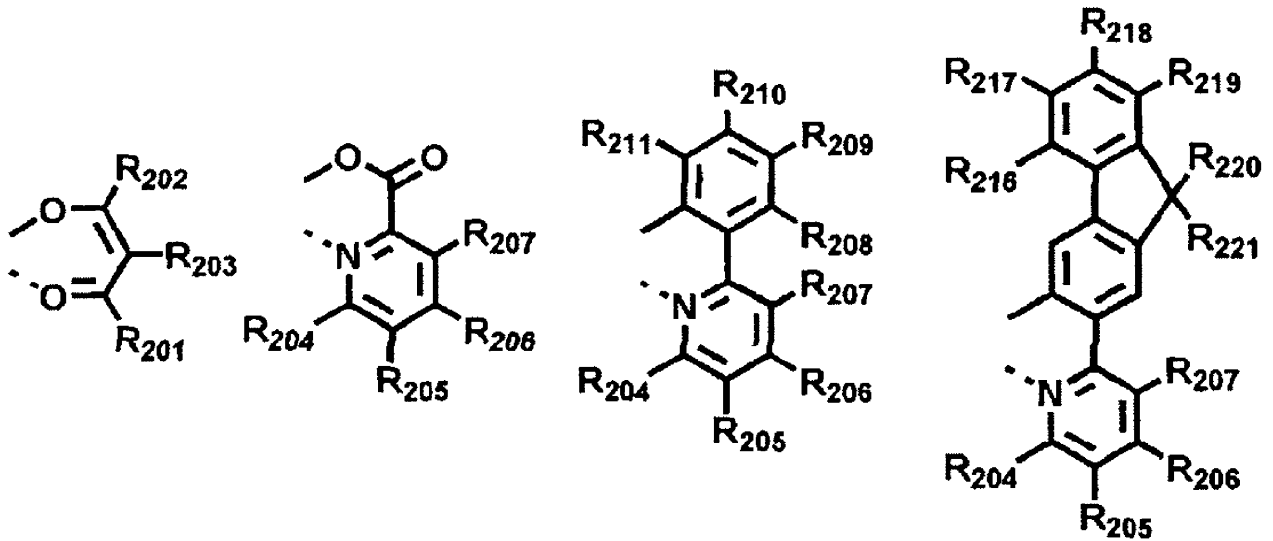
40

【0044】

式中、R は置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリールを表し；

L_1 は下記構造

【化 2 0】



10

から選択され、

R₂₀₁ ~ R₂₀₃ は独立して水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない (C₁ - C₃₀) アルキル、(C₁ - C₃₀) アルキルで置換されているかもしくは置換されていない (C₆ - C₃₀) アリール、またはハロゲンを表し；

20

R₂₀₄ ~ R₂₁₉ は独立して水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない (C₁ - C₃₀) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C₆ - C₃₀) アリール、SF₅、置換されているかもしくは置換されていないトリ(C₁ - C₃₀) アルキルシリル、置換されているかもしくは置換されていないジ(C₁ - C₃₀) アルキル(C₆ - C₃₀) アリールシリル、置換されているかもしくは置換されていないトリ(C₆ - C₃₀) アリールシリル、シアノまたはハロゲンを表し；

R₂₂₀ ~ R₂₂₁ は独立して、水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない (C₁ - C₃₀) アルキル、または (C₁ - C₃₀) アルキルで置換されているかもしくは置換されていない (C₆ - C₃₀) アリールを表し；並びに、

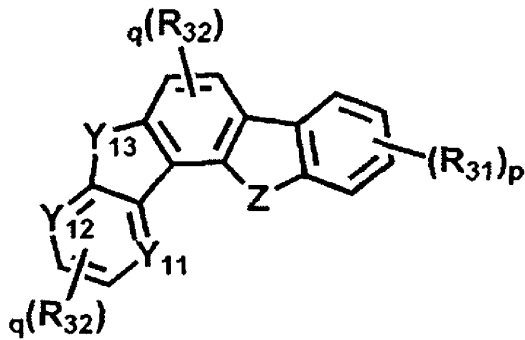
n および m は独立して 1 ~ 3 の整数を表す。

30

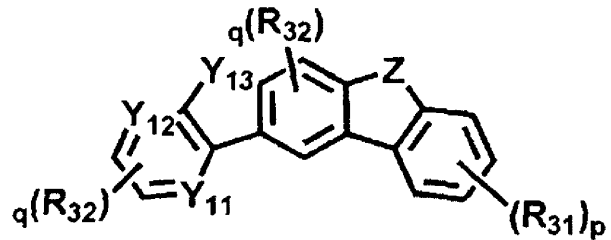
【0045】

【化 2 1】

[化学式 8]

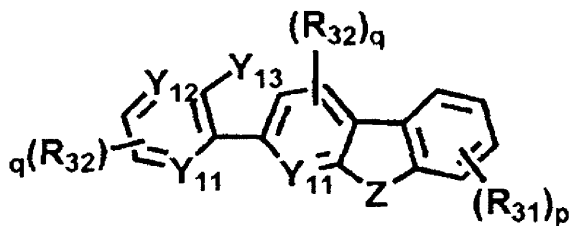


[化学式 10]

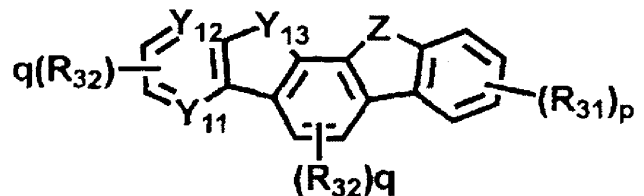


10

[化学式 11]



[化学式 12]



20

【0046】

式中、Zは-O-、-S-、-C(R₄₁R₄₂)-、-N(R₄₅)-を表し；

Y₁₁～Y₁₂はCを表し；

Y₁₃は-N(R₄₅)-を表し；

R₃₁およびR₃₂は独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない(C₁-C₃₀)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C₆-C₃₀)アリール、置換されているかもしくは置換されていない(C₃-C₃₀)ヘテロアリール、置換されている(C₁-C₃₀)アルキルシリル基、置換されているかもしくは置換されていない(C₁-C₃₀)アリールシリル基、および置換されているかもしくは置換されていない(C₁-C₃₀)アルキル(C₆-C₃₀)アリールシリル基を表し；

30

R₄₁～R₄₂は独立して、置換されているかもしくは置換されていない(C₁-C₃₀)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C₆-C₃₀)アリール、および置換されているかもしくは置換されていない(C₃-C₃₀)ヘテロアリールを表し；

R₄₅は置換されている(C₁-C₃₀)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C₆-C₃₀)アリール、および置換されているかもしくは置換されていない(C₃-C₃₀)ヘテロアリールを表し；

40

pおよびqは独立して0～4の整数を表し；pもしくはqが2より大きい整数を表す場合には、それぞれのR₃₁およびR₃₂は互いに同じかもしくは異なっていてよい。

【0047】

[化学式 3]

(C_Z-L₂)_a-M

[化学式 4]

(C_Z)_b-L₂-M

式中、C_Zは下記構造

【0048】

【化 2 2】



【0049】

を有し、

$R_{52} \sim R_{53}$ は独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) ヘテロアリール、 $R_{17} R_{18} R_{19} Si -$ を表し； $R_{17} \sim R_{19}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリールを表し；それぞれの R_{52} または R_{53} は互いに同じかもしくは異なっていてよく；

10

L_2 は化学結合、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリーレン、および置換されているかもしくは置換されていない (C5 - C30) ヘテロアリーレンを表し；

M は置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール基、および置換されているかもしくは置換されていない (C5 - C30) ヘテロアリールを表し；

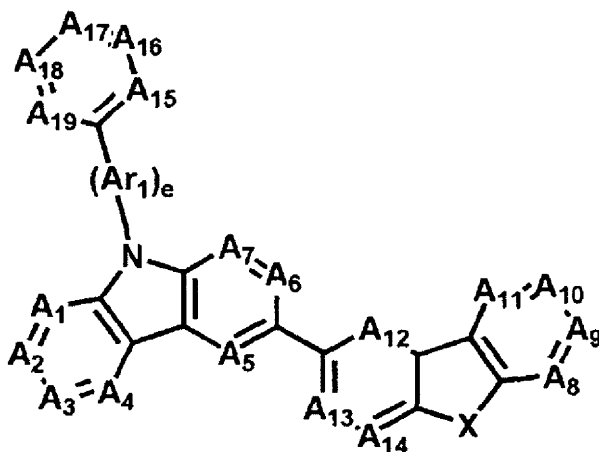
20

$a \sim d$ は独立して 0 ~ 4 の整数を表す。

【0050】

【化 2 3】

[化学式 5]



30

式中、 $A_1 \sim A_{14}$ は CR_{61} を表し；

$A_{15} \sim A_{19}$ は独立して CR_{61} もしくは N を表し；

40

X は $-N(R_{64})-$ 、 $-S-$ 、 $-O-$ 、および $-Si(R_{65})(R_{66})-$ を表し；

Ar_1 は置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C40) アリーレン、および置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C40) ヘテロアリーレンを表すが； $e = 0$ かつ $A_{15} \sim A_{19}$ が同時に CR_{61} を表す場合を除き；

R_{61} および $R_{64} \sim R_{66}$ は独立して水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) ヘテロアリール、 $NR_{71} R_{72}$ 、および $R_{79} R_{80} R_{81} Si -$ を表し；

$R_{71} \sim R_{72}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C3

50

0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) ヘテロアリールを表し；

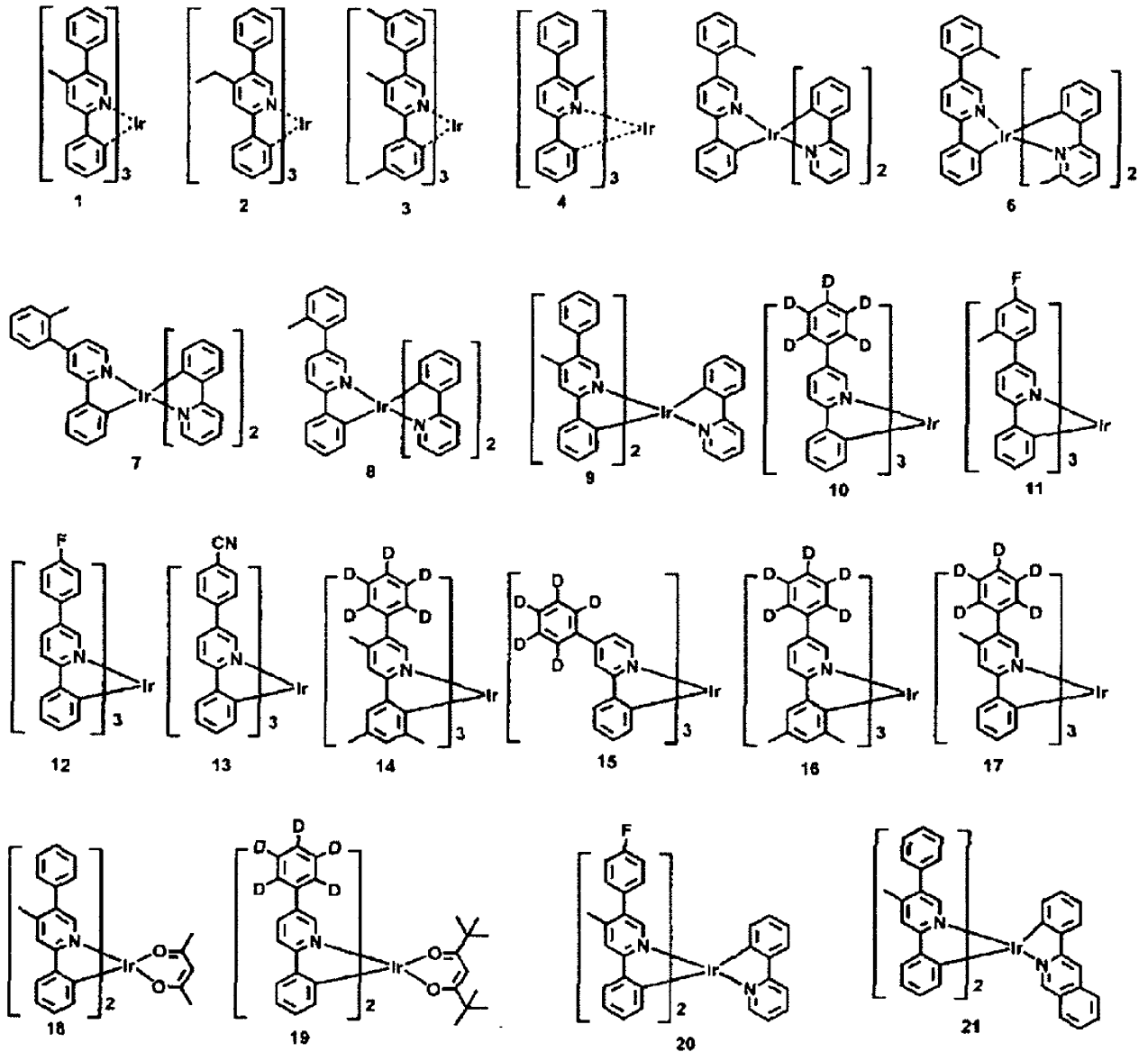
R₇₉ ~ R₈₁ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、または置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリールを表し；並びに

e は 0 ~ 2 の整数を表す。

【0051】

化学式 1 の有機電界発光化合物は下記化合物によって例示されうるが、これは本発明を限定することを意図していない。

【化 2 4】



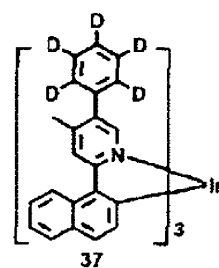
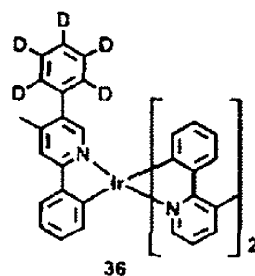
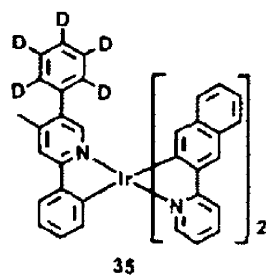
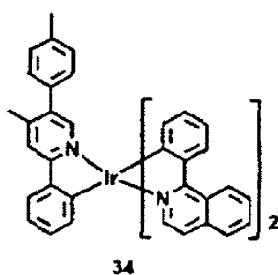
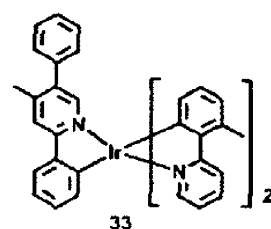
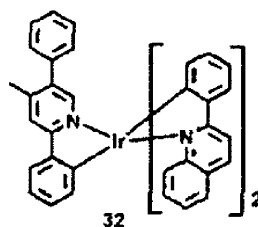
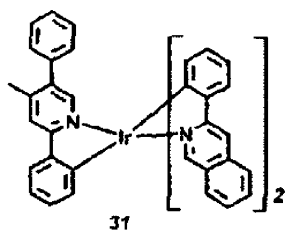
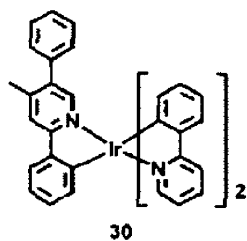
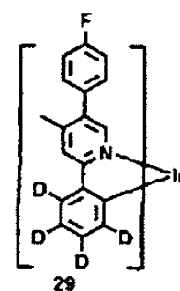
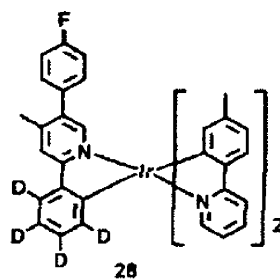
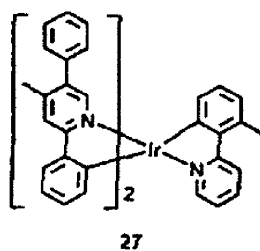
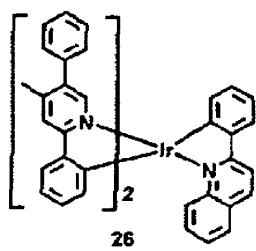
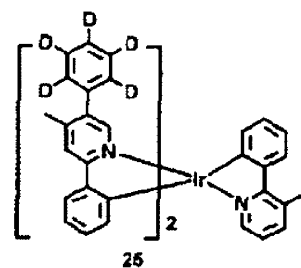
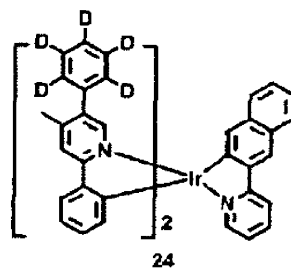
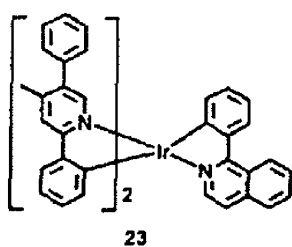
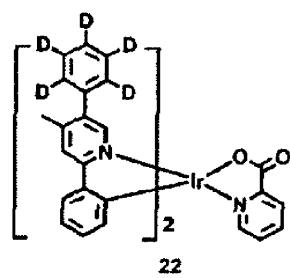
10

20

30

40

【化 2 5】

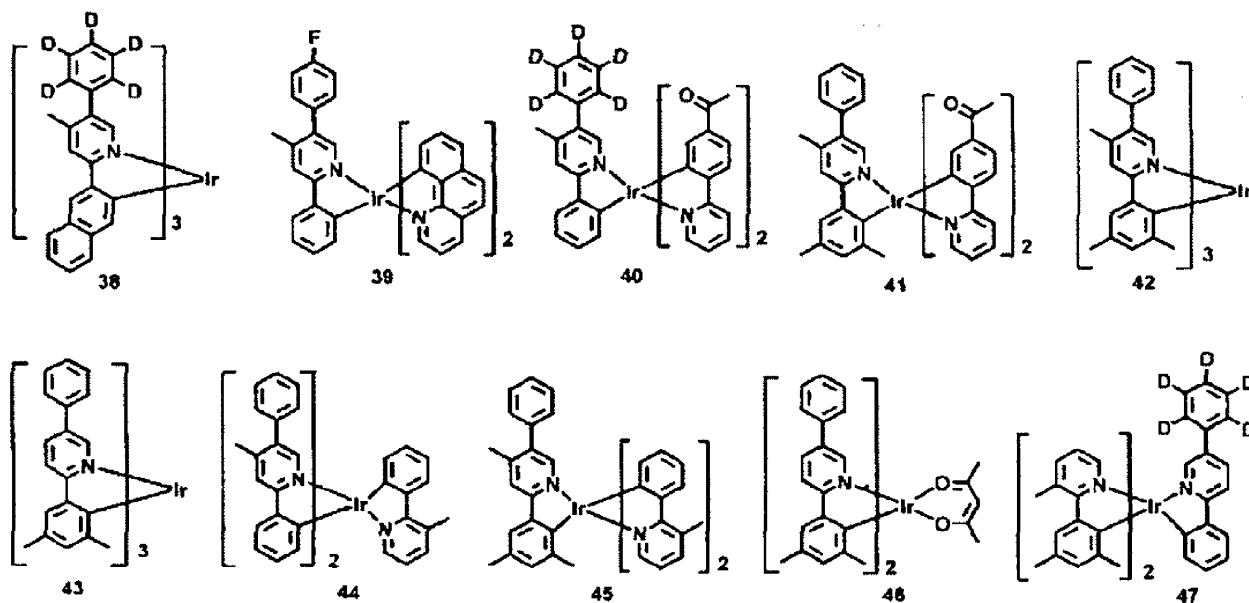


10

20

30

【化 2 6】



10

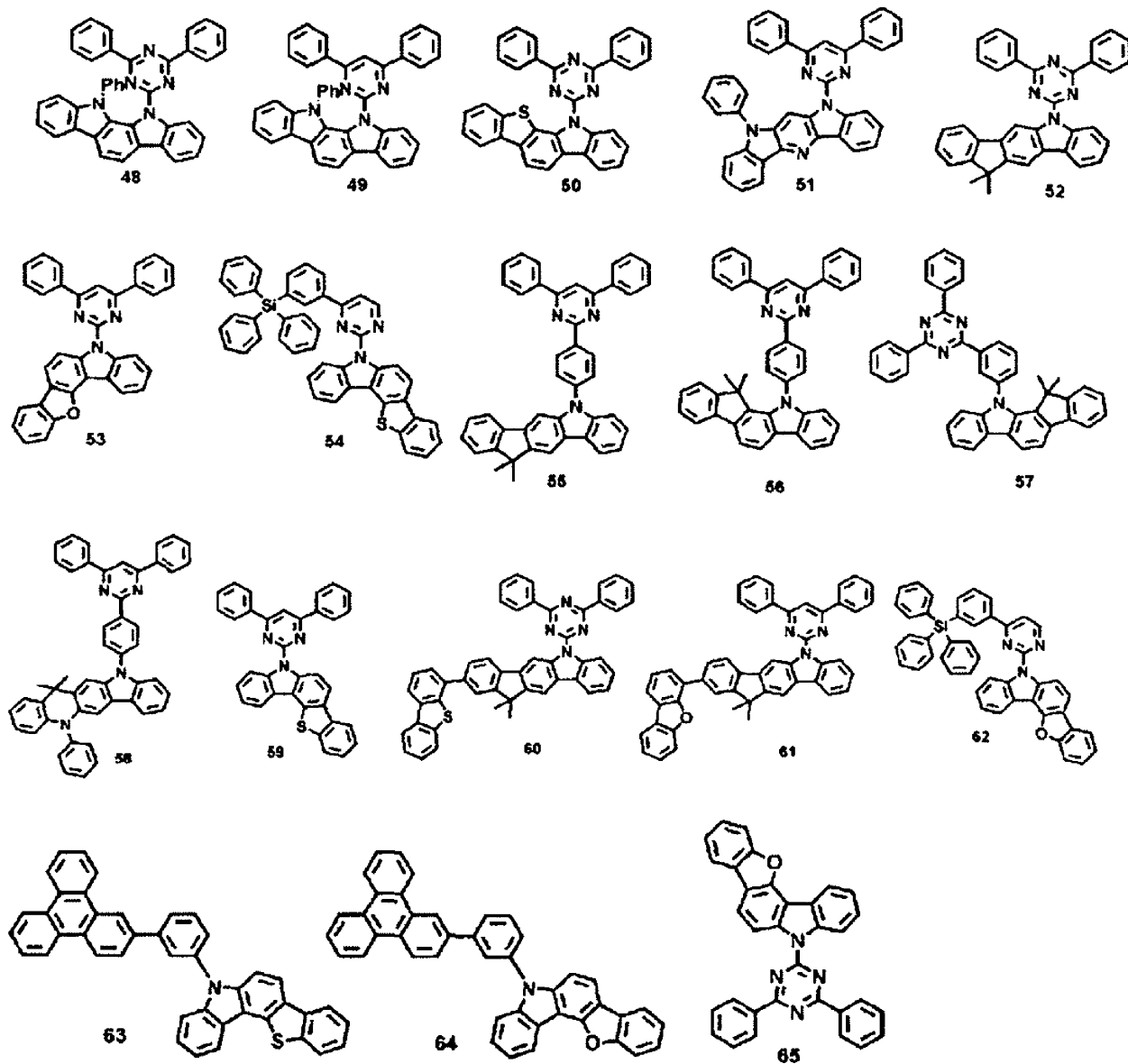
【 0 0 5 2】

化学式 2～5 の有機電界発光化合物は下記化合物によって例示されうるが、これは本発明を限定することを意図していない。

20

【 0 0 5 3】

【化 27】

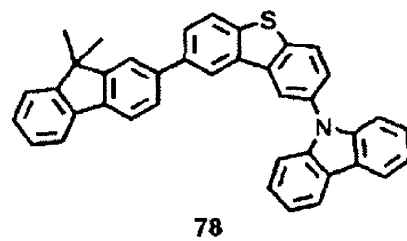
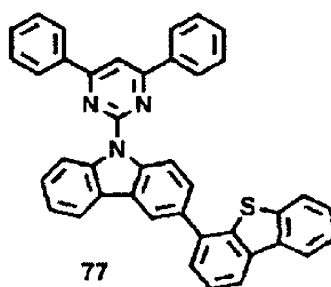
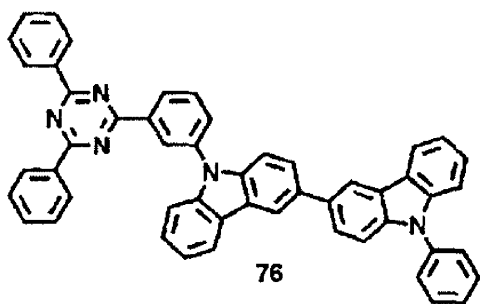
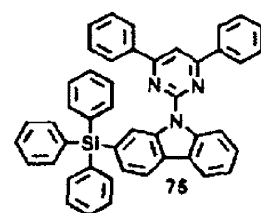
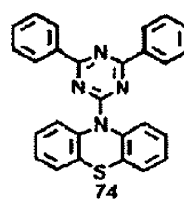
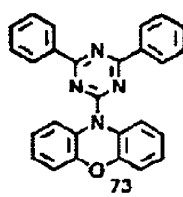
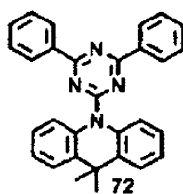
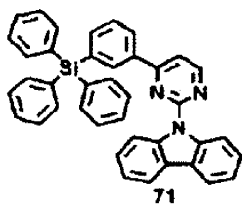
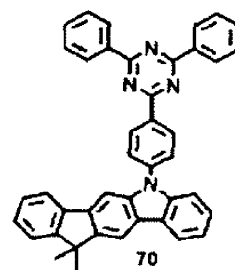
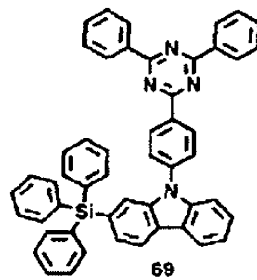
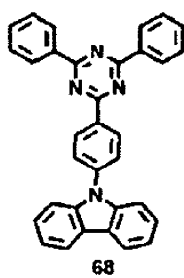
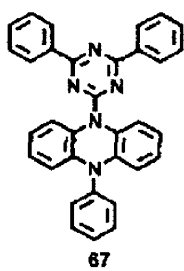
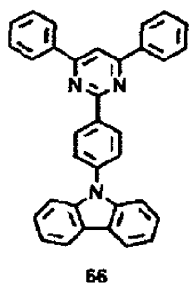


10

20

30

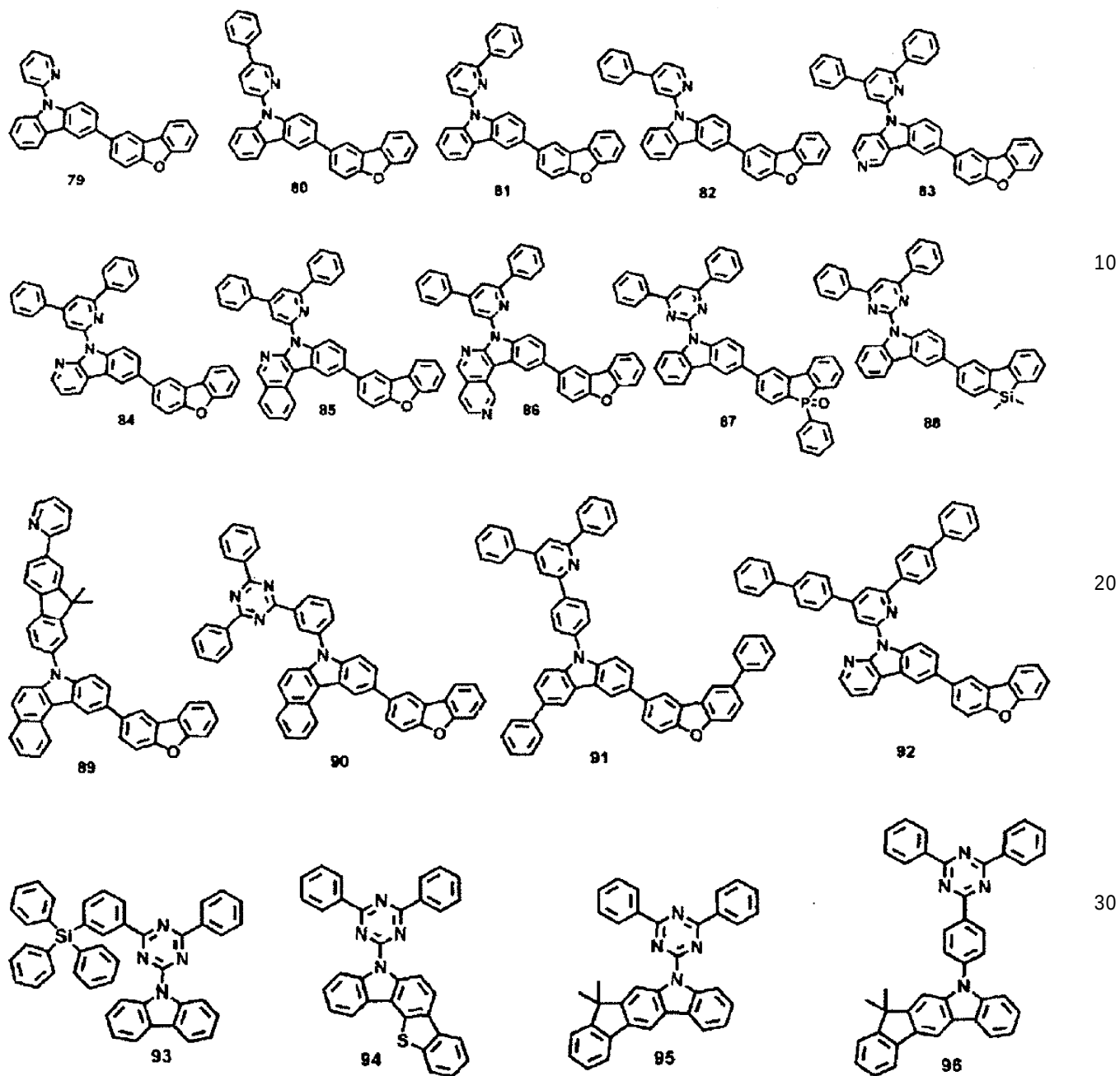
【化 28】



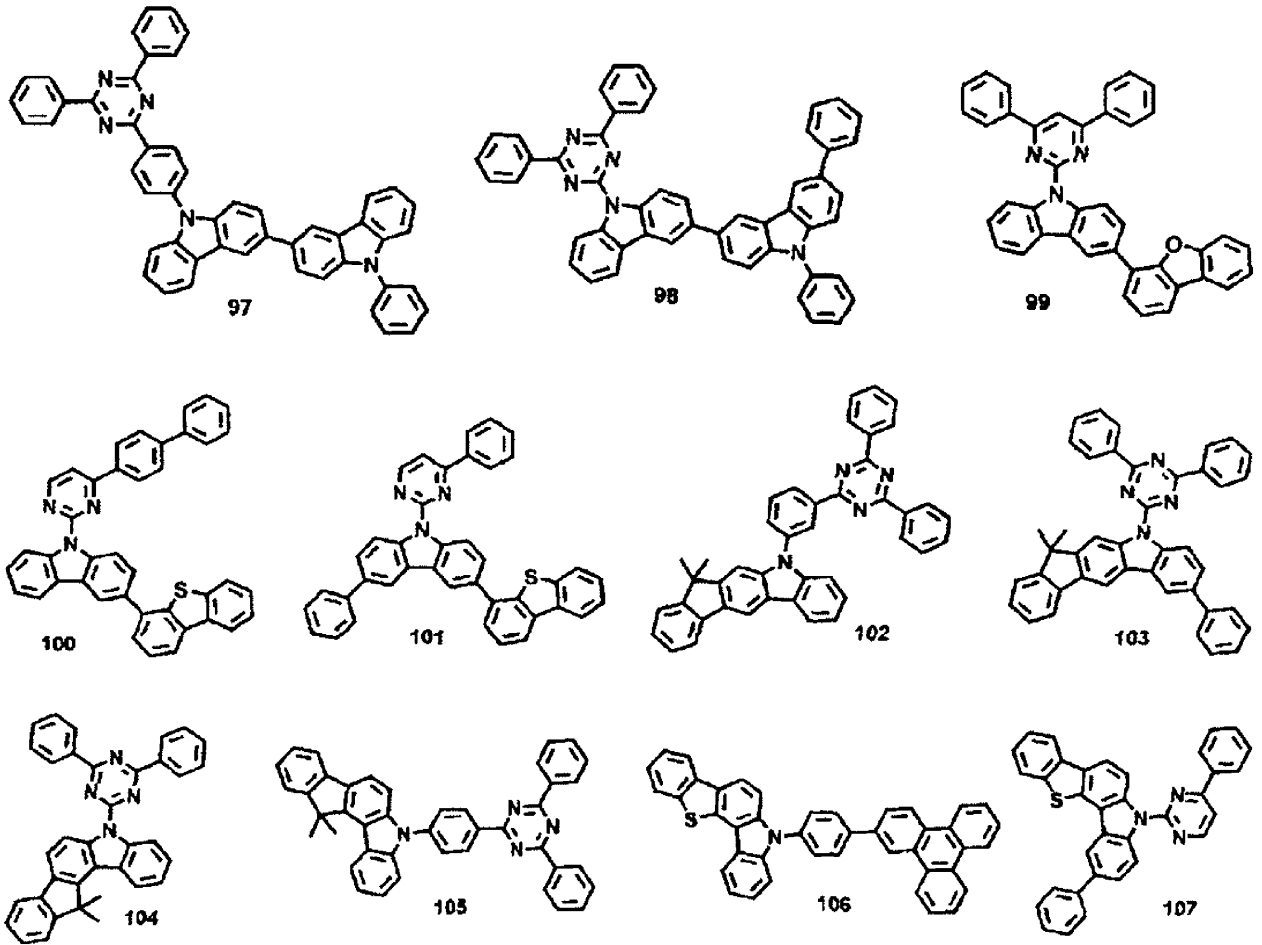
10

20

【化 29】



【化 3 0】



10

20

【 0 0 5 4】

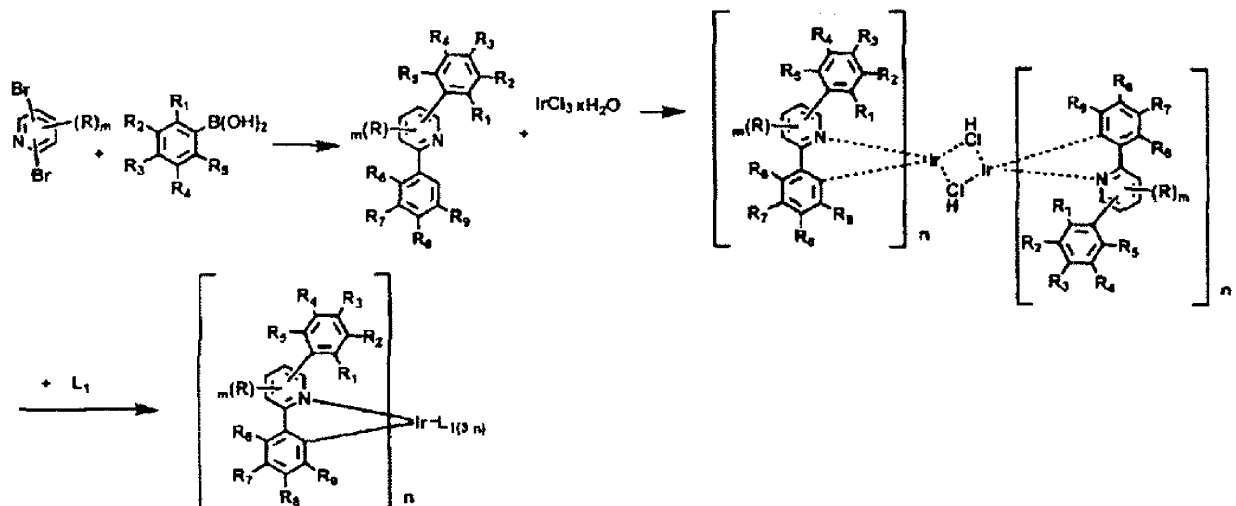
化学式 1 の化合物はスキーム 1 に示されるように製造されうる。下記の製造方法は化学式 1 の有機電界発光化合物を製造する方法を限定することを意図しておらず、かつ下記の製造方法の変更は当業者に自明であろう。

30

【 0 0 5 5】

【化 3 1】

[スキーム 1]



40

【 0 0 5 6】

50

スキーム 1 において、 L_1 、 R 、 $R_1 \sim R_9$ 、 n および m は化学式 1 において定義されるのと同じである。

【0057】

電界発光層は電界発光が起こる層を意味する。それは単層、または 2 以上の層が積層されている複数層を有しうる。ドーパントとホストとの組み合わせが本発明において使用される場合には、発光効率の著しい向上が確認されうる。

【0058】

さらに、電界発光層におけるホスト化合物に基づいたドーパント化合物のドーピング濃度は 20 重量 % 未満の範囲である。

【0059】

本発明の有機電界発光素子においては、有機層は化学式 1 ~ 4 の有機電界発光化合物に加えて、元素の周期表における第 1 族、第 2 族、第 4 周期および第 5 周期遷移金属、ランタニド金属並びに d -遷移元素の有機金属または錯体化合物からなる群から選択される 1 種以上の金属をさらに含むことができる。有機層は電界発光層および電荷発生層の両方を含むことができる。

【0060】

本発明の有機電界発光素子においては、有機層は、化学式 1 ~ 4 の有機電界発光化合物を含み、かつアリアルアミン系化合物およびスチリルアリアルアミン系化合物からなる群から選択される 1 種以上の化合物を同時に含むことができる。このアリアルアミン系化合物もしくはスチリルアリアルアミン系化合物の具体的な例は韓国特許出願第 10 - 2008 - 0060393 号の明細書における段落 < 212 > ~ < 224 > に記載されているが、これに限定されない。化学式 2 ~ 4 の有機電界発光化合物の具体的な例は、韓国特許出願第 10 - 2009 - 0027221 号、第 10 - 2009 - 0027256 号、第 10 - 2009 - 0037519 号、第 10 - 2009 - 0062882 号、第 10 - 2009 - 0067370 号、第 10 - 2009 - 0073260 号、第 10 - 2009 - 0123174 号、第 10 - 2010 - 0007866 号、または第 10 - 2010 - 0040384 号に例示されるが、これらに限定されない。

【0061】

さらに、有機層は、この有機電界発光化合物に加えて、赤、緑もしくは青色電界発光化合物を含む 1 以上の有機電界発光層を同時にさらに含むことができ、それにより、白色光を放射する有機電界発光素子を製造することができる。赤色、緑色もしくは青色の光を放射する化合物は韓国特許出願第 10 - 2008 - 0123276 号、第 10 - 2008 - 0107606 号または第 10 - 2008 - 0118428 号に例示されるが、これらに限定されない。

【0062】

本発明の有機電界発光素子においては、電極の対のうちの少なくとも一方の側の内側表面上に、カルコゲナイド (chalco genide) 層、ハロゲン化金属層および金属酸化物層から選択される少なくとも 1 層 (以下、「表面層」という) を配置するのが好ましい。具体的には、電界発光媒体層のアノード表面上にケイ素およびアルミニウム金属のカルコゲナイド (酸化物など) 層を配置し、並びに電界発光媒体層のカソード表面上にハロゲン化金属層または金属酸化物層を配置するのが好ましい。このことが駆動安定性が得られるのを可能にする。カルコゲナイドの例としては、 SiO_x ($1 < x < 2$)、 AlO_x ($1 < x < 1.5$)、 $SiON$ 、 $SiAlON$ などが挙げられることができ、ハロゲン化金属の例としては、 LiF 、 MgF_2 、 CaF_2 、希土類金属フッ化物などが挙げられることができ、金属酸化物の例としては、 Cs_2O 、 Li_2O 、 MgO 、 SrO 、 BaO 、 CaO などが挙げられうる。

【0063】

本発明の有機電界発光素子においては、このように製造される電極の対の少なくとも一方の表面上に、電子輸送化合物と還元性ドーパントとの混合領域、または正孔輸送化合物と酸化性ドーパントとの混合領域を配置するのも好ましい。それにより、電子輸送化合物

10

20

30

40

50

がアニオンに還元され、これがこの混合領域から電界発光媒体への電子の注入または輸送を容易にする。さらに、正孔輸送化合物は酸化されてカチオンになり、これがこの混合領域から電界発光媒体への正孔の注入または輸送を容易にする。好ましい酸化性ドーパントには様々なルイス酸およびアクセプター化合物が挙げられる。好ましい還元性ドーパントには、アルカリ金属、アルカリ金属化合物、アルカリ土類金属、希土類金属およびこれらの混合物が挙げられる。さらに、2以上の電界発光層を有する白色有機発光電界発光素子を製造するために、還元性ドーパントの層が電荷発生層として使用されうる。

【発明の効果】

【0064】

上述のように、本発明の特定のドーパント - ホスト有機電界発光化合物を使用した有機電界発光素子は、既存の電界発光材料を使用する素子と比較して、より良好な発光効率およびより低い駆動電圧でのより長い駆動寿命を有していた。ドーパントとホストとの特定の組み合わせは、優れた発光効率と長い駆動寿命を示すのに比較的適切な水準のエネルギーを有すると考えられる。

10

【発明を実施するための形態】

【0065】

以下、本発明の有機電界発光化合物、その製造方法、および素子の電解発光特性に関する実施例として本発明の代表的な化合物を採用することにより、本発明がさらに説明されるが、これらの実施例はその実施形態の例示だけのために提供されるのであって、本発明の範囲を限定することを意図していない。

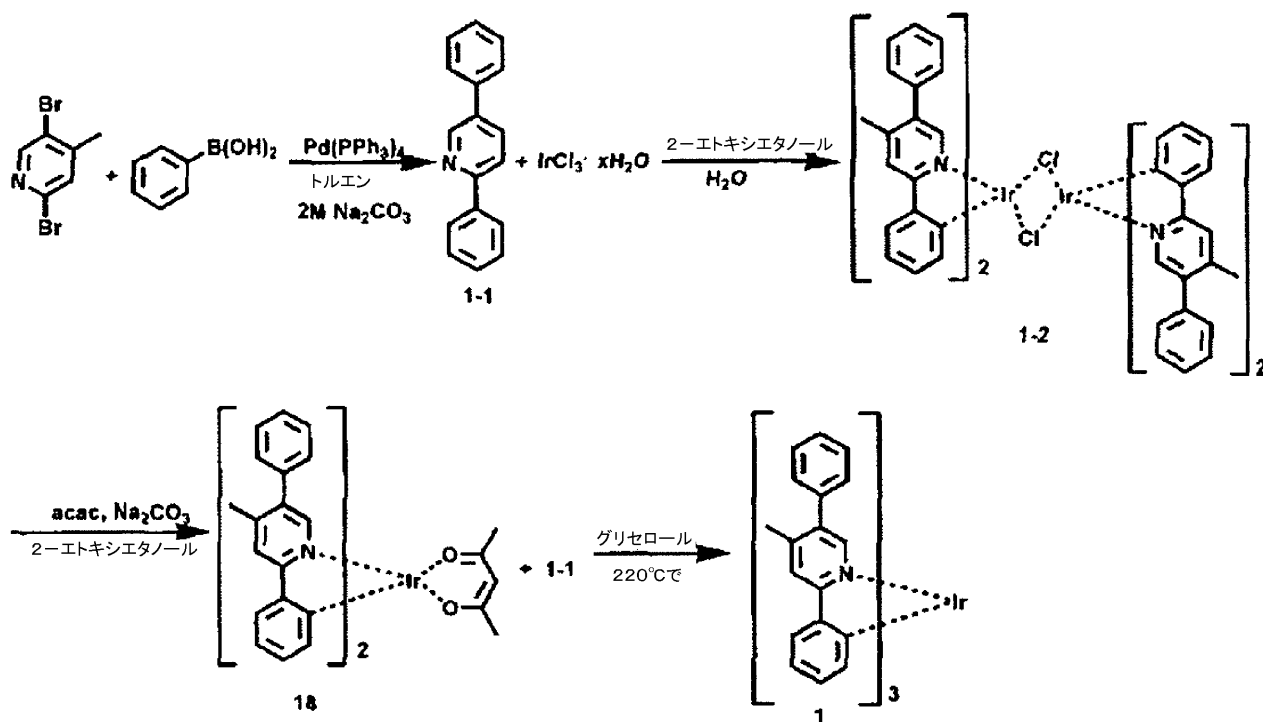
20

【実施例】

【0066】

[製造例1] 化合物1の製造

【化32】



30

40

【0067】

化合物1-1の製造

2,5-ジブromo-4-メチルピリジン 30 g (120 mmol)、フェニルボロン酸 44 g (359 mmol)、および $\text{Pd(PPh}_3)_4$ 8.3 g (7.17 mmol) がトルエン 400 mL、エタノール 200 mL、および 2 M の Na_2CO_3 300 mL 中で、窒素の存在下で溶かされ、次いで還流下 120 で攪拌された。2 時間後反応の完了時に、得られた物質が蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。この有機層は M

50

g S O₄ で乾燥させられ、そしてロータリーエバポレータによって溶媒が除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製が行われて、それにより化合物 1 - 1 (15 . 3 g、61 mmol) を得た。

【 0068 】

化合物 1 - 2 の製造

化合物 1 - 2 20 . 1 g (82 mmol)、塩化イリジウム (IrCl₃) 11 g (37 mmol)、2 - エトキシエタノール 450 mL、および蒸留水 150 mL が反応容器内に入れられ、次いで還流下で 24 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が室温に冷却され、沈殿した固体物質が濾別された。このようにして得られた固体が水およびメタノールで洗浄され、そしてヘキサンを用いて再結晶化させられて、それにより化合物 1 - 2 17 g (12 mmol) を得た。

10

【 0069 】

化合物 18 の製造

化合物 1 - 2 17 g (12 mmol)、Na₂CO₃ 7 . 6 g (71 mmol)、および 2 , 4 - ペンタンジオン 3 . 7 mL (37 mmol) が 2 - エトキシエタノール 200 mL に溶かされ、次いで還流下で 5 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が室温に冷却され、沈殿した固体が濾別された。このようにして得られた固体がシリカゲルカラムクロマトグラフィを用いることによって分離され、そして再結晶化させられて、それにより化合物 18 13 g (17 mmol) を得た。

20

【 0070 】

化合物 1 の製造

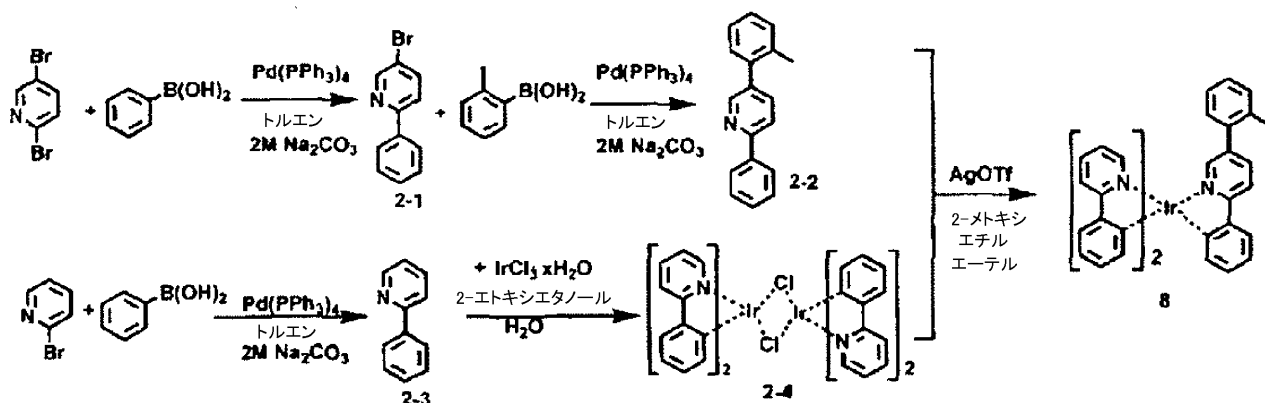
化合物 18 8 g (10 . 2 mmol)、化合物 1 - 1 5 g (20 mmol)、およびグリセロール 100 mL が還流下 220 で 12 時間攪拌され、次いで室温に冷却された。得られた混合物が水およびメタノールで洗浄され、次いで塩化メチレンに溶かされ、次いでシリカゲルカラムクロマトグラフィを用いる分離が行われて、それによりイリジウム錯化合物の黄色結晶である化合物 1 6 g (7 mmol) を得た。
MS / FAB 測定値 926、計算値 925 . 15。

【 0071 】

[製造例 2] 化合物 8 の製造

【 化 33 】

30



40

【 0072 】

化合物 2 - 1 の製造

2 , 5 - ジブロモピリジン 5 g (21 mmol) が化合物 1 - 1 についての製造例 1 の製造方法と同じように処理され、それにより化合物 2 - 1 4 g (17 mmol) を得た。

【 0073 】

化合物 2 - 2 の製造

化合物 2 - 1 4 g (17 mmol)、o - トリルボロン酸 2 . 8 g (20 mmol)、および Pd (PPh₃)₄ 1 g (0 . 9 mmol) がトルエン 80 mL、エタノール

50

40 mL、および2 Mの Na_2CO_3 40 mLに、窒素の存在下で溶かされ、次いで、還流下120 で攪拌された。2時間後反応の完了時に、得られた物質が蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。この有機層は MgSO_4 で乾燥させられ、そしてロータリーエバポレータによって溶媒が除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製が行われて、それにより化合物2-2 (4 g、15 mmol)を得た。

【0074】

化合物2-3の製造

2-ブロモピリジン5 g (21 mmol)が化合物1-1についての製造例1の製造方法と同じように処理され、それにより化合物2-3 4 g (17 mmol)を得た。

【0075】

化合物2-4の製造

化合物2-3 4 g (15 mmol)、塩化イリジウム(IrCl_3) 2 g (6.8 mmol)、2-エトキシエタノール90 mLおよび蒸留水30 mLが一緒にされ、そして還流下で24時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が室温に冷却され、沈殿した固体が濾別された。このようにして得られた固体が水およびメタノールで洗浄され、そしてヘキサンを用いて再結晶化させられて、それにより化合物2-4 3 g (2 mmol)を得た。

【0076】

化合物8の製造

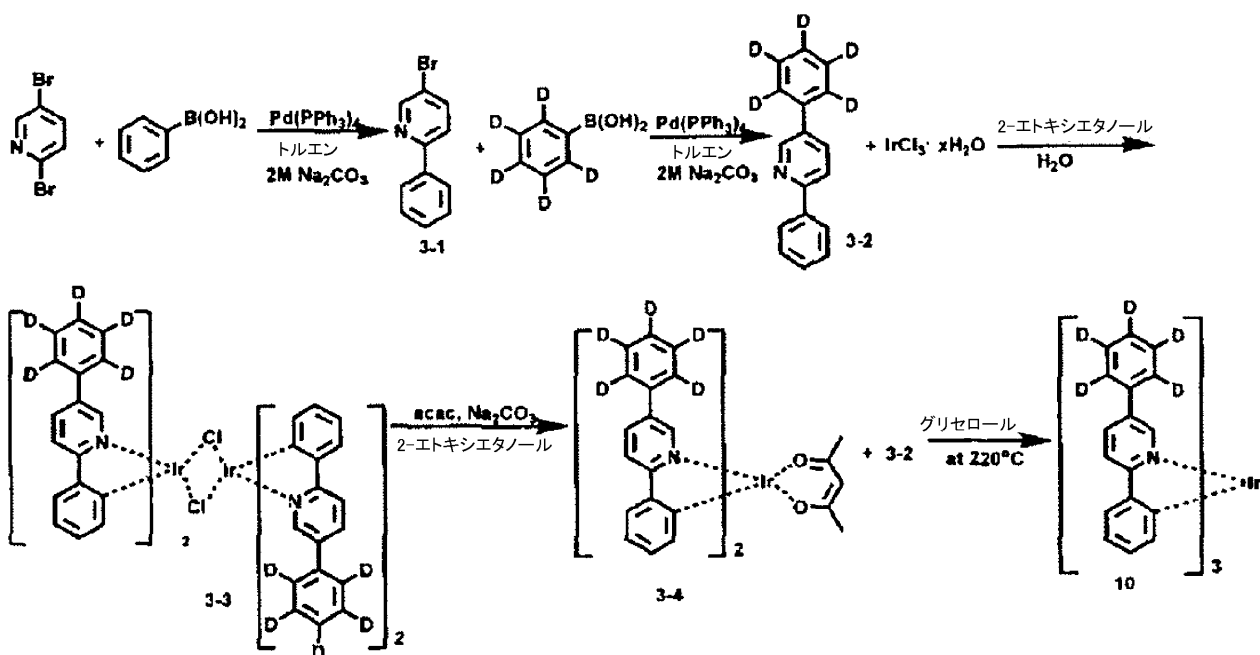
化合物2-4 14 g (13 mmol)、化合物2-2 9.8 g (39 mmol)、 AgCF_3SO_3 10 g (39 mmol)、および2-メトキシ-エチルエーテル50 mLが還流下で12時間攪拌され、次いで室温まで冷却された。得られた混合物が水およびメタノールで洗浄され、次いでメタノール中に溶かされ、次いでシリカゲルクロマトグラフィを用いた分離が行われ、それによりイリジウム錯化合物の赤色結晶である化合物8 3.5 g (4.5 mmol)を得た。

MS/FAB測定値745、計算値744.90。

【0077】

[製造例3] 化合物10の製造

【化34】



【0078】

化合物3-1の製造

2,5-ジブロモピリジン5 g (21 mmol)が化合物1-1についての製造例1の

製造方法と同じように処理され、それにより化合物 3 - 1 2 . 6 g (1 1 m m o l) を得た。

【 0 0 7 9 】

化合物 3 - 2 の製造

化合物 3 - 1 2 . 6 g (1 1 m m o l)、 d^5 -フェニルボロン酸 1 . 8 g (1 3 m m o l)、および $Pd(PPh_3)_4$ 0 . 7 g (0 . 6 m m o l) がトルエン 4 0 m L、エタノール 2 0 m L、および 2 M の Na_2CO_3 2 0 m L に、窒素の存在下で溶かされ、次いで還流下 1 2 0 で攪拌された。2 時間後反応の完了時に、得られた物質が蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。この有機層は $MgSO_4$ で乾燥させられ、そしてロータリーエバポレータによって溶媒が除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製が行われて、それにより化合物 3 - 2 (2 . 2 g、9 . 3 m m o l) を得た。

10

【 0 0 8 0 】

化合物 3 - 3 の製造

化合物 3 - 2 2 . 2 g (9 . 3 m m o l)、塩化イリジウム ($IrCl_3$) 1 . 1 g (4 . 2 m m o l)、2 - エトキシエタノール 4 5 m L、および蒸留水 1 5 m L が一緒にされ、還流下で 2 4 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が室温に冷却され、沈殿した固体が濾別された。このようにして得られた固体が水およびメタノールで洗浄され、そしてヘキサンを用いて再結晶化させられて、それにより化合物 3 - 3 1 . 9 g (1 . 4 m m o l) を得た。

20

【 0 0 8 1 】

化合物の製造 3 - 4

化合物 3 - 3 1 . 9 g (1 . 4 m m o l)、 Na_2CO_3 0 . 8 2 g (8 . 4 m m o l)、および 2 , 4 - ペンタンジオン 2 . 3 m L (4 . 2 m m o l) が 2 - エトキシエタノール 3 0 m L に溶かされ、次いで還流下で 5 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が室温に冷却され、沈殿した固体が濾別された。このようにして得られた固体は、シリカゲルカラムクロマトグラフィを用いて分離され、そして再結晶化させられて、黄色結晶の化合物 3 - 4 0 . 6 7 g (0 . 9 m m o l) を得た。

【 0 0 8 2 】

化合物 1 0 の製造

化合物 3 - 4 1 . 4 g (1 . 8 m m o l)、化合物 3 - 2 0 . 8 5 g (3 . 6 m m o l) およびグリセロール 2 0 m L が還流下 2 2 0 で 1 2 時間攪拌され、そして室温まで冷却された。この混合物は水およびメタノールで洗浄され、塩化メチレンに溶かされ、シリカゲルカラムクロマトグラフィによって分離され、それにより、黄色結晶のイリジウム錯化合物である化合物 1 0 0 . 8 g (0 . 9 m m o l) を得た。

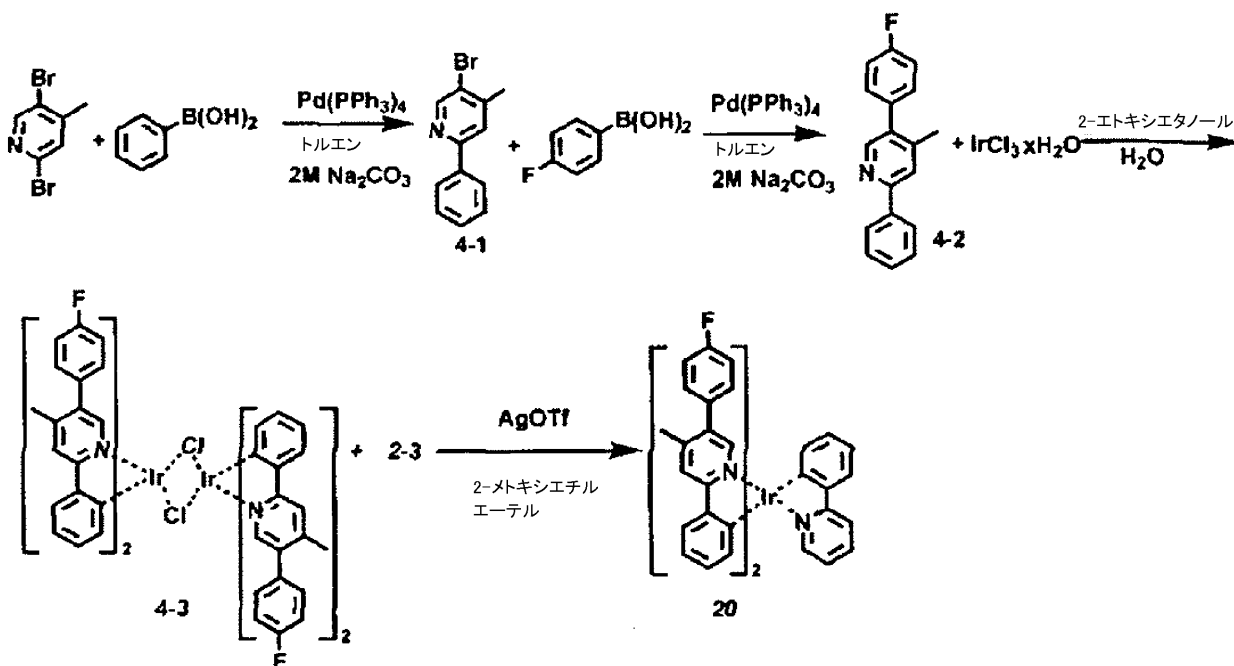
30

MS / FAB 測定値 8 9 9、計算値 8 9 8 . 1 6。

【 0 0 8 3 】

[製造例 4] 化合物 2 0 の製造

【化 3 5】



10

【0084】

20

化合物 4 - 1 の製造

2, 5 - ジブロモ - 4 - メチルピリジン 5 g (21 mmol) が化合物 1 - 1 についての製造例 1 の製造方法と同じように処理され、それにより化合物 4 - 1 4 g (17 mmol) を得た。

【0085】

化合物 4 - 2 の製造

化合物 4 - 1 4 g (17 mmol)、4 - フルオロフェニルボロン酸 2.8 g (20 mmol)、および $\text{Pd}(\text{PPh}_3)_4$ 1 g (0.9 mmol) がトルエン 80 mL、エタノール 40 mL、および 2 M の Na_2CO_3 40 mL に、窒素の存在下で溶かされ、次いで還流下 120 で攪拌された。2 時間後反応の完了時に、得られた物質が蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。この有機層は MgSO_4 で乾燥させられ、そしてロータリーエバポレータによって溶媒が除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製が行われて、それにより化合物 4 - 2 (4 g、15 mmol) を得た。

30

【0086】

化合物 4 - 3 の製造

化合物 4 - 2 4 g (15 mmol)、塩化イリジウム (IrCl_3) 2 g (6.8 mmol)、2 - エトキシエタノール 90 mL、および蒸留水 30 mL が一緒にされ、そして還流下で 24 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が室温に冷却され、沈殿した固体が濾別された。このようにして得られた固体が水およびメタノールで洗浄され、そしてヘキサンを用いて再結晶化させられて、それにより化合物 4 - 3 3 g (2 mmol) を得た。

40

【0087】

化合物 20 の製造

化合物 4 - 3 14 g (13 mmol)、化合物 2 - 3 9.8 g (39 mmol)、 AgCF_3SO_3 10 g (39 mmol)、2 - メトキシ - エチルエーテル 50 mL が還流下で 12 時間攪拌され、そして室温に冷却された。得られた物質は水およびメタノールで洗浄され、メタノールに溶かされ、そしてシリカゲルカラムクロマトグラフィを用いることにより分離され、それにより赤色結晶のイリジウム錯化合物である化合物 20 3.5 g (4.5 mmol) を得た。

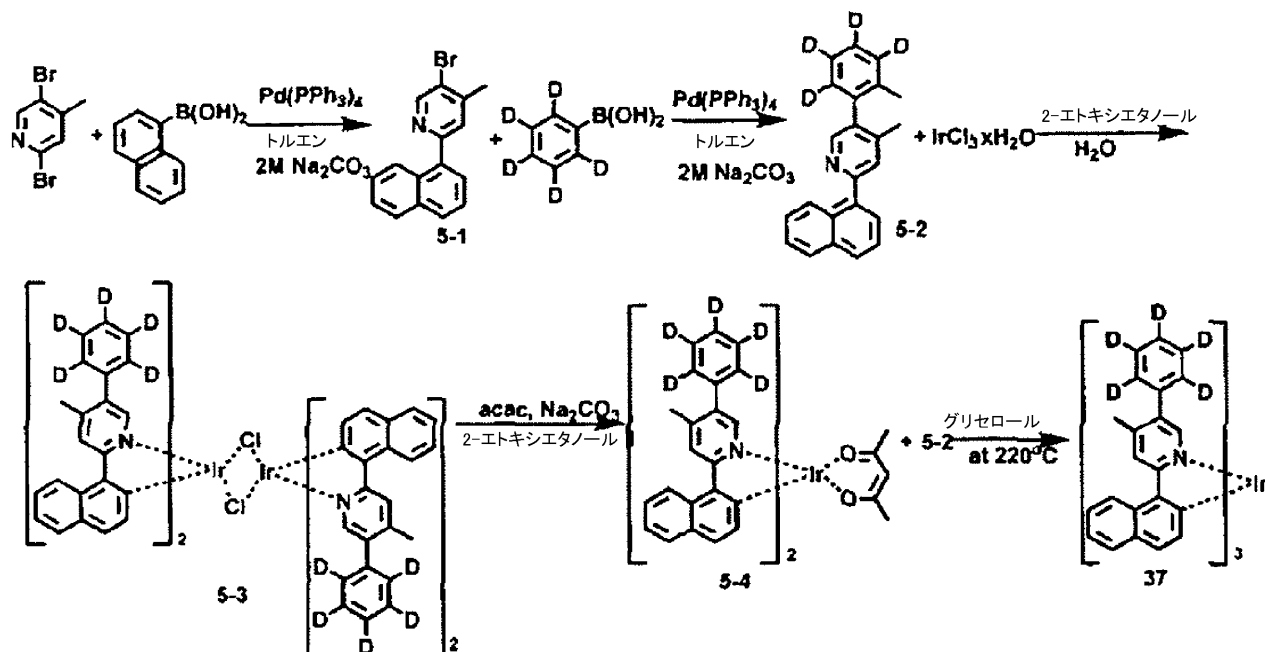
MS / FAB 測定値 782、計算値 871.01。

50

【 0 0 8 8 】

[製造例 5] 化合物 3 7 の製造

【 化 3 6 】



10

20

【 0 0 8 9 】

化合物 5 - 1 の製造

2, 5 - ジブromo - 4 - メチルピリジン 5 g (2 1 m m o l)、ナフタレン - 1 - イルボロン酸 2 . 6 g (2 1 m m o l)、および $\text{Pd}(\text{PPh}_3)_4$ 1 . 3 g (1 . 1 m m o l) がトルエン 5 0 m L、エタノール 2 5 m L、および 2 M の Na_2CO_3 2 5 m L に、窒素の存在下で溶かされ、次いで還流下 1 2 0 で攪拌された。2 時間後反応の完了時に、得られた物質が蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。この有機層は MgSO_4 で乾燥させられ、そしてロータリーエバポレータによって溶媒が除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製が行われて、それにより化合物 5 - 1 (2 . 6 g、1 1 m m o l) を得た。

30

【 0 0 9 0 】

化合物 5 - 2 の製造

化合物 5 - 1 2 . 6 g (1 1 m m o l)、 d^5 - フェニルボロン酸 1 . 8 g (1 3 m m o l)、および $\text{Pd}(\text{PPh}_3)_4$ 0 . 7 g (0 . 6 m m o l) が、トルエン 4 0 m L、エタノール 2 0 m L および 2 M の Na_2CO_3 2 0 m L に、窒素の存在下で溶かされ、次いで還流下 1 2 0 で攪拌された。2 時間後反応の完了時に、得られた物質が蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。この有機層は MgSO_4 で乾燥させられ、そしてロータリーエバポレータによって溶媒が除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製が行われて、それにより化合物 5 - 2 (2 . 2 g、9 . 3 m m o l) を得た。

40

【 0 0 9 1 】

化合物 5 - 3 の製造

化合物 5 - 2 2 . 2 g (9 . 3 m m o l)、塩化イリジウム (IrCl_3) 1 . 1 g (4 . 2 m m o l)、2 - エトキシエタノール 4 5 m L、および蒸留水 1 5 m L が一緒にされ、そして還流下で 2 4 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が室温に冷却され、沈殿した固体が濾別された。このようにして得られた固体が水およびメタノールで洗浄され、そしてヘキサンを用いて再結晶化させられて、それにより化合物 5 - 3 1 . 9 g (1 . 4 m m o l) を得た。

【 0 0 9 2 】

50

化合物 5 - 4 の製造

化合物 5 - 3 1.9 g (1.4 mmol)、 Na_2CO_3 0.82 g (8.4 mmol)、および 2, 4 - ペンタンジオン 2.3 mL (4.2 mmol) が、2 - エトキシエタノール 30 mL に溶かされ、次いで還流下で 5 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が室温に冷却され、沈殿した固体が濾別された。このようにして得られた固体は、シリカゲルカラムクロマトグラフィを用いて分離され、そして再結晶化させられて、それにより黄色結晶である化合物 5 - 4 0.67 g (0.9 mmol) を得た。

【0093】

化合物 37 の製造

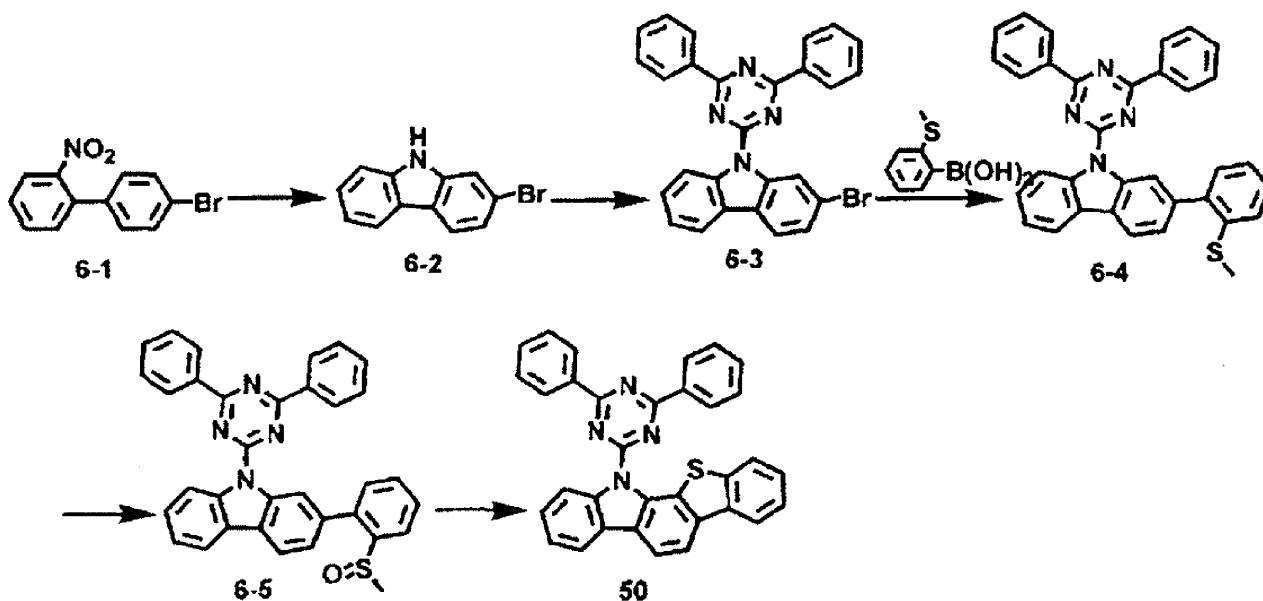
化合物 5 - 4 1.4 g (1.8 mmol)、化合物 5 - 2、およびグリセロール 20 mL が還流下 220 で 12 時間攪拌され、そして室温に冷却された。この混合物は水およびメタノールで洗浄され、塩化メチレンに溶かされ、そしてシリカゲルカラムクロマトグラフィによって分離されて、それによりイリジウム錯化合物の黄色結晶である化合物 37 0.8 g (0.9 mmol) を得た。

MS / FAB 測定値 1091、計算値 1090.42。

【0094】

[製造例 6] 化合物 50 の製造

【化 37】



【0095】

化合物 6 - 2 の製造

化合物 6 - 1 2.8 g (100.68 mmol) がトリエチルホスフィット 300 mL と混合され、次いでこの混合物が 150 で攪拌された。6 時間後、得られた物質は室温に冷却され、次いで減圧下で蒸留され、その後 EA での抽出が行われ、そして蒸留水の洗浄が行われた。次いで、硫酸マグネシウムでの乾燥、減圧下での蒸留、次いでカラム分離が行われ、それにより化合物 6 - 2 1.1 g (44.69 mmol、44.38%) を得た。

【0096】

化合物 6 - 3 の製造

化合物 6 - 2 1.1 g (44.69 mmol)、2 - クロロ - 4, 6 - ジフェニル - 1, 3, 5 - トリアジン 18.23 g (89.39 mmol)、 CuI 4.25 g (22.34 mmol)、 K_3PO_4 28.4 g (134.09 mmol)、トルエン 200 mL が混合され、次いでこの混合物が 50 に加熱された。エチレンジアミン 3.01 mL (44.69 mmol) がその中に入れられ、そして還流下で攪拌された。14 時間後、得られた物質が室温まで冷却され、次いでこれに蒸留水が加えられ、その後、EA で

の抽出および硫酸マグネシウムでの乾燥が行われた。得られた物質は減圧下で蒸留され、次いでカラム分離を行い、それにより化合物 6 - 3 12 g (37.24 mmol、83.32%) を得た。

【0097】

化合物 6 - 4 の製造

化合物 6 - 3 12 g (37.42 mmol)、2 - (メチルチオ)フェニルボロン酸 7.5 g (44.69 mmol)、Pd(PPh₃)₄ 2.15 g (1.6 mmol)、2 M の Na₂CO₃ 水溶液 45 ml、および THF 200 ml が混合され、次いで還流下で攪拌された。5 時間後、得られた物質が室温まで冷却され、次いで EA で抽出され、その後蒸留水での洗浄を行った。次いで、硫酸マグネシウムでの乾燥、減圧下での蒸留、次いでカラム分離が行われ、それにより化合物 6 - 4 10 g (27.36 mmol、73.47%) を得た。

10

【0098】

化合物 6 - 5 の製造

化合物 6 - 4 10 g (27.36 mmol) が酢酸 100 ml に添加され、そしてその中に H₂O₂ 2.65 ml (30.09 mmol、35%) がゆっくりと添加された。混合物が室温で 12 時間攪拌され、そしてこの酢酸が減圧下で蒸留された。残留物はジクロロメタンで抽出され、そして NaHCO₃ 水溶液で中和された。次いで、硫酸マグネシウムでの乾燥、および減圧下での蒸留が行われ、それにより化合物 6 - 5 10 g (26.21 mmol、95.79%) を得た。

20

【0099】

化合物 50 の製造

化合物 6 - 5 10 g (26.21 mmol) がトリフルオロメタンスルホン酸 70 ml と混合され、次いでこの混合物が 100 で攪拌された。5 時間後、得られた物質は室温に冷却され、次いでピリジン - 蒸留水 (1 : 5 の比率) 100 ml に添加された。得られた物質は還流下で 1 時間攪拌され、そして室温まで冷却された。生じた固体は減圧下で濾別され、次いでカラム分離を行い、それにより化合物 50 6 g (17.16 mmol、65.47%) を得た。

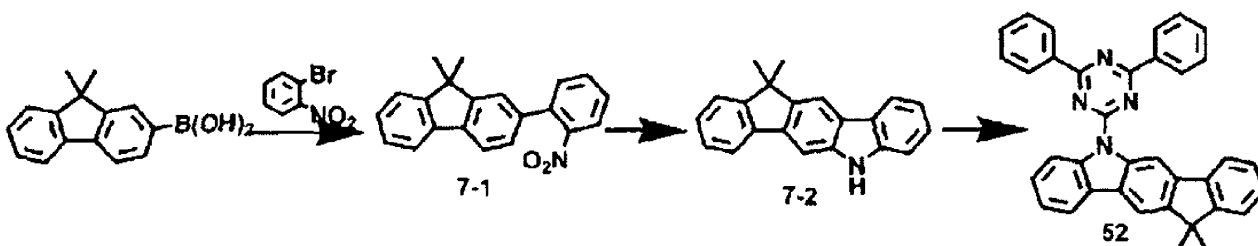
MS / FAB 測定値 505、計算値 504.60。

30

【0100】

[製造例 7] 化合物 52 の製造

【化 38】



40

【0101】

化合物 7 - 1 の製造

1 - ブロモ - 2 - ニトロベンゼン 15 g (0.074 mol) が 1 L の 2 つ口 RBF に入れられ、この中に 9,9 - ジメチル - 9H - フルオレン - 2 - イルボロン酸 23 g (0.096 mol)、Pd(PPh₃)₄ 4.2 g (0.003 mol)、Na₂CO₃ (2 M) 111 ml、および EtOH 111 ml が添加され、そしてトルエン 200 ml がこの中に添加された。次いで、得られた混合物が 120 に加熱され、次いで 3 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。この有機層が MgSO₄ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いる精製が行われて、それによ

50

り化合物 7 - 1 22 g (95%) を得た。

【0102】

化合物 7 - 2 の製造

化合物 7 - 1 24 g (0.076 mol) が 1 L の 2 つ口 R B F に入れられ、そしてこれに、トリエチルホスフィット 200 ml および 1, 2 - ジクロロベンゼン 200 ml が添加された。生じた混合物は 140 に加熱されて、次いで 12 時間攪拌された。反応の完了時に、溶媒が蒸留され、次いで蒸留水での洗浄、および酢酸エチルでの抽出が行われた。この有機層が $MgSO_4$ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いる精製が行われて、それにより化合物 7 - 2 7 g (33%) を得た。

10

【0103】

化合物 5 2 の製造

NaH (鋇油中 60%) 575 mg (14.38 mmol) が DMF 30 mL 中で蒸留された。化合物 7 - 2 2.5 g (11.50 mmol) が DMF 20 mL に溶かされ、そして得られた溶液が上記希釈された溶液に添加された。次いで、この混合溶液が室温で 1 時間攪拌された。2 - クロロ - 4, 6 - ジフェニル - 1, 3, 5 - トリアジン 3.0 g (11.50 mmol) が DMF 20 mL に溶かされ、次いで、この溶液が上記攪拌された溶液に添加された。得られた混合物は室温で 3 時間攪拌され、そして、水 500 mL がこれに添加された。生じた固体が減圧下で濾別され、そしてこのようにして得られた固体は DMF および EA で再結晶化させられ、それにより化合物 5 2 2.8 g (54%) を得た。

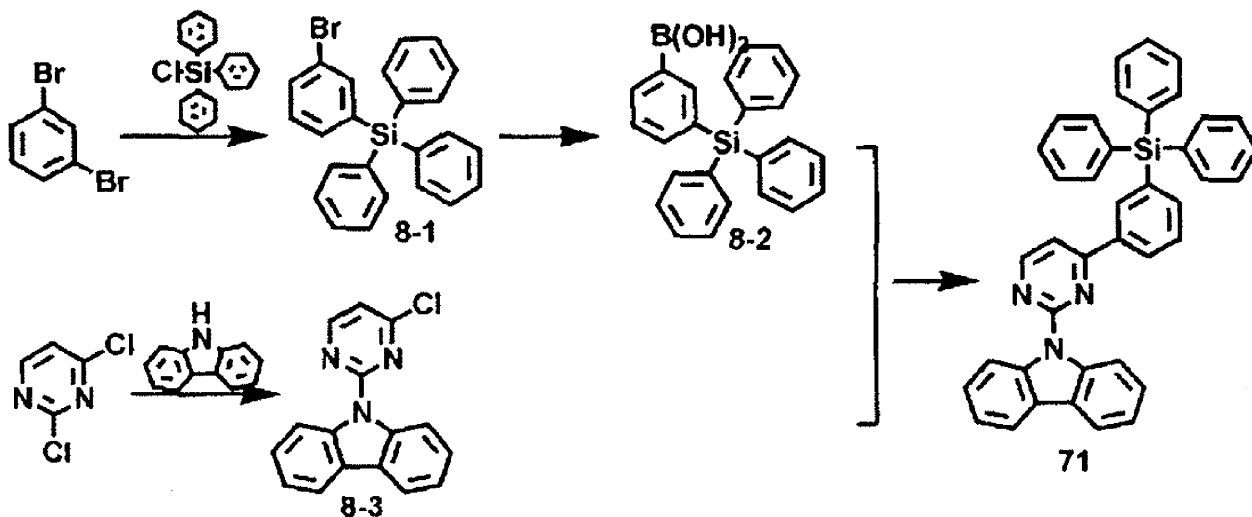
20

MS / FAB 測定値 515、計算値 514.62。

【0104】

[製造例 8] 化合物 7 1 の製造

【化 3 9】



30

【0105】

化合物 8 - 1 の製造

1, 3 - ジブロモベンゼン 20 g (84.77 mmol) が THF 500 mL に溶かされ、次いで -78 の温度に冷却された。これに $n-BuLi$ 2.5 M 33.9 mL (84.77 mmol) がゆっくりと添加され、次いで、-78 の温度で 1 時間攪拌された。クロロトリフェニルシラン ($(C_6H_5)_3SiCl$) 29.9 g が THF 100 mL に溶かされ、そしてこの溶液が上記反応混合物に添加された。得られた混合物は室温までゆっくりと暖められ、そして 12 時間攪拌された。次いで、EA での抽出、蒸留水および $NaCl$ 水溶液での洗浄、 $MgSO_4$ での乾燥、減圧下での蒸留、および $MC-MeOH$ (1:10 の比率) を用いた再結晶化が逐次行われ、それにより化合物 8 - 1 18 g (95%) を得た。

50

【0106】

化合物 8 - 2 の製造

化合物 8 - 1 20 g (90.06 mmol) が THF 600 mL に溶かされ、次いで - 78 に冷却された。これに、n - BuLi 2.5 M 43.2 mL (108.08 mmol) がゆっくりと添加され、次いで - 78 で 1 時間攪拌された。これにホウ酸トリメチル 16.06 mL (144.11 mmol) が添加された。得られた混合物は室温までゆっくりと暖められ、そして 12 時間攪拌された。次いで、E A での抽出、蒸留水および NaCl 水溶液での洗浄、MgSO₄ での乾燥、減圧下での蒸留、および MC - MeOH (1 : 10 の比率) を用いた再結晶化が逐次行われ、それにより化合物 8 - 2 12 g (35%) を得た。

10

【0107】

化合物 8 - 3 の製造

NaH (鉱油中 60%) 3.3 g (83.90 mmol) が DMF 10 mL 中に希釈された。カルバゾール 11.2 g (67.12 mmol) が DMF 60 mL 中に溶かされ、そしてこの溶液が上記反応液に添加され、次いで室温で 1 時間攪拌された。2, 4 - ジクロロピリミジン 10 g (67.12 mmol) が DMF 60 mL に溶かされ、そしてこの溶液が上記反応液に添加された。得られた材料は室温で 4 時間攪拌され、次いでこれに 40 mL の蒸留水が添加された。次いで、MC での抽出、蒸留水および NaCl 水溶液での洗浄、MgSO₄ での乾燥、減圧下での蒸留、およびカラムクロマトグラフィを用いた精製が逐次行われ、それにより化合物 8 - 3 4.0 g (21%) を得た。

20

【0108】

化合物 7 1 の製造

化合物 8 - 3 3.8 g (13.58 mmol)、化合物 8 - 2 6.2 g (16.30 mmol)、Pd (PPh₃)₄ 784 mg (0.67 mmol)、2 M の Na₂CO₃ 水溶液 70 mL、EtOH 50 mL、およびトルエン 200 mL が投入され、次いで還流下 120 で 12 時間攪拌された。得られた物質は室温まで冷却され、次いで E A での抽出、蒸留水および NaCl 水溶液での洗浄、E A を用いた再結晶化を行い、それにより化合物 7 1 5.5 g (69%) を得た。

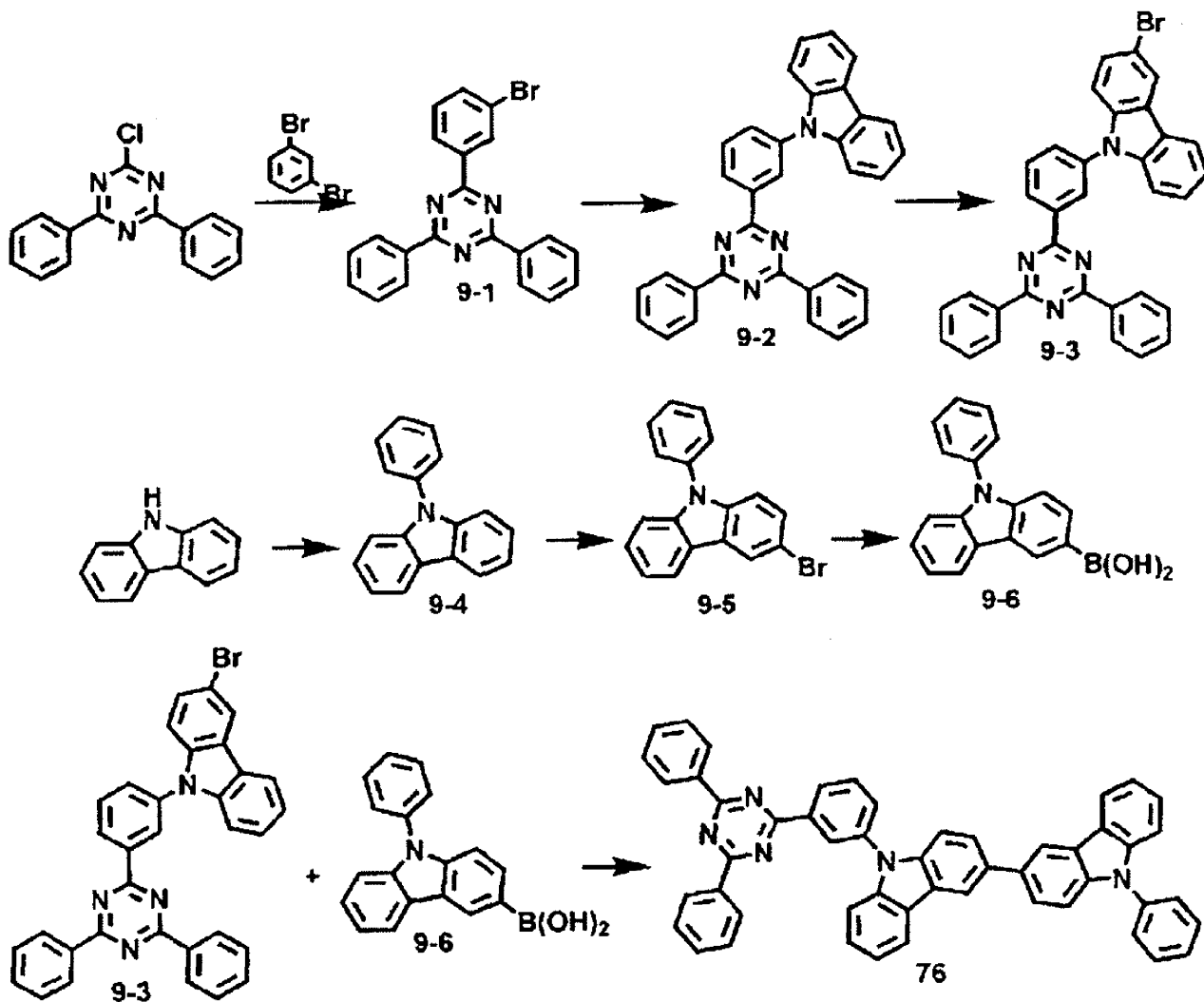
MS / FAB 測定値 580、計算値 579.76。

【0109】

30

[製造例 9] 化合物 7 6 の製造

【化 4 0】



【 0 1 1 0 】

化合物 9 - 1 の製造

1, 3 - ジブロモベンゼン 28 g (0 . 119 mol) が T H F 600 mL に溶かされ、次いでこれに、n - B u L i 47 . 5 mL がゆっくりと滴下添加され、次いで、1時間攪拌を行った。2 - クロロ - 4 , 6 - ジフェニル - 1 , 3 , 5 - トリアジン 47 . 5 mL がこれにゆっくりと滴下添加され、温度がゆっくりと上昇した後、得られた混合物が室温で5時間攪拌された。反応が完了した後で、E A および蒸留水での抽出、並びにカラム分離が逐次的に行われ、それにより化合物 9 - 1 15 . 7 g (40 . 43 mmol、40 . 4 %) を得た。

【 0 1 1 1 】

化合物 9 - 2 の製造

9 H - カルバゾール 10 g (41 . 10 mmol) および化合物 9 - 1 15 . 7 g (40 . 43 mmol) が、Pd (OAc)₂ 0 . 46 g、NaOt - bu 7 . 9 g (82 . 20 mmol)、トルエン 100 mL、および P (t - bu)₃ 2 mL (4 . 11 mmol、トルエン中 50 %) に添加され、そして還流下で攪拌された。10 時間後、得られた物質は室温まで冷却された。それに蒸留水が添加され、次いで E A での抽出が行われ、MgSO₄ での乾燥を行い、減圧下で乾燥させ、そしてカラム分離を行って、それにより化合物 9 - 2 12 . 5 g (26 . 34 mmol、65 . 2 %) を得た。

【 0 1 1 2 】

化合物 9 - 3 の製造

化合物 9 - 2 1.25 g (2.634 mmol) が 1 つ口フラスコに入れられ、これ

は次いで真空雰囲気下でアルゴンで満たされた。テトラヒドロフラン 500 mL がこれに添加され、次いで 0 で 10 分間攪拌された。これに、NBS 7.35 g (40.78 mmol) が添加され、室温で 1 日間攪拌された。反応の完了時に、得られた反応物質が蒸留水および EA で抽出された。有機層は $MgSO_4$ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いで、展開溶媒としてヘキサンおよび EA を用いたカラムクロマトグラフィを行って、それにより化合物 9-3 9.8 g (17.71 mmol, 67.3%) を得た。

【0113】

化合物 9-4 の製造

9H-カルバゾール 70 g (0.42 mmol)、ヨードベンゼン 46 mL、Cu 40 g、炭酸カリウム 174 g、18-クラウン-6 9 g、および 1,2-ジクロロベンゼン 2 L が全て入れられ、次いで、還流下で 12 時間攪拌された。反応の完了時に、EA での抽出、 $MgSO_4$ での乾燥、減圧下での蒸留、およびカラムクロマトグラフィが逐次的に行われ、それにより化合物 9-4 63.4 g (260.58 mmol, 62%) を得た。

10

【0114】

化合物 9-5 の製造

化合物 9-4 63.4 g (260.58 mmol) が 1 つ口フラスコに入れられ、次いでこれは真空雰囲気下でアルゴンで満たされた。これに、テトラヒドロフラン 500 mL が添加され、次いで 0 で 10 分間攪拌された。これに、NBS 7.35 g (40.78 mmol) が添加され、室温で 1 日間攪拌された。反応の完了時に、得られた反応物質が蒸留水および EA で抽出された。有機層は $MgSO_4$ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いで、展開溶媒としてヘキサンおよび EA を用いたカラムクロマトグラフィを行って、それにより化合物 9-5 52.4 g (162.63 mmol, 62.4%) を得た。

20

【0115】

化合物 9-6 の製造

化合物 9-5 52.4 g (162.63 mmol) が 1 つ口フラスコに入れられ、次いでこれは真空雰囲気下でアルゴンで満たされた。これに、テトラヒドロフラン 500 mL が添加され、次いで -78 で 10 分間攪拌された。これに、n-BuLi (ヘキサン中 2.5 M) 15.8 mL (39.45 mmol) が滴下添加され、次いで -78 で 1 時間 30 分間攪拌された。これに、ホウ酸トリメチル 4.85 mL (39.45 mmol) が -78 で添加され、次いで -78 で 30 分間攪拌され、次いで、室温で 4 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた反応物質が蒸留水および EA で抽出された。有機層は $MgSO_4$ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いで、展開溶媒としてヘキサンおよび EA を用いたカラムクロマトグラフィを行って、それにより化合物 11-6 20.3 g (70.70 mmol, 43%) を得た。

30

【0116】

化合物 76 の製造

化合物 9-3 9.8 g (17.71 mmol)、化合物 9-6 20.3 g (70.70 mmol)、 $Pd(PPh_3)_4$ 0.8 g (0.7 mmol)、2 M の K_2CO_3 水溶液 20 mL、トルエン 100 mL およびエタノール 50 mL が投入され、次いで、還流下で 12 時間攪拌された。次いで、蒸留水での洗浄、EA での抽出、 $MgSO_4$ での乾燥、減圧下での蒸留、およびカラム分離が逐次的に行われ、それにより化合物 76 5.7 g (7.96 mmol, 50%) を得た。

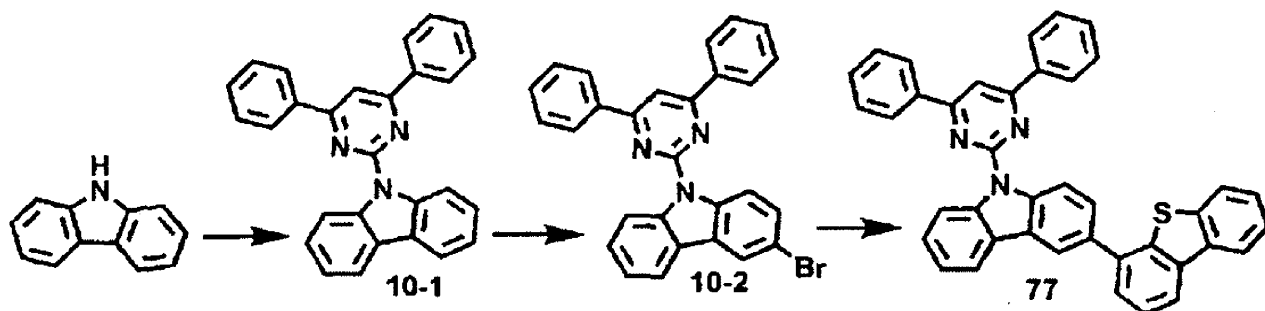
40

MS/FAB 測定値 716、計算値 715.84。

【0117】

[製造例 10] 化合物 77 の製造

【化 4 1】



10

【0118】

化合物 10 - 1 の製造

NaH 1.57 g (39.36 mmol、鉱油中 60%) が DMF 70 mL と混合され、そして 2 - クロロ - 4 , 6 - ジフェニルピリミジン 7 g (26.24 mmol) が DMF 60 mL に溶かされた。1 時間後、9 H - カルバゾールが DMF 70 mL に溶かされ、次いで 10 時間攪拌された。次いで、水の添加、EA での抽出、MgSO₄ での乾燥、減圧下での蒸留、およびカラム分離が逐次的に行われ、それにより化合物 10 - 1 7 g (14.78 mmol、56.33%) を得た。

【0119】

化合物 10 - 2 の製造

化合物 10 - 1 7 g (14.78 mmol) が 1 つ口フラスコに入れられ、次いで、それは真空雰囲気下でアルゴンで満たされた。これに、テトラヒドロフラン 500 mL が添加され、次いで 0 で 10 分間攪拌された。これに、NBS 7.35 g (40.78 mmol) が添加され、室温で 1 日間攪拌された。反応の完了時に、得られた反応物質が蒸留水および EA で抽出された。有機層は MgSO₄ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いで、展開溶媒としてヘキサンおよび EA を用いたカラムクロマトグラフィを行って、それにより化合物 10 - 2 5.7 g (11.97 mmol、80.9%) を得た。

20

【0120】

化合物 77 の製造

化合物 10 - 2 5.0 g (17.4 mmol)、ジベンゾ[b , d]チオフェン - 4 - イルボロン酸 5.2 g (20.88 mmol)、Pd(PPh₃)₄ 0.8 g (0.7 mmol)、2 M の K₂CO₃ 水溶液 20 mL、トルエン 100 mL およびエタノール 50 mL が投入され、次いで還流下で 12 時間攪拌された。次いで、蒸留水での洗浄、EA での抽出、MgSO₄ での乾燥、減圧下での蒸留、およびカラム分離が逐次的に行われ、それにより化合物 77 4.3 g (10.48 mmol、60%) を得た。

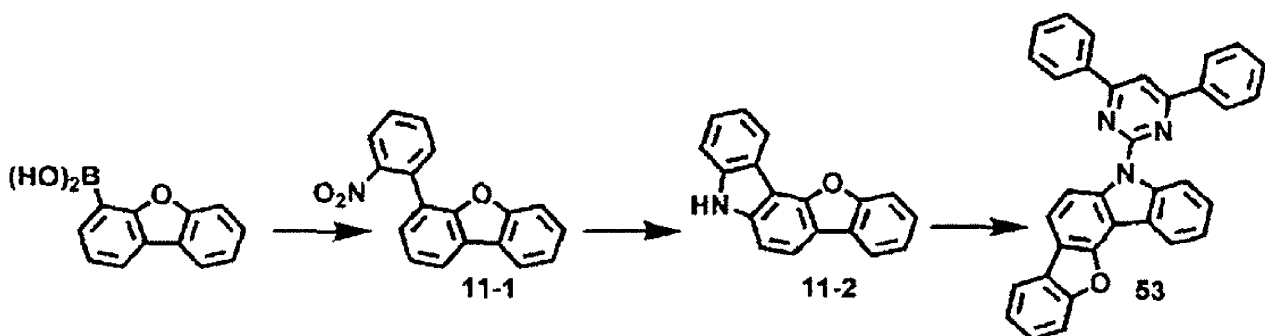
30

MS / FAB 測定値 580、計算値 579.71。

【0121】

[製造例 11] 化合物 53 の製造

【化 4 2】



40

50

【0122】

化合物11-1の製造

ジベンゾ[*b*, *d*]フラン-4-イルボロン酸10g(43.84mmol)、プロモニトロベンゼン8.85g(43.84mmol)、2Mの Na_2CO_3 水溶液70ml、トルエン200mlおよびエタノール70mlが混合され、次いで還流下で撹拌された。5時間後、得られた物質が室温まで冷却され、次いで、EAで抽出され、次いで、蒸留水での洗浄が行われた。次いで、硫酸マグネシウムでの乾燥、減圧下での蒸留、およびカラム分離が逐次的に行われ、それにより化合物11-1 10g(32.74mmol、74.68%)を得た。

【0123】

化合物11-2の製造

化合物11-1 10g(32.74mmol)がトリエチルホスフィット 100mlと混合され、次いで、この混合物が150℃で7時間撹拌された。得られた物質は室温まで冷却され、減圧下で蒸留され、EAで再結晶化させられて、それにより化合物11-2 7g(25.60mmol、78.19%)を得た。

【0124】

化合物53の製造

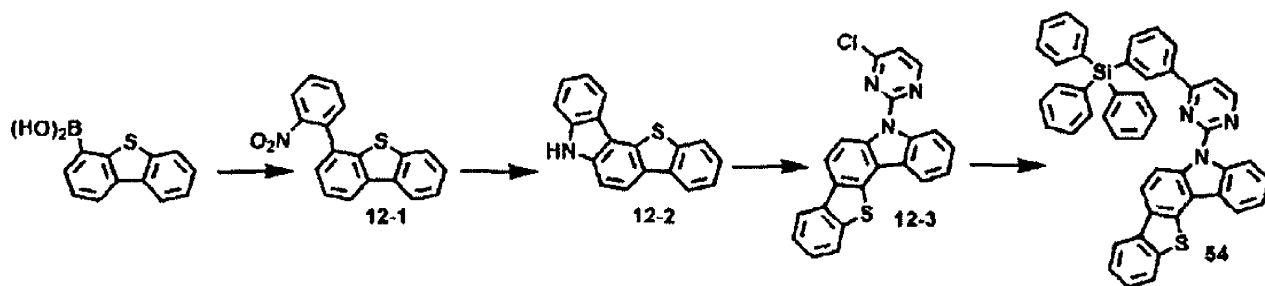
NaH(鋇油中60%)3.3g(83.90mmol)がDMF10mL中に希釈された。化合物11-2 18.3g(67.12mmol)がDMF60mLに溶かされ、そしてこの溶液が上記反応液に添加され、次いで室温で1時間撹拌された。2-クロロ-4,6-ジフェニルピリミジン10g(67.12mmol)がDMF60mLに溶かされ、そしてこの溶液が上記反応液に添加された。得られた物質は室温で4時間撹拌され、次いで、これに蒸留水40mLが添加された。次いで、MCでの抽出、蒸留水およびNaCl水溶液での洗浄、 MgSO_4 での乾燥、減圧下での蒸留、およびカラムクロマトグラフィを用いた精製が逐次的に行われ、それにより化合物53 5.4g(14.0mmol、21%)を得た。

MS/FAB測定値504、計算値503.62。

【0125】

[製造例12] 化合物54の製造

【化43】



【0126】

化合物12-1の製造

ジベンゾ[*b*, *d*]チオフェン-4-イルボロン酸10g(43.84mmol)、プロモニトロベンゼン8.85g(43.84mmol)、2Mの Na_2CO_3 水溶液70ml、トルエン200mlおよびエタノール70mlが混合され、次いで、還流下で撹拌された。5時間後、得られた物質が室温まで冷却され、次いで、EAで抽出され、次いで、蒸留水での洗浄が行われた。次いで、硫酸マグネシウムでの乾燥、減圧下での蒸留、およびカラム分離が逐次的に行われ、それにより化合物12-1 10g(32.74mmol、74.68%)を得た。

【0127】

化合物12-2の製造

化合物12-1 10g(32.74mmol)がトリエチルホスフィット100ml

10

20

30

40

50

と混合され、次いで、この混合物が 150 で 7 時間攪拌された。得られた物質が室温まで冷却され、減圧下で蒸留され、そして E A を用いて再結晶化させられて、それにより化合物 12 - 2 7 g (25 . 60 mmol 、 78 . 19 %) を得た。

【 0 1 2 8 】

化合物 12 - 3 の製造

NaH (鉱油中 60 %) 3 . 3 g (83 . 90 mmol) が DMF 10 mL 中に希釈された。化合物 12 - 2 18 . 3 g (67 . 12 mmol) が DMF 60 mL に溶かされ、この溶液が上記反応液に添加され、次いで 1 時間攪拌された。2 , 4 - ジクロロピリミジン 10 g (67 . 12 mmol) が DMF 60 mL 中に溶かされ、そしてこの溶液は上記反応液に添加された。得られた物質は室温で 4 時間攪拌され、次いでこれに蒸留水 40 mL が添加された。次いで、E A での抽出、蒸留水および NaCl 水溶液での洗浄、MgSO₄ での乾燥、減圧下での蒸留、およびカラムクロマトグラフィを用いた精製が逐次的に行われ、それにより化合物 12 - 3 5 . 4 g (14 . 0 mmol 、 21 %) を得た。

10

【 0 1 2 9 】

化合物 54 の製造

化合物 12 - 3 5 . 2 g (13 . 58 mmol)、化合物 8 - 2 6 . 2 g (16 . 30 mmol)、Pd (PPh₃)₄ 784 mg (0 . 67 mmol)、2 M の Na₂CO₃ 水溶液 70 mL、エタノール 50 mL およびトルエン 200 mL が投入され、次いで、還流下 120 で、12 時間攪拌された。得られた物質は室温まで冷却され、次いで、E A での抽出、蒸留水および NaCl 水溶液での洗浄、および E A を用いた再結晶化が逐次的に行われ、それにより化合物 54 6 . 4 g (69 %) を得た。

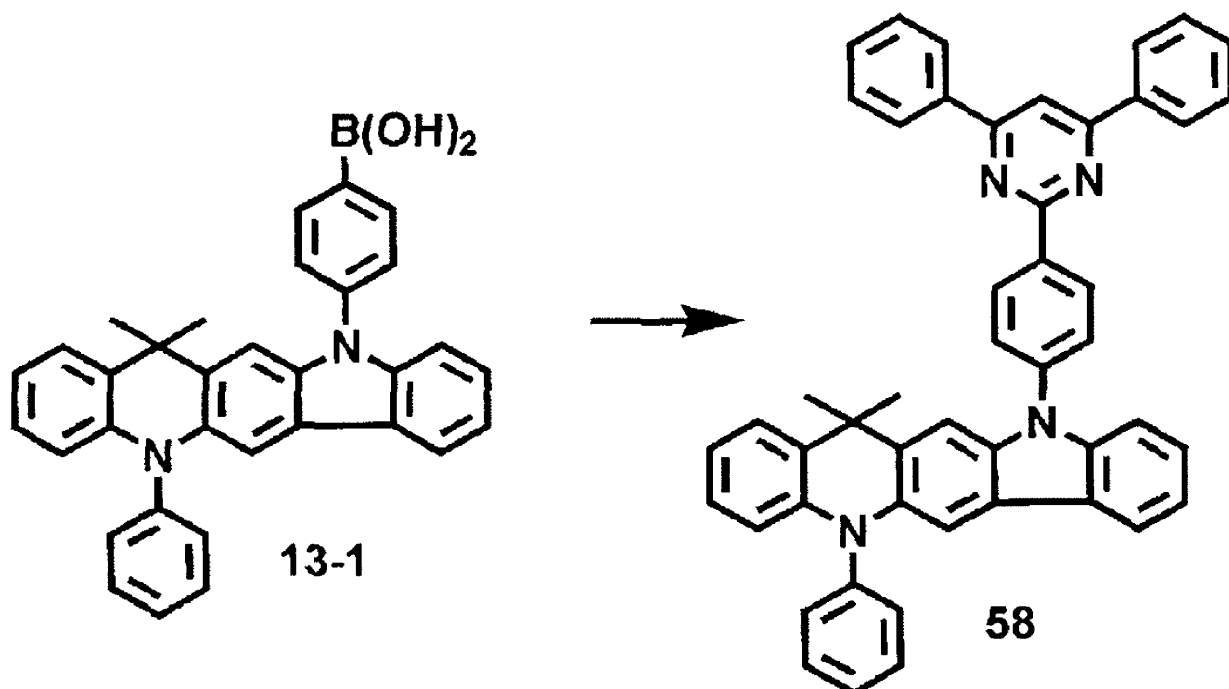
20

MS / FAB 測定値 686、計算値 685 . 91。

【 0 1 3 0 】

[製造例 13] 化合物 58 の製造

【 化 4 4 】



30

40

【 0 1 3 1 】

化合物 58 の製造

2 - クロロ - 4 , 6 - ジフェニルピリミジン 2 . 7 g (10 . 11 mmol)、化合物 13 - 1 5 g (10 . 11 mmol)、Pd (PPh₃)₄ 584 mg (0 . 50 mmol)、K₂CO₃ (2 M) 15 mL および EtOH 15 mL がトルエン 30 mL に溶解させられ、次いで 120 に加熱された。得られた物質は 3 時間攪拌され、次いで

50

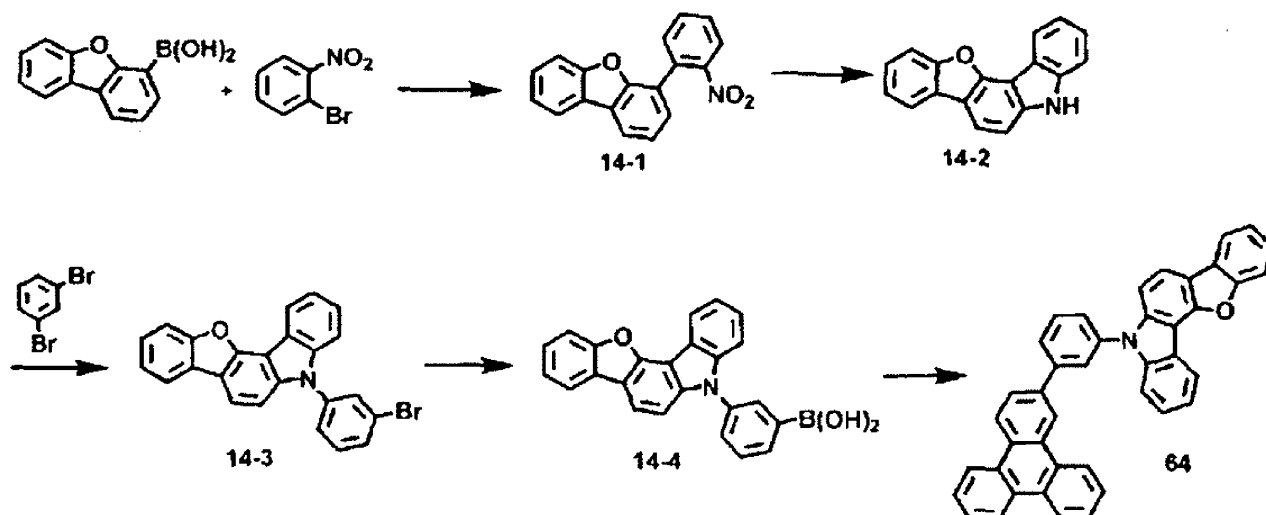
、反応の完了時に、得られた反応物質は蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。有機層が $MgSO_4$ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製を行って、それにより化合物 58 (72%) を得た。

MS / FAB 測定値 681、計算値 680.84。

【0132】

[製造例14] 化合物64の製造

【化45】



10

20

【0133】

化合物14-1の製造

ジベンゾ[*b*, *d*]フラン-4-イルボロン酸 45 g (0.21 mol)、1-ブromo-2-ニトロベンゼン 39 g (0.19 mol)、 $Pd(PPh_3)_4$ 11.1 g (0.0096 mol)、 K_2CO_3 (2M) 290 mL、およびエタノール 290 mL が1 Lの2つ口RBFに投入され、そしてこれにトルエン 580 mL が添加された。得られた混合物は120 に加熱され、次いで4時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質は蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。有機層が $MgSO_4$ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製を行って、それにより化合物14-1 47 g (85%) を得た。

30

【0134】

化合物14-2の製造

化合物14-1 47 g (0.16 mol)、トリエチルホスフィット 600 mL、および1,2-ジクロロベンゼン 300 mL が1 Lの2つ口RBFに投入された。得られた混合物は150 に加熱され、次いで12時間攪拌された。反応の完了時に、溶媒は蒸留され、次いで蒸留水での洗浄、そして酢酸エチルでの抽出を行った。有機層が $MgSO_4$ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製を行って、それにより化合物14-2 39 g (81%) を得た。

40

【0135】

化合物14-3の製造

化合物14-2 15 g (0.058 mol)、1,3-ジブリンベンゼン 82 g (0.349 mol)、 CuI 5.5 g (2.91 mmol)、 K_3PO_4 25 g (0.11 mol)、エチレンジアミン 4 mL (0.058 mol)、およびトルエン 500 mL が1 Lの2つ口RBFに投入された。得られた混合物が75 に加熱され、次いで12時間攪拌された。反応完了時に、得られた反応物質は濾別されてCuを除去し、次いで、蒸留水での洗浄、そして酢酸エチルでの抽出を行った。有機層が $MgSO_4$ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いでカラムクロマト

50

グラフィを用いた精製を行って、それにより化合物 14 - 3 17.1 g (71%) を得た。

【0136】

化合物 14 - 4 の製造

化合物 14 - 3 17 g (0.041 mol) が 1 L の 2 つ口 R B F に投入され、次いで、真空条件下で乾燥させ、次いで、窒素ガスで満たされた。これに、THF 300 ml が添加され、次いで、得られた混合物が - 78 °C まで冷却された。これに、n - BuLi (2.5 M) 24.7 ml (0.061 mol) がゆっくりと添加され、次いで低温状態を維持しつつ 1 時間攪拌された。これに、B (i - p r o) 3 14.2 mL (0.061 mmol) が - 78 °C で添加され、次いで 12 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた反応物質に 1 M の HCl が添加され、次いで 10 分後に、EA での抽出が行われた。有機層が MgSO₄ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製を行って、それにより化合物 14 - 4 13.8 g (90%) を得た。

10

【0137】

化合物 64 の製造

2 - プロモトリフェニレン 7.2 g (23.44 mmol)、化合物 14 - 4 13.2 g (35.16 mmol)、Pd (oAc)₂ 790 mg (3.51 mmol)、P (t - Bu)₃ 4.7 mL (7.03 mmol)、および K₃PO₄ (2 M) 46 mL (93.76 mmol) が 500 mL の 2 つ口 R B F に投入され、そしてこれにエタノール 46 mL およびトルエン 200 mL が添加された。得られた混合物は 120 °C に加熱され、次いで 2 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質は蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。有機層が MgSO₄ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製を行って、それにより化合物 64 5.8 g (44%) を得た。

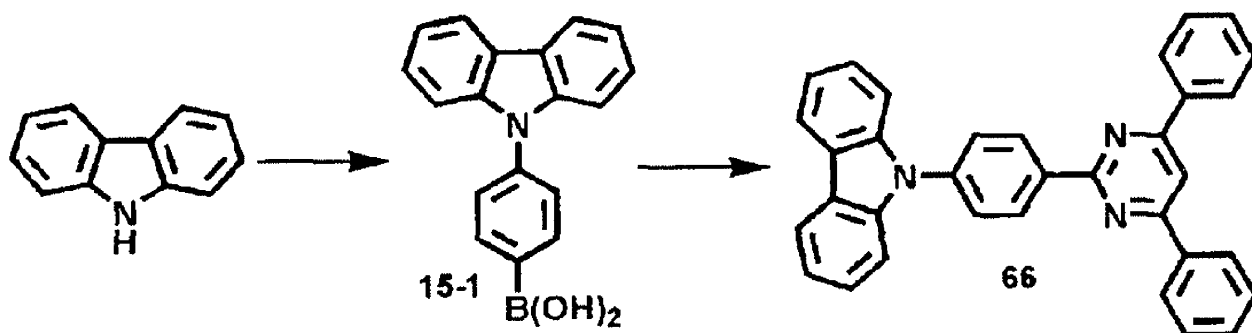
20

MS / FAB 測定値 560、計算値 559.65。

【0138】

[製造例 15] 化合物 66 の製造

【化 46】



30

【0139】

化合物 15 - 1 の製造

カルバゾール (30 g、0.18 mol)、1,4 - ジプロモベンゼン (85 g、0.36 mol)、CuI (34 g、0.18 mol)、K₃PO₄ (114 g、0.54 mol)、およびトルエン (1200 mL) が 500 mL の丸底フラスコに投入され、そして得られた混合物が 120 °C で 10 分間攪拌された。次いで、この中にエチレンジアミン (24 mL、0.36 mol) が添加され、次いで 120 °C で 12 時間攪拌された。反応の完了後、得られた物質に対して酢酸エチルでの抽出が行われ、次いでカラムクロマトグラフィが行われ、それにより化合物を得た。この化合物 (13 g、0.04 mol) が、無水条件の 1000 mL の丸底フラスコに投入され、次いで、これに乾燥 THF (200 mL) の添加が行われ、次いで、窒素下で攪拌しつつ - 78 °C で、これに n - BuLi (

40

50

20 ml、ヘキサン中 2.25 M の溶液) がゆっくりと添加された。得られた混合物は -78 で 1 時間攪拌され、次いで、-78 でその中への $B(OMe)_3$ (6.7 ml、0.06 mol) のゆっくりとした添加を行い、次いでその温度が室温まで上げられ、次いで 12 時間にわたって反応させた。この反応の完了後、得られた物質に対して酢酸エチルでの抽出が行われ、次いで有機層が $MgSO_4$ で乾燥させられ、次いでろ過が行われた。溶媒が減圧下で除去され、次いでカラムクロマトグラフィを行って、それにより化合物 15-1 (8.5 g、73%) を白色固体として得た。

【0140】

化合物 66 の製造

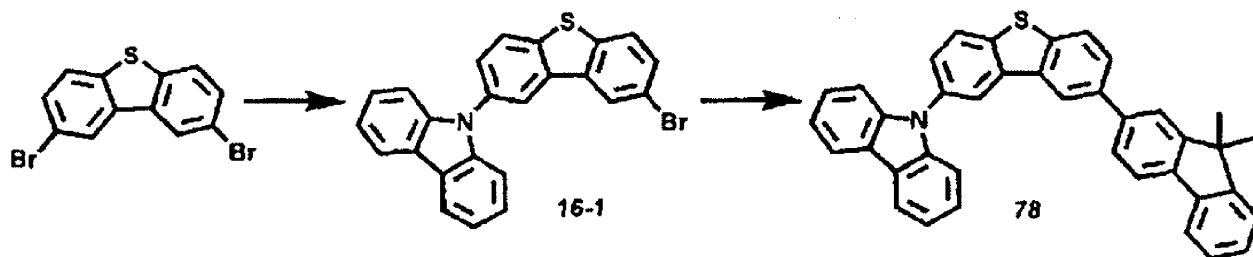
2-クロロ-4,6-ジフェニルピリミジン (5.0 g、0.02 mol)、 $Pd(PPh_3)_4$ (1.0 g、0.0009 mol)、2 M の Na_2CO_3 (100 ml)、トルエン (200 ml)、および EtOH (70 ml) が化合物 15-1 (6.4 g、0.02 mol) に添加され、得られた混合物が 120 で 12 時間攪拌された。反応の完了後、得られた物質に対して酢酸エチルでの抽出が行われ、次いで有機層が $MgSO_4$ で乾燥させられ、次いでろ過が行われた。溶媒が減圧下で除去され、次いで DMF を用いた再結晶化を行って、それにより化合物 66 (3.7 g、41%) を得た。

MS/FAB 測定値 474、計算値 473.57。

【0141】

[製造例 16] 化合物 78 の製造

【化 47】



【0142】

化合物 16-1 の製造

2,8-ジブロモジベンゾ[b,d]チオフェン 20 g (0.12 mol)、カルバゾール 82 g (2 eq)、 CuI 11.4 g (0.5 eq) および K_3PO_4 76.1 g (3 eq) が 2 つ口フラスコに入れられ、次いで、これは真空雰囲気下で窒素で満たされた。次いで、トルエン mL (0.1 M) がこれに添加され、次いで、還流下 80 で攪拌された。温度が 80 に到達した時に、この中にエチレンジアミン 8 mL (1 eq) が添加され、次いで、還流下 120 で 12 時間攪拌された。反応の完了後、この中に NH_4Cl (aq) 100 mL が添加され、 Cu が除去された。有機層は EA および H_2O で抽出され、次いで、 $MgSO_4$ での乾燥を行って、次いで得られた有機層が減圧下で蒸留された。このようにして得られた有機層がカラムクロマトグラフィによって分離され、それにより化合物 16-1 36 g (70% 収率) を得た。

【0143】

化合物 78 の製造

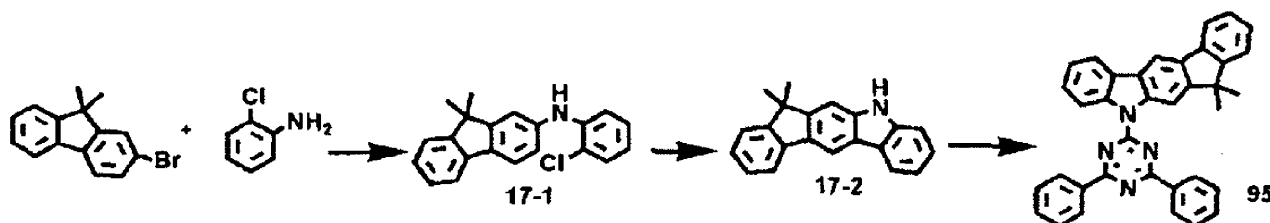
化合物 16-1 13.8 g (0.03 mol)、9,9-ジメチル-9H-フルオレン-2-イルボロン酸 11.5 g (1.5 eq)、 $PdCl_2(PPh_3)_2$ 2.3 g (1.5 eq)、2.5 M Na_2CO_3 15.4 g、アリコート (Aliquat) 336 5 mL、トルエン 160 mL、EtOH 80 mL、および H_2O 73 mL が一緒にされ、次いで還流下 110 で 3 時間 30 分間攪拌された。反応の完了後、得られた物質に対して EA および蒸留水での抽出が行われ、次いで、 $MgSO_4$ での乾燥を行って、 $CHCl_3$ に溶解させ、そしてシリカろ過を行った。有機層が集められ、次いでロータリーエバポレータを用いることによって固体が生じさせられた。生じた固体は DMF を

用いて再結晶化させられて、次いで、その固体のシリカろ過を行った。ロータリーエバポレータによって固体を生じさせるために、有機層が再び使用され、次いで、EAおよびTHFを用いて再結晶化させられ、それにより化合物78 8 g (49%収率)を得た。
MS/FAB測定値542、計算値541.70。

【0144】

[製造例17] 化合物95の製造

【化48】



10

【0145】

化合物17-1の製造

2-ブロモ-9,9-ジメチル-9H-フルオレン(50 g、0.183 mol)、2-クロロアニリン(57 ml、0.549 mol)、Pd(OAc)₂、(1.6 g、0.007 mol)、NaO-t-Bu(44 g、0.458 mol)、トルエン(500 ml)、およびP(t-Bu)₃(7.2 ml、0.0146 mol)が1000 mLの丸底フラスコに入れられ、得られた混合物は120 で12時間攪拌された。反応の完了後、得られた物質に対して酢酸エチルでの抽出が行われ、次いで、有機層がMgSO₄で乾燥させられ、次いで、ろ過が行われた。溶媒が減圧下で除去され、次いでカラムクロマトグラフィを行って、それにより化合物17-1(32 g、55%)を白色固体として得た。

20

【0146】

化合物17-2の製造

化合物17-1(32 g、0.1 mol)、Pd(OAc)₂、(1.1 g、0.005 mol)、ジ-tert-ブチルメチルホスフィン、HBF₄(2.48 g、0.01 mol)、K₂CO₃(42 g、0.30 mol)、およびDMA(550 ml)が一緒にされ、次いで200 で12時間攪拌された。反応の完了後、得られた物質に対して酢酸エチルでの抽出が行われ、次いで、有機層がMgSO₄で乾燥させられ、次いで、ろ過が行われた。溶媒が減圧下で除去され、次いでカラムクロマトグラフィを行って、それにより化合物17-2(14 g、47%)を得た。

30

【0147】

化合物95の製造

化合物17-2(5 g、17.64 mmol)および2-クロロ-4,6-ジフェニルトリアジン(5.6 g、21.17 mmol)がDMF(100 ml)中に溶解させられた。これに、NaH(1.05 g、26.46 mmol)がゆっくりと添加され、次いで室温で12時間攪拌された。これに蒸留水が添加され、減圧下で固体がろ過されて、次いでカラムクロマトグラフィが行われ、それにより化合物95(3.9 g、42.96%)を得た。

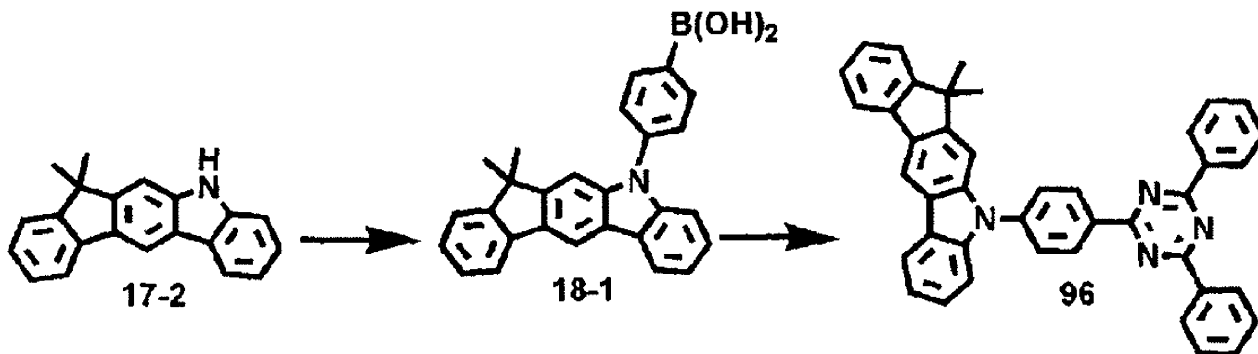
40

MS/FAB測定値514、計算値514.62。

【0148】

[製造例18] 化合物96の製造

【化 4 9】



10

【0149】

化合物 18 - 1 の製造

化合物 17 - 2 (32 g、0.11 mol)、1 - ブロモ - 4 - ヨードベンゼン (95.8 g、0.339 mol)、CuI (13 g、0.068 mol)、 K_3PO_4 (86.3 g、0.41 mol)、およびトルエン (700 ml) が 500 mL の丸底フラスコに入れられ、そして得られた混合物が 80 で 10 分間攪拌された。次いで、これにエチレンジアミン (18.3 ml、0.27 mol) が添加され、次いで、140 で 12 時間攪拌を行った。反応の完了後、得られた物質に対して酢酸エチルでの抽出が行われ、次いでカラムクロマトグラフィが行われ、それにより化合物を得た。この化合物 (46 g、0.10 mol) が、無水条件の 2000 mL の丸底フラスコに入れられ、次いで、この中に乾燥 THF (800 ml) の添加が行われ、次いで、窒素下で攪拌しつつ -78 で、この中に *n*-BuLi (63 ml、ヘキサン中 2.25 M の溶液) が添加された。得られた混合物は -78 で 1 時間攪拌され、次いで、-78 でその中への $B(O-iPr)_3$ (48 ml、0.21 mol) のゆっくりとした添加を行い、次いでその温度が室温まで上げられ、次いで 12 時間にわたって反応させた。この反応の完了後、得られた物質に対して酢酸エチルでの抽出が行われ、次いで有機層が $MgSO_4$ で乾燥させられ、次いでろ過が行われた。溶媒が減圧下で除去され、次いで再結晶化を行って、それにより化合物 18 - 1 (32.8 g、78%) を白色固体として得た。

20

【0150】

化合物 96 の製造

化合物 18 - 1 (32.8 g、0.08 mol)、2 - クロロ - 4,6 - ジフェニル - 1,3,5 - トリアジン (26.1 g、0.098 mol)、 $Pd(PPh_3)_4$ (4.7 g、0.004 mol)、 K_2CO_3 (33.7 g、0.244 mol)、トルエン (410 ml)、EtOH (100 ml)、および H_2O (120 ml) が一緒にされ、そして得られた混合物が 120 で 12 時間攪拌された。反応の完了後、得られた物質に対して酢酸エチルでの抽出が行われ、次いで有機層が $MgSO_4$ で乾燥させられ、次いで、ろ過が行われた。溶媒が減圧下で除去され、次いで再結晶化を行って、それにより化合物 96 (12 g、30%) を得た。

30

MS / FAB 測定値 591、計算値 590.71。

40

【0151】

[実施例 1] 本発明の有機電界発光化合物を使用した OLED 素子の製造

本発明の電界発光材料を使用することにより OLED 素子が製造された。まず、OLED 用ガラス (サムスンコーニングにより製造) から得られた透明電極 ITO 薄膜 (15 Ω / $\square$) がトリクロロエチレン、アセトン、エタノールおよび蒸留水を順に使用した超音波洗浄にかけられ、使用までイソプロパノール中に貯蔵された。次に、真空蒸着装置の基体ホルダに ITO 基体を取り付け、この真空蒸着装置のセル内に N1, N1' - (ビフェニル - 4,4' - ジイル) ビス (N1 - (ナフタレン - 2 - イル) - N4, N4 - ジフェニルベンゼン - 1,4 - ジアミン) を入れ、次いで、この装置はこのチャンバー内の真空度が 10^{-6} torr に到達するまで脱気された。次いで、このセルに電流を適用して気化

50

を行い、それにより、ITO基体上に120nmの厚みを有する正孔注入層を形成させた。次いで、真空蒸着装置の他のセルにN4, N4, N4', N4'-テトラ(ビフェニル-4-イル)ビフェニル-4, 4'-ジアミンを入れ、このセルに電流を適用して気化を行い、それにより正孔注入層上に20nmの厚みを有する正孔輸送層を形成させた。正孔注入層および正孔輸送層を形成した後で、形成された層上に電界発光層が以下のように形成された。ホストとしての化合物53が真空蒸着装置内の一方のセルに入れられそしてドーパントとしての化合物1がもう一方のセルに入れられた。次いで、20重量%未満のドーピングを行うように、これら2種類の材料は異なる速度で蒸発させられ、それにより、正孔輸送層上に40nmの厚さを有する電界発光層を形成させた。その後、2-(4-(9, 10-ジ(ナフタレン-2-イル)アントラセン-2-イル)フェニル)-1-フェニル-1H-ベンゾ[d]イミダゾール)が真空蒸着装置の一方のセルに入れられ、そしてリチウムキノラートが真空蒸着装置の別のセルに入れられた。次いで、これら2つの材料は30重量%~70重量%のドーピングを行うような異なる速度で蒸発させられて、それにより電界発光層上に30nmの厚さを有する電子輸送層を形成させた。次いで、電子注入層として、リチウムキノラートが1~2nmの厚みで堆積させられ、次いで、そして別の真空蒸着装置を使用して、150nmの厚みを有するようにAlカソードが堆積させられ、それによりOLED素子を製造した。これら材料のそれぞれの化合物は 10^{-6} torrでの真空昇華によって精製されていた。

10

【0152】

結果として、 3.0 mA/cm^2 の電流が4.0Vの電圧で流れ、そして 2038 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

20

【0153】

[実施例2]

本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

電界発光材料として化合物54がホストとして使用されたこと以外は、実施例1におけるのと同じ方法によってOLED素子が製造された。

結果的に、 2.0 mA/cm^2 の電流が3.6Vの電圧で流れ、そして 1035 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

【0154】

[実施例3] 本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

30

電界発光材料として化合物59がホストとして使用されたこと以外は、実施例1におけるのと同じ方法によってOLED素子が製造された。

結果的に、 1.56 mA/cm^2 の電流が3.7Vの電圧で流れ、そして 1020 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。15000nitの輝度でルミネセンスを90%低下させるのに40時間かった。

【0155】

[実施例4] 本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

電界発光材料として化合物62がホストとして使用されたこと以外は、実施例1におけるのと同じ方法によってOLED素子が製造された。

結果的に、 1.91 mA/cm^2 の電流が3.7Vの電圧で流れ、そして 1105 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

40

【0156】

[実施例5] 本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

電界発光材料として化合物63がホストとして使用されたこと以外は、実施例1におけるのと同じ方法によってOLED素子が製造された。

結果的に、 1.9 mA/cm^2 の電流が3.0Vの電圧で流れ、そして 1070 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

【0157】

[実施例6] 本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

電界発光材料として化合物63および48が同じ速度で蒸発させられ、そしてホストと

50

して使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 1.73 mA/cm^2 の電流が 3.0 V の電圧で流れ、そして 760 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。 15000 nit の輝度でルミネセンスを 90% 低下させるのに 35 時間かかった。

【0158】

[実施例 7] 本発明の有機電界発光化合物を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として化合物 65 がホストとして使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 2.3 mA/cm^2 の電流が 3.4 V の電圧で流れ、そして 1220 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

10

【0159】

[実施例 8] 本発明の有機電界発光化合物を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として化合物 66 がホストとして使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 3.2 mA/cm^2 の電流が 4.0 V の電圧で流れ、そして 1760 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。 15000 nit の輝度でルミネセンスを 90% 低下させるのに 32 時間かかった。

【0160】

[実施例 9] 本発明の有機電界発光化合物を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として化合物 71 がホストとして使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 2.2 mA/cm^2 の電流が 4.1 V の電圧で流れ、そして 1030 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

20

【0161】

[実施例 10] 本発明の有機電界発光化合物を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として化合物 77 がホストとして使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 2.08 mA/cm^2 の電流が 3.7 V の電圧で流れ、そして 1020 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

30

【0162】

[実施例 11] 本発明の有機電界発光化合物を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として化合物 78 および 48 が同じ速度で蒸発させられ、そしてホストとして使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 1.6 mA/cm^2 の電流が 4.3 V の電圧で流れ、そして 820 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。 15000 nit の輝度でルミネセンスを 90% 低下させるのに 33 時間かかった。

【0163】

[実施例 12] 本発明の有機電界発光化合物を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として化合物 94 がホストとして使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 1.92 mA/cm^2 の電流が 3.8 V の電圧で流れ、そして 1060 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

40

【0164】

[実施例 13] 本発明の有機電界発光化合物を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として化合物 95 がホストとして使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 2.81 mA/cm^2 の電流が 3.3 V の電圧で流れ、そして 1315 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

50

【 0 1 6 5 】

[実施例 1 4] 本発明の有機電界発光化合物を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として化合物 9 6 がホストとして使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 2.49 mA/cm^2 の電流が 2.8 V の電圧で流れ、そして 860 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

【 0 1 6 6 】

[実施例 1 5] 本発明の有機電界発光化合物を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として化合物 9 7 がホストとして使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 2.1 mA/cm^2 の電流が 3.5 V の電圧で流れ、そして 1018 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

【 0 1 6 7 】

[比較例 1] 先行技術の電界発光材料を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として、ホストとして C B P [4 , 4 ' - N , N ' - ジカルバゾール - ビフェニル] およびドーパントとして I r (p p y) 3 [トリス (2 - フェニルピリジン) イリジウム] を使用することにより、正孔輸送層上に 30 nm の厚さを有する電界発光層が堆積され、並びに B A l q [ビス (2 - メチル - 8 - キノリナート) (p - フェニルフェノラト) アルミニウム (I I I)] を使用することにより 10 nm の厚さを有する正孔ブロッキング層が堆積されること以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 5.0 mA/cm^2 の電流が 6.0 V の電圧で流れ、そして 1183 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。 15000 nit の輝度でルミネセンスを 90% 低下させるのに 0.5 時間かかった。

【 0 1 6 8 】

[比較例 2] 先行技術の電界発光材料を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として、ホストとして化合物 6 6 およびドーパントとして I r (p p y) 3 [トリス (2 - フェニルピリジン) イリジウム] を使用することにより正孔輸送層上に 30 nm の厚さを有する電界発光層が堆積されること以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 1.89 mA/cm^2 の電流が 4.6 V の電圧で流れ、そして 920 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。 15000 nit の輝度でルミネセンスを 90% 低下させるのに 11 時間かかった。

【 0 1 6 9 】

[比較例 3] 先行技術の電界発光材料を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として、ホストとして化合物 6 6 およびドーパントとして化合物 3 0 を使用することにより正孔輸送層上に 30 nm の厚さを有する電界発光層が堆積されること以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 2.0 mA/cm^2 の電流が 4.4 V の電圧で流れ、そして 1120 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。 15000 nit の輝度でルミネセンスを 90% 低下させるのに 28 時間かかった。

【 0 1 7 0 】

この試験データは、典型的な実施形態に従う特定のホストおよびトリス (4 - メチル - 2 , 5 - ジフェニルピリジン) イリジウムが電界発光層において一緒に使用された場合には、優れた発光効率および長い駆動寿命が示されたことを確認した。さらに、典型的な実施形態のドーパントは、2種類のホストと共に使用された場合に、優れた特性を示した。

10

20

30

40

【 国際調査報告 】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International application No. PCT/KR2011/005618
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER		
Int. Cl.		
<i>C09K 11/06</i> (2006.01)	<i>C07F 15/00</i> (2006.01)	<i>H01L 51/50</i> (2006.01)
<i>C07D 209/82</i> (2006.01)	<i>H01L 27/32</i> (2006.01)	<i>H05B 33/14</i> (2006.01)
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED		
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) Registry, Chemical Abstracts-accessed via STN (substructure search covering full scope of Chemical Formulae 1 and an additional substructure search of compounds falling within the scope of Chemical Formula 2)		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2009130094 A (KONICA MINOLTA HOLDINGS, INC., JAPAN) 11 June 2009 See Abstract; Compound 15, pg 28; [0158]; [0173]; Examples H-1 to H-5, pg 65; & machine translation obtained from: http://www19.ipdl.inpit.go.jp/PA1/cgi-bin/PAIDETAIL on 09 November 2011	1-10 (all in part)
Y	WO 2009/131165 A1 (SHOWA DENKO K.K. TOKYO) 29 October 2009 & English language family equivalent EP 2275458 A1 (SHOWA DENKO K.K. TOKYO) 19 January 2011 for translation purposes See EP 2275458 A1 Abstract; general formula (8), [0055] to [0067], pgs 17-18; Example E-3, pg 26; Example E-31, pg 28; & Claim 7	1-10 (all in part)
Y	JP 2010045281 (KONICA MINOLTA HOLDINGS, INC) 25 February 2010 See Abstract; [0066]; Compounds 1-1, 1-2, 1-4, 1-7 to 1-18, 2-1, 2-2, 2-4 to 2-13, 2-16, 2-17, 2-19 to 2-20, 3-1 to 3-6, 3-8 to 3-15, 3-19 to 3-20, pgs 8-17; [0054] to [0065]; Complexes Ir-1 to Ir-16, pgs 20-22; & machine translation obtained from: http://www19.ipdl.inpit.go.jp/PA1/cgi-bin/PAIDETAIL on 09 November 2011	1-10 (all in part)
☒ Further documents are listed in the continuation of Box C ☒ See patent family annex		
* Special categories of cited documents:		
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention	
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone	
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art	
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	"&" document member of the same patent family	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed		
Date of the actual completion of the international search 01 December 2011	Date of mailing of the international search report 07.12.2011	
Name and mailing address of the ISA/AU AUSTRALIAN PATENT OFFICE PO BOX 200, WODEN ACT 2606, AUSTRALIA E-mail address: pct@ipaaustralia.gov.au Facsimile No. +61 2 6283 7999	Authorized officer Una Fakhry AUSTRALIAN PATENT OFFICE (ISO 9001 Quality Certified Service) Telephone No : +61 3 9935 9643	

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/KR2011/005618

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	US 2008/0124455 A1 (SHIN, D., <i>et al</i>) 29 May 2008 See Abstract; [0085]-[0086], pg 10; & Formulae 5-12, 14 & 16, Claim 13	1-10 (all in part)
Y	KR 2010082049 (CHEIL INDUSTRIES INC.) 16 July 2010 see Abstract; CAS Registry Numbers: 1238382-56-3, 1238382-52-9, 1238382-51-8, 1238382-50-7, 1238382-49-4, 1238382-48-3 & 200339-30-6; & CAS Registry Number: 693794-98-8	1-10 (all in part)
Y	KR 2010028471 (CHEIL INDUSTRIES INC.) 12 March 2010 see Abstract; Examples 1-71 in Claim 6; & Claims 11-12	1-10 (all in part)
A	ALBENIZ, A. C., <i>et al</i> , "Facile Reversible Metalation in an Agostic Complex and Hydrogenolysis of a Metal Aryl Complex via a Dihydrogen Complex", <i>Organometallics</i> , 1992, vol 11, pages 242-249 See Equation 4, pg 243	

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/KR2011/005618

Box No. II Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of item 2 of first sheet)

This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons:

1. ☐ Claims Nos.:
because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely:

2. ☐ Claims Nos.:
because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:

3. ☐ Claims Nos.:
because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a)

Box No. III Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 3 of first sheet)

This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:

See Supplemental Box

1. ☐ As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.
2. ☐ As all searchable claims could be searched without effort justifying additional fees, this Authority did not invite payment of additional fees.
3. ☐ As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:

4. ☒ No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.:

Claims 1-10 (all in part) insofar as they pertain to Invention 1 as detailed in the Supplemental Box.

Remark on Protest

- ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest and, where applicable, the payment of a protest fee.
- ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest but the applicable protest fee was not paid within the time limit specified in the invitation.
- ☐ No protest accompanied the payment of additional search fees.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/KR2011/005618

Supplemental Box

(To be used when the space in any of Boxes I to IV is not sufficient)

Continuation of Box No: III

This Authority has found that there are four different inventions based on the following features that separate the claims into distinct groups:

- Invention 1: Claims 1-10 (all in part). The feature of an organic electroluminescent device comprising an electroluminescent layer containing one or more dopant compounds represented by Chemical Formula 1, and at least one host compound represented by Chemical Formulae 2 to 5, wherein the at least one host compound is represented by Chemical Formula 2, is specific to this group of claims.
- Invention 2: Claims 1-10 (all in part). The feature of an organic electroluminescent device comprising an electroluminescent layer containing one or more dopant compounds represented by Chemical Formula 1, and at least one host compound represented by Chemical Formulae 2 to 5, wherein the at least one host compound is represented by Chemical Formula 3, is specific to this group of claims.
- Invention 3: Claims 1-10 (all in part). The feature of an organic electroluminescent device comprising an electroluminescent layer containing one or more dopant compounds represented by Chemical Formula 1, and at least one host compound represented by Chemical Formulae 2 to 5, wherein the at least one host compound is represented by Chemical Formula 4, is specific to this group of claims.
- Invention 4: Claims 1, 2, 4-6 and 8-10 (all in part). The feature of an organic electroluminescent device comprising an electroluminescent layer containing one or more dopant compounds represented by Chemical Formula 1, and at least one host compound represented by Chemical Formulae 2 to 5, wherein the at least one host compound is represented by Chemical Formula 5, is specific to this group of claims.

PCT Rule 13.2, first sentence, states that unity of invention is only fulfilled when there is a technical relationship among the claimed inventions involving one or more of the same or corresponding special technical features. PCT Rule 13.2, second sentence, defines a special technical feature as a feature which makes a contribution over the prior art.

When there is no special technical feature common to all the claimed inventions there is no unity of invention.

In the above groups of claims, the identified features may have the potential to make a contribution over the prior art but are not common to all the claimed inventions and therefore cannot provide the required technical relationship. The only feature common to all of the claimed inventions and which provides a technical relationship among them is the dopant compounds represented by Chemical Formula 1. However this feature does not make a contribution over the prior art because it is disclosed in:

D1: JP 2009130094 A (KONICA MINOLTA HOLDINGS, INC., JAPAN) 11 June 2009

This document discloses an electroluminescent device comprising a compound corresponding to Chemical Formula 1 (see Abstract and Compound 15, pg 28) wherein L_1 =an organic ligand, $R=H$, $R_{1-5}=H$, $R_{6,9}=H$ and $n=2$.

Therefore in the light of this document this common feature cannot be a special technical feature. Therefore there is no special technical feature common to all the claimed inventions and the requirements for unity of invention are consequently not satisfied *a posteriori*.

Because no additional search fees were paid, the International Search Report and the Written Opinion of the International Searching Authority was restricted to the invention claimed in Claims 1-10 (in part) insofar as they pertain to Invention 1 as detailed above.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No.

PCT/KR2011/005618

This Annex lists the known "A" publication level patent family members relating to the patent documents cited in the above-mentioned international search report. The Australian Patent Office is in no way liable for these particulars which are merely given for the purpose of information.

Patent Document Cited in Search Report			Patent Family Member			
JP	2009130094	NONE				
WO	2009131165	CN	102015788	EP	2275458	KR 20100133503
		TW	201008973	US	2011042664	
JP	2010045281	NONE				
US	2008124455	KR	20080047209			
KR	2010082049	NONE				
KR	2010028471	NONE				
Due to data integration issues this family listing may not include 10 digit Australian applications filed since May 2001.						
						END OF ANNEX

국 제 조 사 보 고 서		국제출원번호 PCT/KR2011/005618
A. 발명이 속하는 기술분류(국제특허분류(IPC)) C09K 11/06(2006.01), C07F 15/00(2006.01), H01L 51/50(2006.01), C07D 209/82(2006.01), H01L 27/32(2006.01), H05B 33/14(2006.01)		
B. 조사된 분야 조사된 최소문헌(국제특허분류를 기재) 조사된 기술분야에 속하는, 최소문헌 이외의 문헌		
국제조사에 이용된 전산 데이터베이스(데이터베이스의 명칭 및 검색어(해당하는 경우)) 레지스트리(Registry), 화학요약서-STN을 통해 접근(화학식 1의 모든 범위를 포괄하여 기초조사 및 화학식 2의 범위 내에 포함된 화합물 추가 기초조사)		
C. 관련 문헌		
카테고리*	인용문헌명 및 관련 구절(해당하는 경우)의 기재	관련 청구항
Y	JP 2009130094 A (KONICA MINOLTA HOLDINGS, INC., JAPAN) 2009.06.11 요약 참조; 화합물 15, 페이지 28; [0158]; [0173]; 실시예 H-1 내지 H-5, 페이지 65; 및 기재번역 참조: http://www19.ipdl.inpit.go.jp/PA1/cgi-bin/PA1DETAIL , 2011.11.09	1-10 (모든 부분)
Y	WO 2009/131165 A1 (SHOWA DENKO K.K. TOKYO) 2009.10.29 & 영문번역된 건 EP 2275458 A1 (SHOWA DENKO K.K. TOKYO) 2011.01.19 EP 2275458 A1 요약, 일반식 (8), [0055] 내지 [0067], 페이지 17-18; 실시예 E-3, 페이지 26; 실시예 E-31, 페이지 28; 및 청구항 7 참조	1-10 (모든 부분)
Y	JP 2010045281 (KONICA MINOLTA HOLDINGS, INC) 2010.02.25 요약 참조; [0066]; 화합물 1-1,1-2,1-4,1-7 내지 1-18,2-1,2-2,2-4 내지 2-13,2-16,2-17,2-19 내지 2-20,3-1 내지 3-6,3-8 내지 3-15,3-19 내지 3-20, 페이지 8-17; [0054] 내지 [0065]; 복합물 1r-1 내지 1r-16, 페이지 20-22; 및 기재번역 참조: http://www19.ipdl.inpit.go.jp/PA1/cgi-bin/PA1DETAIL , 2011.11.09	1-10 (모든 부분)
☒ 추가 문헌이 C(계속)에 기재되어 있습니다. ☒ 대응특허에 관한 별지를 참조하십시오.		
* 인용된 문헌의 특별 카테고리: “A” 특별히 관련이 없는 것으로 보이는 일반적인 기술수준을 정의한 문헌 “B” 국제출원일보다 빠른 출원일 또는 우선일을 가지나 국제출원일 이후에 공개된 선출원 또는 특허 문헌 “C” 우선권 주장에 의문을 제기하는 문헌 또는 다른 인용문헌의 공개일 또는 다른 특별한 이유(이유를 명시)를 밝히기 위하여 인용된 문헌 “D” 구두 개시, 사용, 전시 또는 기타 수단을 언급하고 있는 문헌 “E” 우선일 이후에 공개되었으나 국제출원일 이전에 공개된 문헌 “F” 국제출원일 또는 우선일 후에 공개된 문헌으로, 출원과 상충하지 않으며 발명의 기초가 되는 원리나 이론을 이해하기 위해 인용된 문헌 “G” 특별한 관련이 있는 문헌. 해당 문헌 하나만으로 청구된 발명의 신규성 또는 진보성이 없는 것으로 본다. “H” 특별한 관련이 있는 문헌. 해당 문헌이 하나 이상의 다른 문헌과 조합하는 경우로 그 조합이 당업자에게 자명한 경우 청구된 발명은 진보성이 없는 것으로 본다. “I” 동일한 대응특허문헌에 속하는 문헌		
국제조사의 실제 완료일 2011년 12월 01일 (01.12.2011)		국제조사보고서 발송일 2011년 12월 07일 (07.12.2011)
ISA/AU 의 명칭 및 주소 호주 특허청 팩스번호 +61 / 2 / 6283 / 7999		심사관 UNA FAKHRY 전화번호 +61 / 3 / 9935 / 9643

서식 PCT/ISA/210 (두 번째 용지) (2009년 7월)

국제조사보고서		국제출원번호 PCT/KR2011/005618
C (계속). 관련 문헌		
카테고리*	인용문헌명 및 관련 구절(해당하는 경우)의 기재	관련 청구항
Y	US 2008/0124455 A1 (SHIN, D., et al.) 2008.05.29 요약; [0085]-[0086], 페이지 10; 및 식 5-12, 14 및 16, 청구항 13 참조	1-10 (모든 부분)
Y	KR 2010082049 (CHEIL INDUSTRIES INC.) 2010.07.16 요약 참조; CAS Registry Numbers: 1238382-56-3, 1238382-52-9, 1238382-51-8, 1238382-50-7, 1238382-49-4, 1238382-48-3 및 200339-30-6; 및 / CAS Registry Number: 693794-98-8	1-10 (모든 부분)
Y	KR 2010028471 (CHEIL INDUSTRIES INC.) 2010.03.12 요약; 청구항 6의 실시예 1-71; 및 청구항 11-12 참조	1-10 (모든 부분)
A	ALBENZ, A. C., et al, "Facile Reversible Metalation in an Agostic Complex and Hydrogenolysis of a Metal Aryl Complex via a Dihydrogen Complex", Organometallics, 1992, 11권, 페이지 242-249 반응식 4, 페이지 243 참조	

서식 PCT/ISA/210 (두 번째 용지의 계속) (2009년 7월)

국제조사보고서

국제출원번호

PCT/KR2011/005618

제2기제란 일부 청구항에 대해 조사할 수 없는 경우의 의견(첫 번째 용지의 2의 계속)

PCT 제17조(2)(a)의 규정에 따라 다음과 같은 이유로 일부 청구항에 대하여 본 국제조사보고서가 작성되지 아니하였습니다.

1. ☐ 청구항:
이 청구항은 본 기관이 조사할 의무가 없는 대상에 관련됩니다. 즉,
2. ☐ 청구항:
이 청구항은 유효한 국제조사를 수행할 수 없을 정도로 소정의 요건을 충족하지 아니하는 국제출원의 부분과 관련됩니다. 구체적으로는,
3. ☐ 청구항:
이 청구항은 종속청구항이나 PCT 규칙 6.4(a)의 두 번째 및 세 번째 문장의 규정에 따라 작성되어 있지 않습니다.

제3기제란 발명의 단일성이 결여된 경우의 의견(첫 번째 용지의 3의 계속)

본 국제조사기관은 본 국제출원에 다음과 같이 다수의 발명이 있다고 봅니다.

추가 기재란 참조

1. ☐ 출원인이 모든 추가수수료를 기간 내에 납부하였으므로, 본 국제조사보고서는 모든 조사 가능한 청구항을 대상으로 합니다.
2. ☐ 추가수수료 납부를 요구하지 않고도 모든 조사 가능한 청구항을 조사할 수 있었으므로, 본 기관은 추가수수료 납부를 요구하지 아니하였습니다.
3. ☐ 출원인이 추가수수료의 일부만을 기간 내에 납부하였으므로, 본 국제조사보고서는 수수료가 납부된 청구항만을 대상으로 합니다. 구체적인 청구항은 아래와 같습니다.
4. ☒ 출원인이 기간 내에 추가수수료를 납부하지 아니하였습니다. 따라서 본 국제조사보고서는 청구범위에 처음 기재된 발명에 한정되어 있으며, 해당 청구항은 아래와 같습니다.
추가 기재란에 설명한 대로 발명1과 관계가 있는 한에서 청구항 1-10(모든 부분)

이의신청에
관한 기재

- ☐ 출원인의 이의신청 및 이의신청료 납부(해당하는 경우)와 함께 추가수수료가 납부되었습니다.
- ☐ 출원인의 이의신청과 함께 추가수수료가 납부되었으나 이의신청료가 보정요구서에 지정된 기간 내에 납부되지 아니하였습니다.
- ☐ 이의신청 없이 추가수수료가 납부되었습니다.

서식 PCT/ISA/210 (첫 번째 용지의 계속(2)) (2009년 7월)

국 제 조 사 보 고 서

국제출원번호

PCT/KR2011/005618

추가 기재란

(이전 기재란의 공간이 충분하지 아니한 경우)

제3기재란의 연속

본 조사기관은 다수의 발명들을 별도의 그룹으로 나누는 다음의 특징들을 근거로 4개의 서로 다른 발명이 있음을 발견하였습니다.

발명 1: 청구항 1-10(모든 부분). 유기 전계 발광 소자는 화학식 1로 표시되는 도판트 화합물 하나 이상과 화학식 2 내지 5로 표시되는 호스트 화합물 하나 이상이 함유된 발광층을 포함하며, 이 안의 호스트 화합물 하나 이상은 화학식 2로 표시되는데, 이는 이 청구항 그룹의 특징입니다.

발명 2: 청구항 1-10(모든 부분). 유기 전계 발광 소자는 화학식 1로 표시되는 도판트 화합물 하나 이상과 화학식 2 내지 5로 표시되는 호스트 화합물 하나 이상이 함유된 발광층을 포함하며, 이 안의 호스트 화합물 하나 이상은 화학식 3로 표시되는데, 이는 이 청구항 그룹의 특징입니다.

발명 3: 청구항 1-10(모든 부분). 유기 전계 발광 소자는 화학식 1로 표시되는 도판트 화합물 하나 이상과 화학식 2 내지 5로 표시되는 호스트 화합물 하나 이상이 함유된 발광층을 포함하며, 이 안의 호스트 화합물 하나 이상은 화학식 4로 표시되는데, 이는 이 청구항 그룹의 특징입니다.

발명 4: 청구항 1, 2, 4-6 그리고 8-10(모든 부분). 유기 전계 발광 소자는 화학식 1로 표시되는 도판트 화합물 하나 이상과 화학식 2 내지 5로 표시되는 호스트 화합물 하나 이상이 함유된 발광층을 포함하며, 이 안의 호스트 화합물 하나 이상은 화학식 5로 표시되는데, 이는 이 청구항 그룹의 특징입니다.

PCT 규칙 13.2의 첫 번째 문장은 발명의 단일성을 나타내는데 이는 청구된 발명간에 하나 이상의 동일하거나 대응되는 특별한 기술적 특징들을 포함하는 기술적 관계가 존재하는 경우에만 충족됩니다.

PCT 규칙 13.2의 두 번째 문장은 선행기술에 대하여 기여하는 특징이 특별한 기술적 특징에 해당하는지를 정의합니다.

모든 청구된 발명들이 특별한 공통된 기술적 특징이 없는 경우에는 발명의 단일성이 없습니다.

상기 다수 군의 청구항들의 발명간에 공통되는 특징이 있는 발명은 선행기술에 대하여 기여할 잠재성을 가지고 있으나, 그렇지 못한 경우 요구되는 기술적 관계를 성립시킬 수 없습니다. 모든 청구항들의 발명 중에서 공통된 한가지 특징이 화학식 1로 표시되는 도판트 화합물이며, 이는 발명의 기술적 관계를 성립시킵니다. 하지만 이 특징은 이미 기재되어 있으므로 선행기술에 기여하지 않습니다.

D1 : JP2009130094 A(코니카 미놀타 홀딩스., 일본) 2009. 06. 11

이 문헌은 유기 전계 발광 소자를 기재하고 있으며, 이 유기전계발광소자는 화학식 1에 해당하는 화합물을 포함하는데, 이는 $L1 = \text{유기 리간드}$, $R = H$, $R 1-5 = H$, $R 6-9 = H$ 그리고 $n=2$ 로 표시됩니다. 이는 이 발명의 공통된 기술적 특징은 특별한 기술적 특징이 될 수 없다. 따라서 모든 청구항들의 발명간에는 공통된 별한 기술적 특징이 없으며 발명의 단일성도 없기 때문에, 후형적 단일일성을 만족시키지 못합니다. 추가 조사 비용이 납부되지 않았기 때문에, 위에서 상세한 바와 같이 발명 1에 해당하는 청구항 1-10은 부분적으로 국제조사보고서와 견해서가 작성되지 않았습니다.

서식 PCT/ISA/210 (추가 용지) (2009년 7월)

국 제 조 사 보 고 서
대응특허에 관한 정보

국제출원번호
PCT/KR2011/005618

본 추가용지는 상기 국제조사보고서에 인용된 특허 문헌과 관련이 있는 공개된 "A" 공개 단계의 대응 특허를 열거하고 있다. 호주 특허청은 단순히 정보 제공의 목적으로 제공된 이들 항목에 대해 일체의 책임은 없다.

조사보고서에
인용된 특허 문헌

대응특허문헌

JP 2009130094	없음		
WO 2009131165	CN 102015788 TW 201008973	EP 2275458 US 2011042664	KR 20100133503
JP 2010045281	없음		
US 2008124455	KR 20080047209		
KR 2010082049	없음		
KR 2010028471	없음		

본 대응특허 목록은 데이터 통합 문제로 인해 2001년 5월 이후 출원된 10자리 호주 출원을 포함하지 않을 수 있다.

추가용지 끝

フロントページの続き

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード(参考)
C 0 7 D 495/04	(2006.01)	C 0 7 D 487/04	1 3 7	4 C 0 6 5
C 0 7 D 403/04	(2006.01)	C 0 7 D 495/04	1 0 3	4 C 0 7 1
C 0 7 D 491/048	(2006.01)	C 0 7 D 403/04		4 H 0 5 0
C 0 7 D 403/10	(2006.01)	C 0 7 D 491/048		
C 0 7 D 471/04	(2006.01)	C 0 7 D 403/10		
C 0 7 D 409/14	(2006.01)	C 0 7 D 471/04	1 0 1	
C 0 7 D 405/14	(2006.01)	C 0 7 D 409/14		
C 0 7 D 401/04	(2006.01)	C 0 7 D 405/14		
C 0 7 D 413/04	(2006.01)	C 0 7 D 401/04		
C 0 7 D 417/04	(2006.01)	C 0 7 D 413/04		
H 0 5 B 33/12	(2006.01)	C 0 7 D 417/04		
C 0 7 F 15/00	(2006.01)	C 0 7 D 471/04	1 0 4 Z	
		H 0 5 B 33/12	C	
		C 0 7 F 15/00	E	

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, T M), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, R S, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, I D, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ , OM, PE, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW

- (72)発明者 イ, ス・ヨン
大韓民国, チュンチョンナム - ド・331 - 818, チョナン - シ, ソブク - ク, ペクソク - ドン
, ブラウン・ストーン・アパートメント, 102 - 1404
- (72)発明者 キム, ヨン・ジル
大韓民国, キョンギ - ド・440 - 320, スウォン - シ, チャンアン - ク, ユルチョン - ドン,
ジェイル・オフィステル, 304
- (72)発明者 イ, ヒョ・ジュン
大韓民国, キョンギ - ド・445 - 853, ファソン - シ, ソク - ドン, ウミリン・ジェイル・ブ
ンギョンチャ・アパートメント, イェタン・マウル, 117 - 1301
- (72)発明者 イ, ス・ヒョン
大韓民国, キョンギ - ド・440 - 709, スウォン - シ, チャンアン - ク, チョウォン・2 - ド
ン, ハニル・タウン・アパートメント, 141 - 501
- (72)発明者 キム, ヒョン
大韓民国, キョンギ - ド・443 - 470, スウォン - シ, ヨントン - ク, ヨントン - ドン, 96
3 - 2, シンナムジル・サンヨン・アパートメント, 542 - 1504
- (72)発明者 チョ, ヨン・ジュン
大韓民国, キョンギ - ド・463 - 892, ソンナム - シ, プンダン - ク, サムピョン - ドン, ボ
ットドウルマウル・2 - タンジ, イージー・ジ・ワン・アパートメント, 204 - 701
- (72)発明者 クォン, ヒョク・ジュ
大韓民国, ソウル・135 - 877, カンナム - ク, サムソン - ドン, ヒルステイト, 105 - 2
003
- (72)発明者 イ, キョン・ジュ
大韓民国, ソウル・121 - 773, マポ - ク, ドファ - ドン, ヒュンダイ・ホームタウン, 21
0 - 1001

(72)発明者 キム, ポン・オク

大韓民国, ソウル・ 1 3 5 - 8 7 7 , カンナム - ク, サムソン - ドン, 5 0 , ヒルステイト, 2 0
8 - 4 0 1

(72)発明者 キム, ソン・ミン

大韓民国, ソウル・ 1 5 8 - 7 6 6 , ヤンチョン - ク, モク・ 1 - ドン, トラパレイス・ウェスタ
ン, ビー・ 1 8 0 1

F ターム(参考) 3K107 AA01 BB01 CC04 CC07 CC09 CC12 CC22 CC25 DD51 DD52
DD53 DD59 DD64 DD67 DD68 DD69 DD77 EE10 FF14
4C034 AA09
4C050 AA01 AA07 AA08 BB04 CC04 CC16 EE01 EE02 FF01 GG01
HH04
4C055 AA01 BA02 BA08 CA02 CA08 DA06 GA02
4C063 AA01 AA03 BB01 BB02 BB06 CC29 CC43 CC54 CC64 CC76
CC94 DD08 DD16 DD43 EE10
4C065 AA04 AA18 AA19 BB04 CC09 DD02 EE02 HH01 HH02 HH09
JJ01 KK04 KK09 LL01 PP03 PP12 PP14 PP18
4C071 AA01 AA07 AA08 BB01 BB07 CC01 CC21 DD40 EE13 FF03
GG05 JJ01 JJ05 LL05
4H050 AA01 AA03 AB92 WB11 WB14 WB21

专利名称(译)	<无法获取翻译>		
公开(公告)号	JP2013539206A5	公开(公告)日	2015-09-24
申请号	JP2013521717	申请日	2011-07-29
[标]申请(专利权)人(译)	罗门哈斯电子材料有限公司		
申请(专利权)人(译)	罗门哈斯电子材料有限公司韩国		
[标]发明人	キムチシク イスヨン キムヨンジル イヒョジュン イスヒョン キムヒョン チョヨンジュン クォンヒョクジュ イキョンジュ キムボンオク キムソンミン		
发明人	キム,チ・シク イ,ス・ヨン キム,ヨン・ジル イ,ヒョ・ジュン イ,ス・ヒョン キム,ヒョン チョ,ヨン・ジュン クォン,ヒョク・ジュ イ,キョン・ジュ キム,ボン・オク キム,ソン・ミン		
IPC分类号	H01L51/50 C09K11/06 C07D213/06 C07D217/02 C07D487/04 C07D495/04 C07D403/04 C07D491/048 C07D403/10 C07D471/04 C07D409/14 C07D405/14 C07D401/04 C07D413/04 C07D417/04 H05B33/12 C07F15/00		
CPC分类号	C07B59/00 C07D209/82 C07D403/04 C07D403/10 C07D403/14 C07D405/14 C07D409/04 C07D471/04 C07D487/04 C07D491/04 C07D495/04 C07F15/0033 C09B17/00 C09B21/00 C09B57/00 C09B57/10 C09B69/008 C09K11/06 C09K2211/1007 C09K2211/1029 C09K2211/1033 C09K2211/1037 C09K2211/1044 C09K2211/1059 C09K2211/1088 C09K2211/1092 C09K2211/185 H01L51/0054 H01L51/0067 H01L51/0071 H01L51/0072 H01L51/0074 H01L51/0077 H01L51/0085 H01L51/0094 H01L51/5016 H01L2251/308 H05B33/14 Y02B20/181 H01L2251/30		
FI分类号	H05B33/14.B C09K11/06.660 C09K11/06.690 C07D213/06 C07D217/02 C07D487/04.137 C07D495/04.103 C07D403/04 C07D491/048 C07D403/10 C07D471/04.101 C07D409/14 C07D405/14 C07D401/04 C07D413/04 C07D417/04 C07D471/04.104.Z H05B33/12.C C07F15/00.E		
F-TERM分类号	3K107/AA01 3K107/BB01 3K107/CC04 3K107/CC07 3K107/CC09 3K107/CC12 3K107/CC22 3K107/CC25 3K107/DD51 3K107/DD52 3K107/DD53 3K107/DD59 3K107/DD64 3K107/DD67 3K107/DD68 3K107/DD69 3K107/DD77 3K107/EE10 3K107/FF14 4C034/AA09 4C050/AA01 4C050/AA07 4C050/AA08 4C050/BB04 4C050/CC04 4C050/CC16 4C050/EE01 4C050/EE02 4C050/FF01 4C050/GG01 4C050/HH04 4C055/AA01 4C055/BA02 4C055/BA08 4C055/CA02 4C055/CA08 4C055/DA06 4C055/GA02 4C063/AA01 4C063/AA03 4C063/BB01 4C063/BB02 4C063/BB06 4C063/CC29 4C063/CC43 4C063/CC54 4C063/CC64 4C063/CC76 4C063/CC94 4C063/DD08 4C063/DD16 4C063/DD43 4C063		

/EE10 4C065/AA04 4C065/AA18 4C065/AA19 4C065/BB04 4C065/CC09 4C065/DD02 4C065/EE02
4C065/HH01 4C065/HH02 4C065/HH09 4C065/JJ01 4C065/KK04 4C065/KK09 4C065/LL01 4C065
/PP03 4C065/PP12 4C065/PP14 4C065/PP18 4C071/AA01 4C071/AA07 4C071/AA08 4C071/BB01
4C071/BB07 4C071/CC01 4C071/CC21 4C071/DD40 4C071/EE13 4C071/FF03 4C071/GG05 4C071
/JJ01 4C071/JJ05 4C071/LL05 4H050/AA01 4H050/AA03 4H050/AB92 4H050/WB11 4H050/WB14
4H050/WB21

优先权	1020110075593 2011-07-29 KR 1020100074290 2010-07-30 KR
-----	--

其他公开文献	JP2013539206A
--------	---------------

摘要(译)

本发明提供一种有机电致发光器件，其表现出有效的主体 - 掺杂剂能量转移机制，因此，基于改善的电子密度分布，表现出一定的高效电致发光性能。该有机电致发光器件还克服了低初始效率和短操作寿命性能，并且确保了高性能电致发光性能，并且每种颜色具有高效率 and 长寿命性能。